夕刊
滿洲日報
五月三十日
發行所　株式會社滿洲日報社

閻馮の下野に伴ひ蔣氏も下野か
思はせ振りな閻馮の電報交換
近く山西に會せん

【北平廿九日發電】衛戍司令部に達した情報に依れば馮玉祥氏は二十七日附閻錫山氏に對し予の下野宣言既に成り直に國人に告ぐべし、兄と共に外國に遊ぶは予の最も望むところ、但し謠言熾なる時予が山西に兄と會合することは更に疑惑を深くすべしと打電し來りたるに對し閻錫山氏は二十八日附で予も亦現位置に永く留まる意志なく兄と共に下野せん、兄は斷然來つて共に胸襟を開け、謠言の如き齒牙にかける要なしと返電した、閻、馮兩者が斯くの如く下野を唱ふることは結局蔣介石氏の下野を促す結果を來さんと見られてゐる

廣東軍近く總攻擊
援軍を得て

【廣東二十九日發電】中央からの第二回應援軍楊騰輝第五十七師全部は汽船五隻に分乘し昨々廣東の下流九龍に到着した、廣東政府の廣西總攻擊策戰は中央より特派されてゐる陳作柏氏を總指揮官として應援軍の第十五師、第五十七師を先鋒として廣東第一師を後詰めとし總攻擊を爲すに決定し昨日來續々兩江に派兵されつゝあり、一方廣西軍は廣東省内に一兵をも殘さず廣西に退却し梧州にて兵の集結に努めつゝあり、更に貴州省の廣西應援軍約三萬が梧州に着いた模樣であるが廣東軍の總攻擊、湖南軍の背面攻擊に依りて全滅を免れぬものと見られてゐる

蔣軍十萬
郾城に集結

【北平三十日發電】蔣介石氏の馮軍討伐は京漢線方面の主力を以てするに決定し何應欽、劉峙、賀國光の率ゆる十萬の蔣軍は郾城に集中されつゝあるが六月三日總攻擊令發布と共に鄭州、洛陽、潼關に向つて總攻擊を開始すべく準備中で何應欽も二十三日中に前線に出馬全軍の指揮に當ると

矢野侍從武官來連

侍從武官矢野機步兵少佐は三十日入港のはるびん丸で來連した、氏は今夜關東倉庫に一泊、三十一日奉天に赴き來月五日頃迄に用件を濟まして歸京の豫定であると、なほ氏の來連は全く前觸れがなかつた爲め、當地陸軍關係者は頗る狼狽してゐた—（寫眞は矢野侍從武官）

馮軍と策應し湖北軍蹶起

【漢口二十九日發電】沙市の上流荊州に於て舊武漢軍第五十五師楊汝懷氏の部隊南京軍と衝突し交戰中で第二十一師長劉峙氏は部隊を率ゐ本日上流に溯江した、なほ上流に逃れた湖北軍は警備平軍の壓迫を受け各軍とも南京に對し猛烈なる反感を抱き居り馮軍と策應して各地に蜂起する形勢醞釀されてゐる

六月六日に國書捧呈
日、獨、伊の三ケ國から

【南京特電三十日發】國民政府外交部は日本、ドイツ、イタリー三ケ國の國書捧呈式は六月六日行はるゝことゝなつた旨廿九日夜發表した

平津の實權閻氏に
蔣氏奉天側を疑ふ

【奉天特電三十日發】その筋着電によれば南京政府は先般來再三蔣介石主席の名を以て張學良氏宛閻内出兵を要求したが、その後奉天側内部の實狀探査の結果疑ひをさし挾むべき筋があるので、平津一帶の軍政及び民政は依然閻錫山氏に與へることゝしたが、奉天側には天津又は北平の市長等の空職を與へるに止むることゝなつたと

孫氏の靈に最後の告別
きのふの公祭

【南京二十九日發電】中央黨部に於ける孫文公祭は本日午前七時半より午後六時まで引續き行はれた胡漢民氏は中央執監委員を代表し蔣介石氏は國民政府職員一同を代表して祭文を朗讀し執監委員國民政府要人等七百名の參列者は靈柩の周圍をめぐつて、靈に最後の告別を行ひ敬意を表した、それより五院、各省、各特別市政府、各方面の公祭行はれた公祭は卅一日午後六時まで續行の豫定である

滿蒙鐵道驛傳競爭
既に大半を踏破
最後の秘策を錬る
紅班は今夜西安にて一泊し
白班は哈市泊り

驛傳競爭白班の第三走者神藏選手は目下東支鐵道の東部線を引返し中であつて三十日午後五時半にはハルビン着、同夜一泊し卅一日午前九時馬船口發呼海線を踏破する豫定である、又紅班の第二走者木村選手は廿九日午後四時四十五分朝陽鎭着一泊し卅日午前七時發同八時廿分梅河口着、午後七時四十四分梅河口發西安に赴き同地に一泊を餘儀なくされる豫定である、斯くして兩班のコースは既に半以上を經過し勝敗の歸結が稍見極めついたやうに見受けられるので兩班とも最後の秘策を講じつゝあり或は廿人をアウト云はせるやうなプランを現出するかも知れない

木村選手
朝陽鎭泊り

【朝陽鎭にて木村紅班選手二十九日發電】眞夜中は森林地帶の寒氣にふるへてねむる能はず、晝は北滿の原野に照りつける赤陽の熱氣と貨車にも似たる動搖に打ちのめされ如何に頑張つても策なしと聞いて些か悲觀したが止むを得ない今夜は朝陽鎭泊りだ、三十日午前七時に出發して西安征服の豫定である

ク總領事に招喚命令
秘密會議暴露責任者として

【ハルビン特電二十九日發】在奉天ロシア總領事ノズツオフ氏は共產黨秘密會議暴露の責任者としてモスクワ政府から招喚命令を受け一兩日中に目下日本の鐵道狀態視察を了つて歸國の途にあるモスクワカザン鐵道長官ジウコフ氏一行と共にモスクワに向ふことゝなつた、又ハルビン總領事メリニコフ氏も事件の顛末報告のためモスクワに赴く筈

英總選擧終る

【倫敦廿九日發電】三十日の總選擧につき全選擧區の約三分の一卽ち二百三區の結果が三十日夜中に發表さるべく其の結果は總選擧の大勢を豫示する、併し全體の結果は三十一日午後になるまでは判明せぬ、遠隔地や諸大學區や島嶼等の選擧區からの報告は其の後數日に亘つて情報到着のはずである、現首相ボールドウイン、勞働黨首領マグドナルド、自由黨首領ロイドジヨージ、大藏大臣チヤーチル前藏相スノーデン氏等も當選か否かは三十一日まで待たねば知ることが出來ぬ

滿洲守備の重任を帶びて

南滿獨立守備隊に入るべく第一、二、八、十四師團管下より選拔された七百四十三名は軍廣輸送指揮官に引率されて昨夕大連入港の海福丸で來連し同夜は船中に一泊三十日午前九時から上陸を開始、二十一番バース前廣場に整列後出迎への滿鐵保々地方部長から歡迎の挨拶をなし、軍隊側より軍廣大尉が謝辭を述べ關東倉庫に入つた、なほ第三大隊は卅一日午前十時、第一大隊は六月一日午後五時半第二、四大隊は同午後十時奥地に向つて出發の筈である（寫眞は二十一番バース前廣場に整列した新守備兵と幹部、右より水野軍醫、渡邊大尉、益田軍醫、軍廣大尉、米澤軍醫、大庭軍醫）

首相と近く會見
床次氏入閣せん
愈よ内務大臣として
◇……けふ湯ケ原から歸京す

【東京特電三十日發】床次氏は湯ケ原から卅日歸京した、仍つて田中首相は近く同氏と會見して入閣を懇請するであらう、床次氏は自派内部の異論及び政友會の空氣を徐ろに觀望してゐたのであるが例の不戰條約問題も樞府との諒解成り近く解決する狀勢であり、又政友會及び新黨ともに氏の入閣を必要とするに傾いてゐるので氏はいよ〱意を決して入閣を受諾するものと見られてゐる、其の場合は内相の椅子を與へられること既定の事實である

木下長官
午後首相と會見

【東京特電三十日發】田中首相の招電により上京した木下關東長官は卅日午前九時十分東京驛に到着したが午後首相と會見の筈である

滿鐵の「社長」を總裁に改稱
株主總會で決定せん

【東京特電三十日發】滿鐵社長を再び滿鐵總裁と改稱するが至當であるといふ意見は松岡副社長が從來之を主張してゐたが此のほど政府の諒解も得たので來るべき株主總會に之を附議して決定することになつた

大連支部の議案
青年議會に提出

青年聯盟の最高決議機關たる第一回青年議會の開會も餘す處三日となり各支部に於ては何れも議會對策に餘念なく大連支部は役員及議員が協議の結果個人の提案は提出せず左の通り大連支部提案として決議案を提出する方針を定め提案說明演說者並に贊成演說者を決定した

一、聯盟旗制定案（說明者關利軍　贊成演說者久保田廣次）
一、生活改善に關する案（久保田廣次、森田拓志、仙波清）
一、背後地視察並調査に關する案（黑柳一晴、神守源一郎）
一、農業に關する實踐的計畫案（黑柳一晴、小林友作）
一、大連農事會社募集の移民は在滿同胞に優先權附與に關する件（甲斐又雄、仙波清）
一、日華青年和合に關する案（吉廣眞雄、森田拓志、多門登）
一、滿蒙視察者に關する案（關利軍、古廣眞雄）
一、實踐的教育普及案（黑柳一晴、是安正利、仙波清）
一、邦人勞働者滿蒙發展擁護策案（甲斐又雄、仙波清、是安正利）
一、滿蒙事情紹介のため内地に遊說案（高木翔之助、後藤吉之助）

尚六月一、二、三議會開催中の適當なる日を選び各支部より雄辯家を選出し演說大會を催す事とし目下會場交渉中である

原代議士來連
けふ定期船で

政友會代議士原惣兵衞氏は卅日入港のはるびん丸にて來連したが次の如く語る
「兄貴の處へ來ただけだ。内閣の改造期は不戰條約案の御批准が六日頃だからその後の事になるだらう、もし床次さんが入閣するとしたら内務だらう、床次さんもジレンマに陷つて苦しんで居るやうだ、宇垣氏の入閣は宇垣氏の現狀よりみてありうべきことでない、兩税委讓案に關しとかくの評が立てられてゐるがこれは政友會の一枚看板であるから今更捨てるわけにはいかない、來議會では相當紛糾を見るだらう

人事

▲矢野機氏（侍從武官陸軍中佐）三十日入港のはるびん丸にて來連
▲石堂豐太氏（工學博士）同上
▲國司精造氏（豫備陸軍少將）同上
▲峰旗良充氏（吉林滿鐵公所囑託）同上
▲住谷悌氏（參謀本部附一等主計）同上
▲安田喜一郎氏（神戶稅關監察係長）同上
▲山口忠三氏（滿洲商業新報社長）同上歸連
▲平野博三氏（ジヤパン、ツーリスト大連支部長）同上
▲柳田鐵太郎氏（滿鐵社員）同上
▲高野茂義氏（滿鐵劍道範士）同上
▲柴田三藤二氏（小崗子署勤務）東京警官講習所に入所中であつたが同上歸任
▲桐ケ谷洗鱗氏（畫家）木村滿鐵人事課長宅に滯在中の處卅日出帆の松本丸でバリ島へ

大觀小觀

◇馮氏が下野しなかつたら、蔣氏は兵を徐州に出して置いて自らドコかへ逃げだす方針であつたといふ。これだからすべてアテにならぬ。
◇蔣、馮、閻の三氏が仲よく下野する段取りもあるさうだ。さうなると民衆が助かるのだが！。
◇世界の注視を集めて英國の總選擧行はる。一にも二にも眞似したがる日本の政治家にとつては特に重大である。
◇滿鐵「社長」が「總裁」になる山本總裁といふと、政友會總裁のやうでもある。
◇銅像建設、あまり智慧のある考へではない。
◇驛傳競爭の興味方に頂點に到る

天氣豫報

卅一日（晴）南西の風　後曇
日出四時三十分　日沒七時十二分
滿潮前二時五五分　後三時二五分
干潮前九時　後十時三十分

驛傳競爭成績

◇……十九日午前八時十分開始
◇……三十日午前八時十分現在

紅班　踏破鐵道　二二四五・四哩（實走行程三三六九・八哩）
白班　踏破鐵道　一八一七・六哩（實走行程二八五一・四哩）

滿蒙鐵道驛傳競爭踏破行程

凡例　紅班　白班　予定線

第十回實滿野球模範試合

第一回戰＝六月二日（日曜）午後三時　滿倶球場
審判員　尾崎昇一郎、岡田保、萩原兼顯（元寶塚選手）

第二回戰＝六月九日（日曜）午後三時　實業球場
審判員　天知俊一、橫澤三郎（元明大選手、東京六大學リーグ專屬審判員）

主催　滿洲日報社

聖上長門に召され けさ大島に御到着

皇禮砲轟くうちに

【橫須賀三十日發電】三十日午前七時半御召艦長門より橫須賀鎭守府入電によれば、二十九日午後七時八丈島御發航の天皇陛下には長門に召されて今三十日午前六時五十分大島に御到着遊ばされた

嶮岨な道を辿り三原山に御登攀

御輿深げに拜し奉る

陛下を迎へる大島は今朝天氣晴朗、磯打つ波の碎くる樣もなごやかである、港から支廳への沿道は心からなる奉迎者に埋められ傳說の島大島元村は榮光に滿ちた、陛下には御召艇にて八時二十分元村港新設棧橋に御上陸海軍大元帥の御軍裝に大勳位略章を御佩用官民多數奉迎裡を玉歩を運ばせられ大島支廳々舍の御粗末な便殿に入御あり橫島支廳長、島野下村醫師等に拜謁仰付けられた後平塚知事より島狀の奏上を聽取され又陳列の博物標本、物產品、小學生等の學藝品等を御覽の上九時二十分御輕裝にソフト帽を召され知事、支廳長の御先導で三原山に向はせられた、椿に蔽はれた嶮岨な道を陛下には御輿趣深げに十一時中腹元富士見茶屋跡に着御御小憩、それより御神火茶屋附近を經て零時三十分うちわ山に御着、中村東大部長より火山に關する御說明を御聽取白石附近で御晝餐を召させられ差木地小學校に向はせられた

白玉山納骨祠前で けふ嚴かな弔魂祭

來滿した帝國在鄉軍人會の一行 祭典後戰跡を視察

旅順に一泊した帝國在鄉軍人會弔魂團一行は三十日午前九時から白玉山納骨祠前に於て弔魂祭を執行した、式は特に來旅せる水野大連神社々司の祝詞に始まり團長安藤中將の弔魂詞捧讀に次ぎ關東長官代理藤岡警務局長、二百三高地戰死者遺族代表として中島少將母堂、村岡軍司令官、久保田駐在海軍武官、官廳側代表として神出局長、大塚在鄉分會長、市民代表として永山市長各婦人會代表者等順次玉串を捧獻し午前十時半いと

莊嚴裡 に式を終了した

これより先一行は午前七時半ヤマトホテルを出發し、菅野參謀から旅順攻圍戰の概況講話、久保田金平氏の乃木將軍に關する旅順の戰史說明を受け、祭典執行後更に東鷄冠山戰跡を視察し戰利品陳列館で軍人後援會の招待で晝食して戰利品を參觀し爾靈山戰跡に至り午後三時半から軍司令部將校集會所で滿蒙現狀に就いて講話を聞いた尙久保田老の戰史悲話を聽くため木下長官夫人も白玉山に參拜した【寫眞は祭典】

伏見臺圖書館 風儀よくなる

電氣遊園內にある伏見臺圖書館は以前には附近に社會館、智光院等を控えた關係上是等浮浪失業者の良い閑潰しの場所となり、書籍に惡戲をしたり入館者の所持品を盜みとつたり甚だ面白くない空氣があつたが最近電氣遊園が二錢の園料入をとる樣になつてから是等不良の群は全く跡を絕ち目下は殆ど眞面目に勉强する學生連中許りで、日々百名位の入館者あり惡い雰圍氣を除き得た事について圖書館當局者も喜んでゐる

樺太の大火 九百七十戸烏有に歸す

悲慘、死傷者續々出づ

【豐原三十日發電】二十五日發火せる山火事は二十七日午後二時から文西海岸惠須取町の人家に延燒し同町阿古緒部落二百二十戸、小糸緒部落二百戸、前中部落百八十戸、樺太工業惠須取工場社宅四百戸中三百七十戸計九百七十戸を燒き燒死々體の發見せるもの十八、軍火傷者百名を出した、更に海岸の惠須取本町も危險に瀕したが二十九日朝風向變り漸く危險を脫するに至つた、尙目下西海岸久春內東海岸敷香町等にも猛烈な山火事發生し消防隊、村民總出動警戒中である、又電線燒失の爲め內地間の通信不能となり復舊工事を取急いでゐる

豐原黑煙に覆はる

【豐原三十日發電】眞岡郡二股、中野にも山火事發生し二十九日には豐眞鐵道も一時中止するに至つた、更に富內郡喜美內にも山火事發生、二十九日には豐原町水源地上流にも發生し豐原は黑煙に覆はれてゐる

早魃續きて 益々延燒

【豐原三十日發電】二十六日朝上敷香に發生した山火事は早魃續きのため益々延燒し上敷香、駒糸、內河の各部落危險となり二十七日末原農林部長現狀に急行したが、火の手は目下敷香目拔の大密林地帶に延燒し火煙物凄きばかりに天を覆ひ慘狀を呈してゐる、廿九日には敷香官行事業署の丸太約五萬石燒失した

兒童五十餘名死亡す 惠須取小學全燒

【豐原三十日發電】惠須取第二小學校は猛火に包まれて燒失し生徒四十名は窒息死亡し更に十四名の死體發生された、交通全く杜絕し全市街は阿鼻叫喚の巷と化し港外の船舶は悉く荷役を休んでゐる

御前試合出場の 高野、畑生兩選士歸る

けふ滿洲選拔劍道部員と共に

本月五、六兩日に亘つて行はれた御前試合最後の決勝で惜くも敗れた範士高野茂義、五段畑生武雄の兩氏は內地劍道界の雄贊視聽軍その他各方面と善戰好成績を擧げた滿洲選拔劍道部員約廿五名と共に三十日入港のはるぴん丸にて歸連した高野範士は

「指定選士として殘された私と、府縣選拔選士として殘された畑生氏が武運つたなかりしはさる事ながら當日の盛大にして崇嚴な光景はたゞありがた淚の外はありません、勝負の模樣は畑生氏に聞いて下さい……」

流石に多くを語らなかつた

奉天の發疹チブス 益々猖獗す

二名死亡して三十二名罹病 防疫官增員を求む

【奉天特電三十日發】既報奉天に於ける發疹チブスは益々猖獗を極め既に死亡者二名、現在罹病者三十二名を出した——頗る惡性で今後更に蔓延の模樣なので滿鐵から中楯博士來奉し小川醫師應援の下に檢診其の他に努め防疫醫師二名、防疫官吏十二名を始め地方官吏警察よりは巡警巡捕等總動員の有樣で發生地たる公和橋附近を中心に警戒に狂奔しつゝあるが卅日奉天警察署より關東廳に對し更に防疫官十二名の增員派遣方を要求した

後藤伯の銅像 大連に建設

製作を朝倉文夫氏に委囑し 約十萬圓の經費で

故後藤新平伯の滿洲に於ける功績を表彰すると共に後世に傳ふべく、山本滿鐵社長、國澤新兵衞氏等主唱の下に大連市內に適當の地域を卜して銅像建設の計畫が進捗してゐる經費は約十萬圓の見込で全部一口一圓以上の寄附による答で、銅像製作は東都の朝倉文夫氏に委囑し來年十月頃迄に竣工せしめる豫定である

支那人の射殺死體

路上に轉がる

【四平街特電三十日發】廿九日午後四時卅分ごろ四平街西北端の路上に於て一名の支那人の男が拳銃で射殺されてゐるのを通行人が發見大騷ぎとなり四平街署より安武司法主任以下現場に急行、檢視を遂げたが被害者の身許其の他一切不明で或は馬賊の片割れで仲間割れから殺害されたかとの疑ひあり目下嚴探中である

支那學生 上海で暴行

五卅記念日で熱狂

【上海特電三十日發】今朝九時半頃上海廣東路において支那學生の一團が五月三十日記念日で熱狂し電車乘合バス等に投石し或は通行中の外人に暴行を加へたため一時非常に混亂を示した

きのふ奉天の 華北運動會

（寫眞）上は入場式、下は臨場した會長張學良氏

桐ケ谷洗鱗畫伯 美人救助の一幕

身投げの女が線香代を要求 小石柳眉を逆立つ

南洋バリ島へ印度佛蹟視察の途を大連市兒玉町滿鐵人事課長木村通氏方に滯在中であつた日本佛畫界の第一人者たる桐ヶ谷洗鱗畫伯が身投美人を救助したといふ話——二十九日午後五時ごろ桐ヶ谷畫伯が東拓の加藤、畫家の伊藤順三兩氏に案內されて老虎灘見物に行つたところ、千勝館下海岸で紳販の上からザンブとばかりに飛込んだ美人があつた、千勝館の座敷からこれを發見した洗鱗畫伯は直に驅けつけ

濡れ鼠 となつた美人を抱上げ、千勝館に連れ歸り着物を替えさせ「身投げをせねばならぬ」理由をやさしく聞いたが、美人はこれに返事もせず泣きながら「マアー一盃」とお酌をして理由を語らなかつた、然し袖に入れて堅く握つてゐた品物が勳章といふことが判り東公園町某軍人を訪ねたが不在だつたため悲觀して死ぬ氣になつたのだと判明、處がこの美人お酌をしてゐる內に親切な畫伯へ線香代十五圓也を頂戴との願ひ、これを傍で聞いてゐた

大檢の 「こいし」柳眉を逆立てゝ乞食奴がと怒鳴り立て座敷もしらけたので美人を抱へ女將に引渡して散會となつたといふ、この美人は鞍山胃楜抱妓若玉といひ女將が大連へ妓どもを抱へに來た際前記馴染の男に會ふべく一緒に來連この始末を演じたのだと

「男と別れさせて」 藝妓が淚の願ひ

大連檢察局に宛て

女の一生を打ち込んで惚れた男から裏切られ、いまは冷たい無情に泣く一藝妓から「どうか男と別れさせて下さい」と大連檢察局あてに淚の手紙が舞ひ込んだ——女は市內信濃町笹邊楼抱藝妓濱次こと吉田義美(二七)で、つたない文字で書き立てられたところによると

濱次は 三年以前から前田幸男といふ男と內緣關係を結び現在信濃町六十一番地で同棲生活をしてゐるが前田は性來の色魔で、濱次の他に情婦山田ヤスといふ藝妓あり、この女故に前田は一昨年誘拐罪で未決に收容された、濱次は裏切り者とは思ひながらも前田の爲めに差入れから、保釋金、辯護料まで一切を支拂ひ前田が無罪になるまで、人知れぬ苦勞で助けたが、其後足掛三年、前田は濱次の仕送りで遊惰な生活を送り、金さへあれば

遊里の 巷に足を入れ、事每に女に冷く當り散すやうになつた、去る五日の夜も濱次を毆打して顏面その他に負傷をさせたので、女は今度こそ別れやうと人を介して離緣話を前田に持ちかけた處、男は別れるのは嫌だと應ぜず、仕方なく情ない男と同棲してゐるが、老いゆく身の行末を思へば、一日も早く別れたく、お上の手で離緣をさせ男を內地へ歸して下さいといふのである、檢察局では女の身の上に同情し、事件を大連署に廻送し、最善の方法を講じてやるやう命じた

埋葬の二死體を 途中に置きざり

昨日埠頭で死んだ苦力

二十九日埠頭工事場に於いて作業中不幸椿事のため苦力三名の死傷者を出したが、右のうち李多賢は間も無く死亡したので、即死した孫學增と共に沙河口方面に埋葬すべく昨夜擔ぎ出したが責任者が良い加減に苦力等に任して放つておいた爲め運搬人も何處に持つて行つて良いか迷ひ譚家屯の大連第二中學校運動場先の空地に蓆を被せたまゝ置き棄てあり枕邊に同僚の情の握り飯が二つ三つ供へてあるが、照りつける陽の下に轉がされた屍體には蠅が群がり既に惡臭さへ放つてゐた

◇……吉林省政府は省內各縣下の商務會長宛に左のごとき訓令を發した

南北統一に伴ふ制度改正と共に吉林全縣に散在する我國の雜貨商民が現在着用してゐる舊式の長袖周衣を改正することになつてゐる故に延邊(間島)地方でも六月一日より中山服、又は自國布製青色の背廣服を着用されたし(間島發)

◇……女共產黨員として有名なズラタリーナ女史は本日當地に於いて胃癌で死去した、女史はジノヴィエフ氏の內緣の妻である(レーニングラード廿九日發)

伜の搜查願ひ

岐阜縣惠那郡坂本村茄子川勝豐は昨年來滿洲に行くと家を出た儘本年四月只大連よりとして一回の音信をした限り何等所在も知らさぬため兩親も心配し伜も歸つて來て吳れねば家も立ち行かぬから何とか探して吳れと當地警察署宛依賴して來た

不許可の仲居 女給が多い

最近、三業組合、逢坂町遊廓及び市中飲食店に於て仲居、女給を雇ひ入れ又は解雇した場合これが手續を怠り、甚だしきは警察の許可不可能と見られる不良な婦女を雇ひ入れて使用してゐるもの多く、先般大連署に於て管內接客業者の健康診斷を行つた時も手續きのない婦女が多數あつたことを發見したので同署保安係では取締上、この際手續き未了のものは速かに警察に屆け出るやう三十日附をもつて各組合に嚴重通達するところがあつた

支那嫖客モヒ自殺

王陽街二三號遊廓に二十九日午後十二時ごろ一嫖客が登樓し連紅(二〇)を敵娼として遊んで居るうち突然苦悶を始めたので直ちに天心病院に擔ぎ込んだが今朝六時三十分絕命した、右は住所不詳韓世興(二五)と言ひ厭世の結果

大連神社月次祭

六月一日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町近江町區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭執行あり、畢りて祓神樂を奉仕す尙當日は一般參拜者の爲早朝より祓神樂を奉仕し神酒御供物の頒與ありと

（第三種郵便物認可）

全く驚歎に價する獨逸の製鐵鋼業
徹底したその「産業の合理化」
滿鐵顧問　伍堂卓雄述

六

更に自分の專門たる製鋼業に就いてみると、獨逸は歐洲大戰の結果として、鑛産地區たるロートリンゲン、ザール、ルクセンブルグ、オーバシレシヤ等の主要地を失つた結果、鐵鑛石の八十パーセント、石炭製鋼能力の三十パーセント、生産能力の三十パーセント等を失ひ、殊にこたへたのは鐵鑛の資源を失つたことであり、現狀に於ては國内使用鑛石の七十パーセントを輸入に仰がねばならぬと云ふ有樣である。

從つて、戰後の鋼材生産は著しく減じたが、其の後、前に述べた樣な「産業の合理化」その他當業者の努力に依りて、漸次增加を示し、一九二七年の國内鋼材生産量は、一千六百三十萬噸（日本の年産額は二百萬噸）となつたが、これを戰前即ち一九一三年の一千八百九十萬噸に比すればまだ及ばない。

七

然し右製鋼高は前述の各主要鑛産地を含んでゐないので、試みに現在のみに於て、兩者を比較すると、既に三十パーセントの增産を示してゐる。

次に石炭に就いてみるに、一九二七年の採炭量は一億八千七百萬噸（日本の採炭量は年額三千萬噸）で、これを一九一三年の二億八百萬噸に比べると、これまた尚及ばないが、試みに現在の國境地域内のみに就いて比較すると、矢張り十數パーセントの增産と云ふ割合を示してゐる。

更に具體的に採炭能率に就いて見ると、一九一三年の一人一交替時（八時間）の平均採炭量は、九百四十三キロを示してゐたが、一九二七年現在に於ては一千百三十キロ即ち、約三十パーセントの能率增加を來して居る。

八

次に――「産業合理化」の實際的方法は如何と云ふに、先づカルテル組織に就いて云へば、國内に於けるカルテルとしては「獨逸鋼塊組合」と云ふのがある。

同組合は國内の各製鋼業者を糾合したもので、個々の會社の鋼塊生産高を制限して割當て、以て同業者間の無益の競爭を避け、共同の利益を圖ることにしてある。

總括的には、鋼塊組合に依つて生産高の割當てを行ふと共に、更に各種の鋼材組合、即ち（イ）鐵線組合、（ロ）鐵管組合、（ハ）鐵錠前組合、（ニ）レール組合等專業的の組合があつて個々の生産割當共同販賣、價格協定等を行ひ、市場の狀況に應じて善處する仕組となつてゐる。

九

以上は國内カルテルの事であるが、更に國際カルテルとしては一九二六年、國際鋼塊組合と云ふものを組織し、歐洲市場に於ける各種の鋼材相場の安定せしめ、且同業者の共倒れを防ぐやう努めることになつてゐるが、同組合には獨逸、フランス、白耳義、ルクセンブルグ、ザール、墺太利、匈牙利等より參加し、組合の規約としては一噸の製鋼に就き一弗を醵出し、これを基金として參加組合員の中、若し其の割當生産高を超過したる場合は、一噸につき四弗の罰金を徴收し、其の代りに割當生産高に達せざる場合は、一噸に付き二弗の補償金を與へることになつて居るが、其の過不足は適當の時機に於て清算することにしてあるのである。

國際運輸の定時總會
配當八分の据置

國際運輸會社では二十八日午前十時より同社において第六期定時株主總會を開いたが當期は純益金として金二十五萬二千四百餘圓を計上し前期の純益金二十四萬六千五百圓餘、前年同期の利益二十五萬六千餘圓に比較すれば大差なき成績を示したので株主配當も前期同樣年八分と決定した、當期利益金處分を示せば左の通り（單位圓）

△利益金處分

當期利益金	二五二、四九四
前期繰越金	一一、五三四
合計	二六四、〇二九

右處分

▲積立金一四、〇〇〇▲配當金一三六、〇〇〇（年八分）▲營業權買收金償却二四、〇〇〇▲所有物減價償却四〇、〇〇〇▲社員退職手當基金一五、〇〇〇▲役員賞與金一三、〇〇〇▲後期繰越金一二、〇二九

錢信配當一割
前期より四分減

大連錢鈔信託會社では來る六月四日正式に重役會を開き當期決算の査定を了する筈なるが二十八日夜會合の席上において同社當期の株主配當は前期より四分減の年一割に内定した模樣である

威嚇に震えあがる城内の錢鈔業者
何れも殆ど休業、拘引者釋放されず
相場は昨日と大差ない

【奉天特電三十日發】支那官憲の錢鈔業者壓迫の手は依然續けられ昨日拘引されたる義和永の番頭二名は本日に至るも猶釋放されぬ上先年張作霖氏が天合盛の代表者其他を銃殺せる前例により今回も甚だしき投機を行ふものは容赦なく嚴罰に處すべしと威嚇するため城内錢鈔業者は殆ど休業狀態にある一説に依れば官銀號自身が奉天票相場の爲め一千二百萬元と云ふ大穴をあけたので此の始末に及んだとも云はれて居る尚本日の奉天取引所相場は五千三百七十元より五千四百元に引け昨二十九日のと大差なく出來高三百三十八萬一千元である

撫順出炭量本年度更に增産
約七百七十萬噸を示さん
憂へらるゝ販賣方面

撫順炭の昭和三年度出炭量は七百三十五萬二千二百四十七噸で二年度の六百八十萬噸に比し五十五萬二千二百四十七噸の增産であるが山本滿鐵社長は本年度更に積極方針の下に七百七十萬噸採掘の計畫の處本年度採掘量七百七十萬噸は果して消化し得るや頗る疑問とせられて居るが、一方之が販賣方面は當事者も異常なる緊張裡に努力して居るが、財界の不況、南支方面の排日貨、季候の關係等により最近豫期の成績を擧ぐるに至らず、些か焦り氣味である、即ち四月中の撫順炭輸送量は六十三萬一千噸で前年同期の六十九萬二千噸に比し六萬一千噸の減送である、更に五月は六十四萬二千噸（見込み）で前年同期の六十萬二千噸に比すれば四萬噸の增加であるが六月は更に減少の豫想をされて居る而もこれは前年度繰越貯炭の消化により輸送減を來せるものでなく商賣不振によるもので例へば南關嶺の貯炭場の如きは十萬二千噸の石炭が山積されて居る又旅順、營口、其他沿線寺兒溝、埠頭共に滿腹の狀態を呈して居る等の貯炭も漸次增加の一方で目下の處本年度採掘量七百七十萬噸も果して消化し得るや頗る疑問とせられて居る

運合成立後の新會社經營
競爭猛烈で經營難か

【京城發】運送合同問題は河合國際支店長の寢食を忘れた奔走で漸く贊成參加者の數を增し合同成立に接近しつゝあるが通運側の策略たる非合同派糾合運動も亦成功しつゝあるため、合同後兩者の營業競爭は頗る深刻猛烈を豫想され此間に處して漁夫の利を占むるものは獨り荷主側で結局兩者共荷主のため自由に操縱される譯であるが非合同派が荷主に好感あるは事實で故に合同派新會社の經營は餘程困難と見られてゐる

證券の暴落と金解禁問題
日本經濟聯盟會より政府の方針を質す

【東京三十日發電】日本經濟聯盟會常務理事會は二十九日午後三時より工業俱樂部に開催し會長團琢磨男初め土方日銀總裁、郷誠之助男、中島久萬吉男、藤山雷太、宮島清次郎、井坂孝、藤田謙一、大橋新太郎、磯村豐太郎氏等の財界巨頭出席したが席上岡崎東株理事長より

今日の有價證券の暴落は政府の金解禁方針の曖昧なるに基くものであるから諸氏に於ては安定策につき考慮され度い

と述べ對策を協議した結果金解禁に對する政府の方針を明示せしむるため政府當局と懇談するを適當と認め之に依て實行委員に井上準之助、團琢磨、郷誠之助の三氏が選定され、三氏は卅日午前十時より官邸に三土藏相を訪問會見した

大連製氷增資か

大連製氷會社は一般財界不振の折柄にかゝわらず每期年一割六分以上の配當を續け、當地事業會社中稀にみる好成績を示しつゝあるが最近においては青島支店における冷凍卵の外國輸出激增し、同地工場等も增設の已むなきに至る盛況を呈してゐるので、同社は來月末當期決算を終ると共に大株主を招待して青島工場を觀察すると共に同地工場擴張のため、現在資本金百五十萬圓（内拂込七十五萬圓）を資本金二百萬圓に增資、計畫あるものゝ如く、右は兒島社長の歸連を俟つて内定する模樣である

經濟眼
數字に現れた滿洲の財界
大連商議書記長　篠崎嘉郎

十、滿鐵運輸成績

滿鐵會社は明治四十年四月野戰鐵道提理部より一切の業務を繼承すると同時に經營上各般の改善及び出貨の奬勵等に鋭意努力し、四十一年五月本線廣軌の

＝開通＝を見るに至り輸送力の激增貨物の溌達等其の能率大に增進し次で四十二年十月運輸規程、運賃其の他全般に亘つて根本的に一大改善を加へ更に安奉線廣軌改築完成後朝鮮鐵道との相互貨車直通聯絡開始其の他鐵道並に汽船等の聯絡開始等より逐次輸送貨物の數量を增加したが、交通の發達普及と共に奧地の開發を促し大豆、高粱其の他農産物の産額が年を逐ふて益々多きを加へ之を原料とする豆油、豆粕を首め各種の製造工業勃興し又撫順炭の産額增加並に木材石材等の産出增加し、一方滿蒙に於ける人口の增加と盛となり所謂北上貨物も漸增した

＝趨勢＝を辿り、昭和元年度には一千六百萬噸に達し之を創業の年なる明治四十年度に於ける取扱貨物百四十萬噸に比すれば十一倍の增加を來したが次いで昭和二年度には一千八百萬噸同三年度には一千九百萬噸に增進し遠からず二千萬噸を突破せんとする勢を示して居る、即ち戰前たる大正二年度を一〇〇として昭和三年度に於ける貨物の增加割合は三三四である。

鐵道營業收入中客車收入に就て見るに同收入は大正二年度には五百七萬圓にして以後二箇年間は稍減少を示したが五年度以降は逐年增加を示し八、九兩年度は遂に一千四百萬圓を突破した。爾後數年收入減少を見たるも十四年度に至り

こと等は鐵道輸送貨物を增進したる主なる原因である

大正二年以降の貨物取扱數量を一瞥するに同年度に於ける取扱貨物は五百七十八萬噸に過ぎざりしが、財界の殷賑を極めた大正八年度には一千萬噸を突破し其の後財界は不況に陷りたるも取扱貨物は依然として增加の

再び一千四百萬圓に復歸し以來年々增加するのみにて昭和三年度には一千七百六十萬圓となつた。

貨車收入は大正二年度に於て一千六百萬圓なりしが、爾來大正四年及び同十年の兩年度を例外として逐年顯著なる增加を示し昭和三年度に於ては遂に九千七百萬圓に躍進したのである。尤も大正九年度の貨車收入は六千四百萬圓にして八年度に比し一千七百五十萬圓を

＝急增＝したのは前年十一月約三割の運賃引上げを實行したのに因づくのである。次に客車收入、貨車收入、雜收入の合計金額を見るに大正二年度は二千二百萬圓にして以來大正八、十年の兩年度を除いては年と共に增加し昭和三年度には一億二千萬圓に達し大正二年度收入に比すれば、五十三割以上の增進である即ち滿鐵は戰前に比し貨物の增加率三十三割であるけれ共鐵道收入は五十三割の增加となつて居る。

次に營業支出を見るに收入の增加に伴れて著しく膨脹し大正二年度には七百九十萬圓に過ぎざりし

が以後年々增加し大正八年には俄然三千萬圓臺に上り其の後も引續き增加の

＝一路＝を辿り昭和三年度には四千四百萬圓に達し之を大正二年度に比すれば五十六割の增加である。

斯く收入增加率は支出增加率に及ばざるも營業收益は大正二年度の益金僅かに一千四百六萬圓なりしも昭和三年度は實に七千四百萬圓に達した。さうして營業收入に對する支出の割合は大正二年度に於て三六%にして以後累年低下し大正五年度の三〇%を最低として再び多少の膨脹を示したが、而かも尚大正十年度以降の最高は昭和元年度の四三・に過ぎない。之を帝國々有鐵道の五三乃至五九%同地方鐵道の四八乃至五八%朝鮮鐵道の七七乃至八三%及び同私設鐵道の七三乃至八〇%に比すれば遙かに低位にあることを窺知し得るである。而して滿鐵は昭和三年度に至りて前年の四〇より三七に低下し大正六年以來の記錄を示して居るが、是れ石炭車輛費等の節約で山本社長の經濟化の結果とでも云ふべきか。

黄塵

◇…公債の三十年整理案は三土藏相の私案かと思つたら、何時の間にか現内閣の新看板に塗り代へられてゐる。

◇…若公債の濫發が現内閣の罪惡の一つなら、之はまさに其尻拭だ、がそれも宜からう。

◇…だがまさか財源云々で兩税委讓と公債整理とを取り替へる氣ではあるまいな。

◇…無名の一市民と云ふ人が新聞記者のような「訪問記」を書いて居る。

◇…寧ろ有名な（?）一重役の「訪問記」の方が面白い。

◇…シ團を組織して株界の救濟をするよりも、賣方をフン縛つて奉票の値上を圖る方が手ッ取り早い。

◇…尤も、ソンな小刀細工で大勢を支へきれないのは、ドチラも同じことだ。

市況

特産　高粱は强調　先高氣構へに

今朝の定期は差したる新材料はないが大豆は依然賣物の出現に軟調を辿り三等大豆は不申豆粕又大豆安に隨伴して軟弱を辿り豆油は添はず焦付商狀を示し高粱は在庫薄の折柄先高を氣構へて强調を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

▲豆粕（軟調）單位厘

▲三等大豆（出來不申）

▲豆油（保合）單位錢

▲高粱（强調）單位厘

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）	六五二〇	六五一〇
大豆（裸物）		
出來高	七十車	
三等大豆（出來不申）		
豆粕	二一八〇	二一八〇
出來高	六千枚	
豆油	一六二二五	一六二二五
出來高	二百箱	
高粱	三四六〇	三四六〇
出來高	十車	
包米	三八〇〇	三八〇〇
出來高	五車	

▲包米（出來不申）出來高九十三車

雜穀出來値（廿九日）

▲吉豆（鄭家屯）六、九〇▲烏豆（蘇家屯）五、三〇▲小黑豆五、三〇

定期喰合高（廿九日）（鐵入）

		前日對比較×印減
大豆	二八三一車	四車
高粱	二一三五車	×一九車
豆粕	一四二一千枚	×四千枚
豆油	一八五五百函	一〇百函

錢鈔

前場（强調）今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十四片八分の五と（同事）先物二十五片八分の五と（十六分の一安）紐育は五十三仙四分の一と（八分の一高）孟買は五十六兩四分の三と（十六分の三高）滙兌は七十兩九二五、大洋は九十九圓七十五錢、日米は四十四弗八分の三と（十六分の一安）米日は四十四弗十六分の七と（八分の一安）英米クロスは八十五仙三十二分の一と（三十二分の一高）米支は五十九弗十六分の一と（十六分の一安）上海標金は三百六十九兩二と止めて當市の銀價は强調を呈してゐた

◇定期取引（單位錢）

◇現物取引（單位錢）

商品

前場

麻袋（期近安）産地青四分一、錢八分の一安と小緩みを報じ當市

市場電報

銀塊及爲替

棉花

株式

諸株共軟弱　新東慘落に

昨後場に引續き新東は鈞慘落を演じてゐるか當市割合に氣丈さを示し定期一二十錢安に打止め直の引更に新東の引安を傳へ安と軟化した新豆は四五鈔も弱含み、氷新のみ特みの賣物薄に七八十錢高を演じた現物の大新は二落新東一圓安滿鐵二新はと軟化した出來高定期二十枚現物二千五十枚

前場

後場（保合）

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戸豆粕

横濱生糸

印度麻袋

奧地市況（卅日）

手形交換高（卅日）

上海爲替情報

【上海三十日發電】廣東路における支那學生の暴行で市場人氣惡く左の如く低落を示した

上海標金

爲替相場（正卅日午）

平安異香 (4)

葉多默太郎作
中一彌畫

非常線(四)

「遁手ぢやねエかな、おつうちやん」

「まさかお前、はした女と下郎の六さんを捕へるのに長刀捕棒でもないぢやないか。何かこの邊に大捕物があるんだよ」

云つてゐる中に近付いて來たので、彌陀六とおつねが、松の根蔭に轉がつて息を呑んでゐると、松明で闇を破つて衝き進んで來るのは人數二三十人、何れも布衣の下に隱し腹當を締めて、膝頭で括つた短袴に脚絆草鞋、腰に野太刀をぶつこんで肩に長刀を擔いだのもあり、手に捕棒を提げたのもゐる……

それが風のやうにサーと行過ぎたので、おつねと彌陀六が頸を伸ばして、

「すさまじいものだなあ」と見送つてゐる間に、この捕吏の一隊はずん〳〵濱へ下りて行く。

と、行手にボツつり紅い灯だ、雨催ひになつてゐるのか灯が濡れて見える。

「おぬし達はこゝで待つてゐろ」

馬を後に牽かせて、徒歩で一隊の先頭に立つてゐたが上司らしいのが初めて口を開いた。胴の入つた張のあるいゝ聲だつた。

「松明を消して了へ。靜かにしてゐるんだぞ。俺の下知があるまでは身動きならぬ。怪しい奴が通つても手出しはならぬ。いゝな」

嚴しく命じておいてスウと闇の中へ呑まれて了つたと見ると、間もなく、砂濱の一本松を天蓋にかぶつてチョコナンと立つてゐる漁師小屋の前に姿を現はした。

灯の漏れてゐる窓の側を避けて裏手へ廻る。扉は、舟の朽板や何かを手當り次第に拾つて來て打附けたもので中を窺ふには苦勞はいらぬ。隙間から覗くと、一人の男が、煤けた柱に倚つて、つくねんと膝を抱いてゐる。他に誰もゐないらしい。

が、捕吏は大事をとつて聲は掛けず、まづコツ〳〵と扉を叩いた。

「誰だ?」と中の男、愕然として鋭く叫んだが、外の人が、默つてもう一度コツ〳〵と扉を叩くと、中の男は戸口の方へ口を突き出して、

「旦那ですかい?、黑住の旦那で……」

云つてじつと返辭を待つ――。

「さうだ。俺だ。黑住源八郎だ。が、又五郎、首尾は?」と外から忍んだ聲。

又五郎は默つて立上つた。土間の草履をつッかけて、扉を細目に開けると、するりと消えるやうに外へ出て、はだかつた襟を短袴の中へ突込みながら、

「いゝ按排でござんすよ。てつきり今夜に相違ござんせん」

「骨折忝ない。が、お秀は?」

「妹でござんすか。あいつは今日方出かけました。やつぱり今日お報せ申した通り、今夜の亥の刻時分に親船がこの沖へ着いて、夢之助は小舟でこの濱へ上る手筈になつてゐるんで――ヘエ、すつかり探つておきました、妹の奴等は松明を用意して行きましたがねエ舟に目見當をつけてやるつもりに相違ございませぬ」

「妹の奴等といふと、誰か他に來てゐるのか―」

「夢之助の手下の奴等が、今朝から出迎へに來てやがるんで……」

「さうだらう。が、何人來てゐるんだ、人數は?」

「大したもんぢやござんせん、ほんの四五人――だが旦那、高麗の三郎や女面の小太郎なんて粒選りだから、油斷は出來ませんやね」

「高の知れた野武士だ。安心するがいゝ。俺は黑住源八郎さ―」

「へ、へ、そりやもう、鬼判官だの、秦の司馬陵だのと云つて、當世の暗黑面に怖氣を慄はせてゐる旦那のことでござんすからなあ」

秦の司馬陵は稀代の捕吏だつた。慧眼にして辣腕古今未曾有と云はれてゐる。どの位偉かつたかといふと――ある夜、ある家で主客相對して快談の時、話が偶〻彼のことになつて、主人が司馬陵の名を口にすると、天井に忍んでゐた所謂梁上の君子が、射られた鳥のやうに、ばつたりと落ちて來た。しかも、それが彼の死後數百年ものちの話である――

支那一流の誇張としても、かなり凄い人間であつたのには間違ひあるまい。

源八郎は、この司馬陵にも匹敵する名捕吏だと、一世にうたはれた人だつた。

黑住源八郎が笑つて往きかけると、

「おつと旦那、待つて下さい」と又五郎が、呼びとめる。

教育映畫講演

目下來連ヤマトホテル滯在中の映畫評論家立花高四郎氏は昨二十九日自動車で旅順に赴き途中龍王塘水源地を見學して關東廳に和田保安課長を訪ひ次いで工大黃風閣に於て豫本科生のために「映畫の文化的價値」と題して約一時間に亘る講演をなし戰蹟を見學して夕方歸連し午後七時半より大連滿鐵社員俱樂部第二食堂に於ける本社主催の一般教育關係者のための映畫講演會に臨み「教育映畫に就いて」と題し有益なる講演をなしたが、聽衆は西内一中、石川神明兩校長をはじめ教育家が終始熱心に傾聽し午後十時頃散會した、尚立花氏は本日金州見物に赴いたが明朝沿線に出發の筈である

女義太夫 團司來演 三日から開演

郷土藝術の粹女義太夫豐竹團司、豐澤小住一座は三十日神戸發のうらる丸に乘船六月二日大連着三時より華々敷く歌舞伎座で開演するが、何しろ素晴らしい顏ぶれであるだけに天狗連の期待は非常なものである、その顏ぶれは竹本若子、豐竹團子、竹本君一、竹本住枝、竹本文奴、豐竹呂玉、豐竹團司、三味線は豐澤助六、豐澤住榮、豐澤小住で何れも斯界に重きをなしてゐるものばかりである、殊に豐竹呂玉は呂昇仕込みの秘藏弟子で本年廿一歲で體重二十三貫と云ふ堂々たるもので語り口は恩師呂昇そのまゝとのことである、兎に角珍しい一座であるから開演の曉は定めし好評を得るであらう、入場料は特等二圓、一等一圓五十錢であるが前賣割引券をせい〴〵利用されたいと

先月から話のあつたカボチヤこと小泉嘉輔一座の實演隊が愈〻來演することになつた▲杉村チヱ子に吉田興作の一座はいさゝか難産らしいとの噂もある▲ヴイクターが六月の新譜で賣り出した野口雨情作の「滿洲前衞歌」を櫛木氏が振りつけて村岡樂童氏作曲の「五月祭り」と共に▲情報課でこの間の日曜日に撮影したが、レコードとうまくシンクロナイズされてゐれば面白いものが出來るだらうと期待されてゐる△帝國館は新經營者の開館祝ひに「黃昏の誘惑」をト映するそうだが▲東京淺草の帝國館の開館祝ひのプロを眞似た洒落でもあるまいが偶然といふもの丶惡戲である。

發聲映畫雜話 (五)

矢野クニジ

M「何うしてそんな變手古な電球が要るのがい」

K「そこだよ。音響が物體の振動で發生することは君だつて承知の筈だ、所でお互ひ男性の發する聲は低い所で每分八十回、テナーなんかゞ出すのが八百回、彼女等のソプラノが一千から一千二百回あまりの振動なんだ。ピアノが二七回から四千回位の振動數を持つてゐる……」

N「解つたよ、――だから其等の振動數に從つて、つまりシンクロナイズして明暗の度を變化してくれる樣な電球が無くては困ると云ふんだね―」

K「全く其通りだよ」

M「そして其の電球の光りでフキルムを感光せしめるんだね」

K「左樣。臺詞や樂器等の高低、音色に依つて變化する光りを、スリツトと呼ぶフキルムの長さの方向に二千分の三吋、巾の方向に三十二分の三吋の小間隙を通過せしめて、フキルムの片側の音聲記錄帶の部分を感光せしめると、强い音聲の部分は光りが强くなるから比較的黑く、弱い部分は弱くなるから薄く、音聲が全くない部分は透明になることは、君が得意の寫眞の原板と同じさ―」

M「成程ね。それを現像して更に燒き付けて、ポジテイブ、フキルムを得れば、ネガテイブとは正に對た明暗のある縞となつて現はれる譯だね」

K「其の邊は君の方が精しいよ。その横縞はとりもなほさず音聲の縞だ。そして、マイクロフオンからピツク、アツプせられて擴大せられ、スリツトを通過してフキルムに感光するまでの時間は勿論瞬間だから、音と寫眞とは完全にシンクロナイズして同一フキルムに撮ることが出來るんだ」

M「成程!うまくやつてるね。巧妙だ」

斯くして一ツのシーンのトーキー、ポジテイブ、フキルムが出來上るのであるが、實際の場合は撮影が終つてから直にポジテイブ、フキルムを製らないのである。其の前に今撮つた音響効果が滿足であるかを試聽して見る必要がある。

この目的の爲めに前記の蠟盤に記錄したものに依つて、蓄音器を聽く場合と同樣にして、今まで撮した音響効果を試聽するのである。二重に記錄して置く必要は是れが爲めである。

この試聽のことをプレイ、バツクと云ふが、このプレイ、バツクが滿足であれば次のシーンに移ると云ふ具合にして全卷を完成するのである。

映画案内

滿洲日報

昨日五卅紀念當日 上海で大示威運動

租界當局も手のつけやうなく 南京路混亂に陷る

【上海大矢特派員三十日發電】本日は五卅事件四周年記念日とて國民政府及び租界當局の嚴重なる警戒にも拘らず朝來多數の群衆英租界大通りに參集して示威運動を行ひつゝあり、租界警察は隊伍を組んで行列を爲すことを禁じてゐるので群衆は三々伍々、警官の警戒手薄な場所を求めて「打倒帝國主義」のスローガンを叫びつゝあり、南京路の如きは混亂雜鬧を極め全然手の付けやうもなき有樣である、過日英國兵士の爲めに射殺された張某の葬儀も今朝擧行され、行列を組んで正午頃五卅事件の勃發した南京路警察前へ繰込み、示威運動を行ふ筈で又もや衝突を起しかねない形勢である

共產系分子策動し 市民、不安に驅らる

暴漢民國日報社を襲擊

【上海大矢特派員三十日發電】三十日午前十時十數名の暴漢突如國民黨機關民國日報社に暴れ込れ社屋及び工場を手當り次第破壞して何處ともなく逃げ失せた、暴漢は共產黨の一味らしく警察署は直に逮捕に向つたが行方全然不明にして、近來國民政府は民衆運動の凡有る機關を封鎖し嚴重に取締をなし、租界警察にても今日は五卅記念日で共產黨及び反政府分子の策動が傳へられてゐる折から、特別警戒を嚴重にしてゐたが、朝來租界ぶち拔きの場所たる三馬路の民國日報襲擊が成功したので此處を口火に更に如何なる騷擾を惹起せぬとも限られず、市民は不安の念にかられてゐる
になりそうな暴行である

國書捧呈は四日に

【南京卅日發電】國書捧呈は六月四日午前九時と決定し芳澤公使はその後上海に行き五日午後二時發北平に歸任する筈

延期理由說明

【南京三十日發電】芳澤公使は今朝王正廷氏と接見の際國書捧呈延期理由につき說明を求めたるに、王氏は日取變更は誠に濟まぬが斯かゝ目出度い事を喪中に行ふことは快くないから國喪明け直後に願ひ度いと陳辯し公使の諒解を求めたので、公使も四日行ふことに同意した

關內出兵の要なきに至る

最高會議はお流れか

【奉天特電三十日發】本日開催の筈なりし東北四省巨頭會議は張作相氏の關內出兵反對も萬福麟氏の態度煮え切らぬため湯玉麟氏の積極說だけでは物にならず、その上南京政府では奉天側が今尙張宗昌其他の反國民政府政客と聯絡をとりつゝありとて俄に對奉態度冷やかとなりたるため出兵の要なきに至り從つて最高軍事會議もお流れ

滿洲の赤化を企て 積極的援馮を計畫

押收文書一部を發表

【哈爾賓三十日發電】支那官憲がロシア領事館の共產黨秘密會議場で押收した書類の一部は三十日發表されたが、その內容は左の如くである

一、東三省に於ける露西亞滿洲共產黨執行委員會の百二ケ條に亘る組織的赤化運動方法
二、ロシアの積極的馮玉祥援助に關する計畫
三、右に關するメリニコフ領事とモスクワ政府との往復文書
四、露支國境で赤衛軍の示威運動を行ひ奉天軍の關內出動及び蔣介石援助を阻止する計畫

等であるが押收文書は續々發表する筈である

宙ブラリの對奉抗議

代表大に困る

【奉天特電三十日發】駐奉勞農露國總領事代理マルテーノフ氏は莫斯科政府の電命により廿九日交涉署に王署長を往訪哈爾賓勞農總領事館搜查事件に關し抗議すべく會見を求めたが多忙の故を以て面會せず、三十日も五三十記念日なる故を以て面會を拒絕されたので途方に暮れてゐる、但し莫斯科駐支那代表は昨日既にカラハン氏よりに抗議接したと

白崇禧氏死亡說

【香港三十日發電】白崇禧氏は負傷の爲め遂に死去し黃旭初が前敵總指揮になつたと傳へられてゐる

人民委員長に ルイコフ氏再選

【モスクワ廿九日發電】ソウエート聯邦中央執行委員會は改選後最初の會合に於て人民委員會各部長を再選し、ルイコフ氏は右委員會の首班として再選された、其の位置はソウエート聯邦の國務總理と同一である

木下長官 首相を訪問

【東京三十日發電】木下關東長官は三十日田中首相を訪問し關東州最近の情況を報告した

官吏入替進言

【東京卅日發電】木下關東長官は三十日午後田中首相との會見において拓務省新設について課長級の役員はなるべく關東州その他植民地の在官者を採り、中央官省にあるものを植民地へ轉任させる樣官吏の入替を進言した

財界の現狀では金解禁は出來ぬ

財界巨頭三氏この會見に於て 三土藏相言明す

【東京特電三十日發】有價證券暴落對策に關する日本經濟聯盟常務理事會の決議(夕刊經濟面所報)に依り井上準之助、團琢磨、鄕誠之助の財界巨頭三氏は三日午前十時藏相官邸で三土藏相と會見したが其の會見の內容として三土藏相より發表した所は左の通りである

三氏の質問

最近公債株式等暴落の爲め財界は不安にかられてゐる、其の原因は種々あらうが目下世人の最も憂慮してゐるのは金解禁に對する政府の態度と考へる、政府は目下の不安な財界に就て問題を如何に取扱はるゝか

藏相の答辯

我が財界の現狀に就ては政府に於ても憂慮し、之が對策につき考慮してゐる、金解禁問題に對する政府の方針は私が度々公開の席上聲明せる通りで何等變る處はない、即ち金解禁は出來るだけ無理のない狀態の下に於て實行せんとするもので、之が爲め諸般の準備を硏究してゐる次第である、從つて昨今の如き財界の狀態の下に於ては輕々に之を實行する事の出來ないのは勿論の事である

三氏も充分諒解して呉れた

明日の閣議に報告すると 三土藏相語る

右會見の直後三土藏相は語る

金解禁問題を中心として政府の財政經濟策については三氏とも充分諒解して呉れたから再び會見の必要はない、財界三巨頭訪問のことであるから明日の閣議には一應報告する積りである

會見後に 井上氏語る

株式の暴落により株式市場が不安となり、ひいて一般財界が如何になり行くかについて少なからぬ不安を感じ、この原因のうち最も重要なるものは金解禁問題に對する政府の態度如何といふことであるからわれ／＼は政府に對しこれが取扱ひ方の言明を希望したのであるが、政府は財界の現狀に於て今直に解禁をやる考へは全くもつてゐないといふことを言明され、明日の閣議でも本日會見の結果を報告するとのことであつた

床次氏入閣せば 民政黨は大打擊

幹部連大に警戒す

【東京特電三十日發】田中首相は床次氏が湯ケ原より歸京したので、いよ／＼近く會見の上、入閣の勸告をなすことになつたが、首相は床次氏との會見に先だち久原遞相をして床次氏と會談せしめ豫め瀨踏みをなす段取りとなつてゐる大體の形勢としては既に不戰條約も聖上還幸後に於て樞府を通過する見込みがついてゐるから從來形勢觀望中であつた床次氏もいよ／＼入閣を考慮する場合となつたと觀測してゐる、一方民政黨は此等の狀勢に對して頗る重大視し各方面の情報に基き對策の講究中であるが若し床次氏の入閣實現すれば民政黨は重大なる打擊を受くること瞭かであるので幹部連は地方行を見合せて警戒に努め頗る緊張してゐる

改造は遲れやう

金解禁斷行が刻下の急務 床次竹二郎氏談

【東京特電三十日發】卅日湯ケ原から歸京した床次氏の談話左の如し

政局も新聞では段々忙がしくなるやうに傳へられるが――實の處未だ左樣なることはあるまい孰れにしても政府は不戰條約を其の儘にして改造に着手することは出來まいから陛下御還幸後とりあへず拓務大臣の任命を行ひ然る後不戰條約案の解決に掛るであらう、改造問題は其の後のことだ、不戰條約案の諒解が何うなつてゐるか知らぬが何とか圓滿に行くであらう、僕の入閣問題も何しろ此方は受身であるから今の處何うなるか判らない、政友會も民政黨も昨今政策の更新に努力してゐるやうであるが之は結構なことだ、然し今日の國策は金解禁を前提として決せらるべきもので、日本國民は一致して大なる決心を以て此の解決に當らねばならぬ

政務總監の後任交涉

【東京卅日發電】田中首相は午後三時四十分千佐美務夫氏を官邸に招致し朝鮮政務總監後任の交涉中である

釣瓶落しの東株相場

當市場は比較的影響をうけず

一般株界の不況に直面して取引不振を來し、今期配當減を豫想されてゐる東株、新東、市場救濟のシンジゲート團組織計畫の鳴り物も利かず、續落を演じ昨後場新東の如きは百二十圓臺に叩き込まれたが今朝に至りても落潮止まず西筋の賣氣猛烈で長期は百十六圓二十錢と四圓安、同期は二圓安の百十七圓六十錢、更に前場の引は百十五圓四十錢と大正十四年以來の新安値に釣瓶落しの激落を演じた

當市もこれにつれて氣配軟弱ながら五品は特殊材料を含みて割合に底固く前場中期は僅か一、二十錢安、現物の引際七八十錢安を唱へたのみで無爲にも崩れず

新豆錢鈔も三四十錢安に打止め氷新の如きは業績樂觀と增資氣構へに買氣を喚び現物は七八十錢高と獨歩高を演ずる等內地安に對しては割合に無關心な場面を呈した

驛傳競爭秘策の側面觀

驛傳競爭をキッカケとして 讀者に與へた滿蒙鐵道智識 (下)

藤森圓鄕

尤も大連驛出發に就いては紅白兩班の中何れかは急行列車を利用するであらうが他の一班は最初自動車を旅順へ飛ばすものと一般は考へてゐたらしい。また紅白兩班何れが勝つかゝ言ふことに就いても最初の內は白班の方に多く望を賭けてゐたやうであるが最近どうも風向きが變つて來たらしい。投票の締切間際に當つて折角望みを賭けられてゐる白班の秘策が吉敦、輝吉、瀋輝三鐵道とも貨物列車の運休で目茶苦茶に打ち壞されて最初の計畫に一頓挫を來したことは實に口惜しいことであつた。

◇

こんな事になるんだつたら始めからと愚痴を零す人もあるであらうが長春で一泊して翌日の午前八時三十分發十一時三十分吉林着吉林午後零時三十分發敦化午後八時着一泊、翌朝の七時五十分敦化發午後三時二十五分吉林着同夜一泊のダイヤグラムを採つた方が選手はどんなに樂であつたか知れない、然しながら僥倖にして乘繼短縮の計畫が實現出來たとすれば加藤選手は驚嘆すべき一番乘りの記錄を作つたであらう、尤も本線の突破は難關中の難所であつたから萬止むを得ない不可抗力で致し方が無いけれども諸君は薄暗い貨車の中へ手さぐりで莚を敷いて頑張つたと言ふ惱ましき思ひに焦れた加藤選手の穩かならぬ心中を買つてやることに決して吝で無いであらう。

◇

加藤選手が吉敦線の貨物列車運休でむざ／＼二泊を餘儀なくされたのは返す／＼も殘念至極である。曩に筆者は奉海線の運行情態の良否が全行程中の大難關であると共にキャステングボートを握るものであると言明したが若し加藤選手が順調にあのコースを運べば吉敦線で一日奉海線でもまる一日都合四十八時間からの節約が出來たのである、奉海線一日の節約とは即ち吉會鐵道(輝吉線と改稱)の始發驛吉林總站發の旅客列車は一日一本であるから吉林總站發午前八時朝陽鎭午後四時四十五分着の列車に乘る、瀋海(瀋輝)線への旅客列車の接續は同日夫以後のものが無い、然し同日の午後七時朝陽鎭發梅河口午後八時四十分着の所謂定期の貨物列車便がある此の列車に接續すべき梅河口發の旅客列車は勿論無いが翌日の午前二時發西安着午前五時二十分の貨物列車がある、西安梅河口間の折返し運轉は午前十時十五分發の奉天站着午後九時の直通旅客列車があるから此の半旅客半貨物の列車が利用出來れば旅客列車の專用に比し正に一晝夜の約節即ち加藤選手は二十六日の午後九時に奉天站へ到着し得たのである。

◇

紅班第三走者木村選手が果して加藤選手の轍を踏むか夫とも貨物列車が運轉されるか非常に興味ある問題となつて來たが讀者諸君も定めて肩の凝ることであらう。夫れにしても今日迄大多數の人々に殆ど顧みられなかつた滿蒙の正しき姿と鐵道網の形態とが驛傳競爭を良い切掛として讀者諸君に樣々な形で硏究され、背後地に於ける一線一驛の消息が居ながらにして手に取るが如く展開されて交通系統に關する該博なる智識を多分に摑み得られたことを衷心より感謝し且つ喜ばねばならぬと思ふものである(完)

兩班の競爭は 日と共に深刻

豫定コースの大半を踏破す 紅班見事勝つか

驛傳競爭の興味は日とともに加はつて來るところ驛傳の話でもち切り、花柳界等に在つては「驛傳」といふ新しい座敷言葉などがつくり出されるまでに全滿の人氣をそゝりたてゝゐるが、戰はこれにも增して白熱的である即ち兩班とも既に豫定コースの

大半を

踏破して紅は南部の小線を殘して只管時間の短縮をはかつて必勝を期し、白は又北滿東支線を長驅して一擧に南下決勝點に入らんとし、兩軍の對陣は前半戰以上の興味と深刻さを加へて來た、白班は既に南滿の各難關を縫り後半のコースは極めて單純であつて、僅かに半奉打通の二關を餘すのみで略大連歸着の時間も豫想されることゝなり

玄人筋

の計算では入日の朝九時三十六分着列車を以て旅順に下車直に自動車によつて旅大道路を疾驅し、同十時四五十分頃即ち二十日と三時間以內のレコードを以て決勝點に入るであらうと見られてゐる、これに反し紅班はまだ相當難關多く如何なるコースを選んでこれを征服するか殆ど豫測を許さないが、最も白班の苦められた敎化に於て美事貨車利用に成功して難局に入る第一關がさい先良く

貴重な

一日を短縮したのであるから、今後を白班の時の如くスラ／＼と連絡して行つたならば白に比し一日內外の記錄を縮めて優勝の月桂冠を獲得するかもしれない、要は今後小線の連絡如何にかゝり大體に於て白の豫想時に向つて肉薄し、遂に之を凌ぐずるか否かゞ最も興味あり且紅班の秘策を練るところである

神藏選手 けふ呼海線へ

【神藏白班選手卅日哈爾賓發電】余は二十八日加藤選手の後を受け長春を發して長驅東支鐵道南部線及び東部線七百八十哩を征服し卅日午後五時三十分哈爾賓に到着した、距離においては紅班に劣つてゐた白班は忽ち敵班を破ることゝなり今日迄の白班の走破里程は實に二千二百七十一哩、及び全行程の三分の二である、尙余は呼海鐵道の夜行貨物列車運休のため哈爾賓一泊を餘儀なくされ三十一日午前九時馬船口發海倫に向ふ豫定である

長谷部選手 今朝出發

木村選手と交代

吉敦線の貨物列車利用に成功して紅班のために氣を吐いた木村選手と交代する第三走者長谷部選手は三十一日午前八時十分の列車で大連を出發して引繼地點に向つて北行する豫定である

流言頻に行はれ 露人極度に不安

ボグラニチナヤにて二十九日 神藏白班選手發電

余はハルビンを發して東鐵東部線に向ひ廿九日午後五時卅分ボグラニチナヤに到着した、當地の東鐵從業員及びソウエート人等はハルビン總領事館手入れ事件のため極度の不安に陷り六十名逮捕されたとか武器三百發見されたとか流言頻りに行はれてゐる、當地のソウエート領事館には何等異狀は無いがハルビンよりの命令あり次第支那警察は何等かの行動に出づべく緊張しつゝあり一般の空氣頗る無氣味である廿九日午後八時半發ハルビンに向ふ

馮閻連名で下野宣言 相携へて外遊せん

閻氏昨日運城に赴く

【北平三十日發電】閻錫山氏は時局解決の唯一辦法は各軍事首腦者の下野による外なしとの信念から馮玉祥氏と數次電報往復の結果今朝太原發自動車で運城に赴いた、同地において馮氏と會見し兩者連名の下野宣言を發し直に相携へて外遊すべく、運城より共に太原にかへり石家莊に出で北平を經て天津より外國に赴く事に豫定されて居る、山西側の信ずる處では先づ日本に赴き次でアメリカに渡るであらうと

天津を經て 先づ日本へ

商船支店に乘船交涉說

【天津卅日發電】天津警備司令部の消息によれば、馮玉祥氏は閻錫山氏と相携へ日本を振り出しに歐米を漫遊すべく打合せ完了し、閻氏は今三十日運城に赴き馮氏を迎へることゝなり、同時に天津の支那當局は閻錫山氏から大阪商船に乘船につき交涉せよとの電命に接したと、ために昨日天津から山西に向ふべくメリケン粉一萬袋ガソリン一千箱その他糧食武器彈藥を滿載せる二個列車と、移動準備完了した二千名は出發間際には時間につき出發見合せの命令に接したとの事實に見て相當確實らしい、しかし商船會社支店では閻氏らの乘船につき未だ何等の交涉を受けて居ないと言つて居る

英國軍艦出港

去る二十五日入港し第一第二浮標に横付けられてゐた英國軍艦カムバーランド號は、三十日午前五時豫定の如く見學の目的を終へ威海衛に向つて拔錨出帆した

衞生宣傳の 活動寫眞會

沿線地方巡回

夏季傳染病發生期が目前に迫つて來た、滿鐵各地方事務所並に警察署主催で本社衞生課の計畫に基き六月三日より左の日割で沿線地方に衞生思想普及傳染病豫防の活動寫眞會を開催する筈である

△六月三日鞍山△同四日大石橋△同五日營口△同八日遼陽△同十日鐵嶺△同十一日開原△同十二日四平街△同十三日公主嶺△同十五日長春△同十六日同△同十七日奉天△同十八日同△同十九日撫順△同二十日同△同二十一日本溪湖△同二十三日安東△同二十七日瓦房店

▲滿鮮は今や旅行の好シーズンだが旅行に出て誰でも困るのは例に依つてチップの問題▲これに就てその道の專門家、遼東ホテルの山田三平氏の話を聞くと「日本人經營の旅館なら大抵支拂額の一割五分と云ふ所がいゝ目標だらう、然し實際において旅行すれば矢張り二割位迄は拂ふことになるやうですね」と▲そのチップの話で原田五品理事長、庵谷奉商會頭、五泉辯護士それに山田氏などが會合した或席上▲「一體定期船では何の位のチップを支拂ふ?」と云ふ問題が提出されると▲山田氏「部屋ボーイに十圓、食堂ボーイに十圓、そして浴場ボーイに三圓」と云ふ▲又原田氏は「部屋十圓、食堂三圓、浴場二圓」五泉氏も大體同じ見當▲庵谷氏は部屋十圓、浴場三圓、食堂のことはツイ浮つかりして居た」と告白▲で、山田氏の食堂十圓は高過ぎる、原田、五泉兩氏のチップが妥當だらうと云ふことに意見一致▲但し、これは一等船客標準としてのチップであることは云ふまでもない。

大連支部の 決議案

青年議會提出

第一回青年議會に大連支部より提出する決議案左の如し

一、農業移民に關する決議案

南滿洲鐵道株式會社の設立せる大連農事會社に於て農業移民募集に際しては在滿同胞に優先權を附與せられん事を望む

一、邦人勞働者擁護決議案

今や母國の人口と食料の重大問題は滿蒙の地に於て解決せらるべく而して邦人勞働者を多數移住せしむるは最も緊要なるに拘らず在滿企業家は資本主義にのみ拘泥して華人勞働者を雇傭し邦人勞働者を雇傭する者絕無なり、是邦人滿蒙發展上の一大憂患にして社會政策の見地よりしても吾人の最も遺憾とする處なり、よつて滿鐵會社及關東廳を始め其の他企業家は此の點に留意されん事を望む

一、農業實踐決議案

適當の地に土地を選定し青年聯盟會員に農事實習の機會を與へ永住土着の精神を作興すると共に、將來滿蒙の地に於て農業に從事せんとする眞摯なる青年の養成をなすべし

一、生活改善決議案

本案は諸提案に先ち決すべきものにて、諸員與に奮闘努力し本聯盟の要求となし滿場一致を以て贊成あらん事を望む

(實行方法)

一、生活改善宣傳部は大連に本部を置き各支部に支部員を置く
本支部は一致同體となり滿洲一齊に行ふ事
二、實行委員を設け現實實行の方法を考究すること
三、全議員實踐委員となり實行し、會員を善導し一般人士と提携する事

航輸定時總會

年五分配當

【東京三十日發電】日本航空輸送會社は三十日午前十前から日本工業俱樂部で定時總會を開き年五歩の配當案を可決した

洮昂四洮兩局長 滿鐵社長招待

目下滯連中の四洮鐵路局長周培炳洮昂鐵路局長萬國賓の兩氏は三十日午後六時より美濃町料亭湖月に山本滿鐵社長以下各重役を招待して隨員と共に盛宴を張つた

百武少將來連

海軍々令部第一班長海軍少將百武源吾氏は軍令部參謀と共に六月七日午後八時半着列車にて來連の豫定であるが翌八日は滿鐵を訪問し埠頭夜甘井子港灣施設、中央試驗所等を視察の上九日旅順に赴く筈である

刑事警察講習會へ

關東廳警務局では來月十一日から三週間東京警察講習所に於て開催される刑事警察講習會への出席者を豫ねて人選中のところ、今回關東廳保安課磯部警部、大連署司法主任星警部、奉天署司法主任松井警部、撫順署司法主任倉田警部の四氏が選定され近く上京の筈

山本社長 四日に出發

山本滿鐵社長は滿鐵株主總會に出席のため來月四日出帆のうらる丸にて東上することに內定した

大連市參事會

大連市では三十日午後二時より市役所會議室に於て市參事會を開會、仙波、笠原、牛島、宮崎、麗の各參事會員出席

昭和三年度市稅戶別割賦課につき異議申立に關する件、市稅貸家稅免除の件、納稅延期の件、大連彌生高女移管に付申請の件を可決し、市稅戶別割免除の件は撤回、不動產の管理に關する件は否決となつて午後三時五分散會した

社會事業委員會

大連市では三十一日午後二時から市役所會議室で社會事業委員會を開會、中央卸賣市場調查會の件につき協議することとなつた

人事

▲橫田多喜助氏(滿電專務)病氣にて大連醫院に入院中の處二十九日退院目下自宅にて靜養中
▲庵谷忱氏(奉天商工會議所會頭)三十日午後九時歸奉

特產

◇定期後場(大連)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 八十一車

▲三等大豆 出來不申

▲豆粕(區々保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二一六〇	二一六〇	二一六〇	二一六〇
七月限	二一一〇	二一一五	二一一〇	二一一五

出來高 一萬枚

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一六三〇	一六三〇	一六三〇	一六三〇
八月限	一六八〇	一六八〇	一六八〇	一六八〇

出來高 一千箱

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九車

▲包米 出來不申

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保、袋込	六五一〇	六五〇〇
大豆 裸物		

品目	出來高	寄付	大引
大豆	十車		
三等大豆	出來不申		
豆粕	一千枚	二一六〇	二一六〇
豆油	百箱	一六二五	一六二五
高粱	五車	三四九〇	三四九〇
包米	出來不申		

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 百四萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金 一萬圓 銀對洋 五千圓

神戶特產(三十日)

品目	値
大豆現物	七五〇〇
先物	六五〇〇
豆粕現物	二二六〇
先物	二二七三
滿洲小麥	六六〇〇
豆油現物	二二五〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	八八七〇	八八四〇
大紡新	七六〇〇	七五九〇
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖新	不申	不申
郵船新	不申	不申
東新	一六三〇	不申

東京株式(短期)

	五品	東新
後場寄	二一九〇	一一五四〇
後場引	二一七〇	一一八〇〇
高値	二一九〇	一一八〇〇
安値	二一七〇	一一四〇〇

橫濱生糸

限月	當限	後場一節	後場二節
五月	落		
六月		一三一〇	
七月		一三二六〇	
八月		一三一〇	
九月		一三四〇	
十月		一三三〇	

滿洲日報

英國總選擧の結果如何

三十日行はれた英國總選擧の結果は如何。この選擧が啻に英國の内治外交上に多大の影響を與ふるのみならず、同時に又、世界各國の外交若しくは國際關係に少からぬ關係を有すること英國各派政治家の自から認むるところである。かたく世界各國民としては、英國民と齊しく選擧の經過を注視した形跡があり、又その結果如何を知るに熱心して居ること、勿論である。而も英國に在つて等しく影響を受くる内治外交中において、その對外的の關係を有するのは、軍備縮小問題と關[illegible]とでなければならぬ。而もこれと關連して、直接影響を豫期せらるゝもの[illegible]合國對ドイツ關係であり又、賠償問題、國際聯盟[illegible]してそれ／＼關係を有す[illegible]を否まれぬ。

◇[illegible]縮小、殊に海軍々備を縮[illegible]或は制限する問題は、實[illegible]いては、英米國の海軍均[illegible]題である。英國および米國[illegible]、協定の成立を期待する[illegible]へ出來れば、世界海軍の[illegible]問題、延いて國際平和策の[illegible]なる一問題を解決すること[illegible]必らずしも困難ではない[illegible]米兩國の關係が、或は良[illegible]り、或は不快なる形勢と[illegible]は、恐く兩國の海軍問題[illegible]主要なる動機であり、或[illegible]であると言つても、恐ら[illegible]ではない。勢ひ英米以外[illegible]は、この兩國の海軍々備[illegible]とする晴雨不定の形勢を[illegible]して、その成行きを懸念し[illegible]る以外には、進んで軍縮問[illegible]決するほどの自信がない[illegible]ても、差支へはない。

◇[illegible]の現保守黨内閣が、この[illegible]情を知悉して居ることは[illegible]ある。然し尚且つ英國政[illegible]佛協定の計畫を素破ぬか[illegible]忽ち米國側の感情を害し[illegible]は植民地の散在を理由と[illegible]英米海軍基本の相違を必[illegible]るかの如き口吻を洩し、[illegible]す米國側の不快を增進し[illegible]のに對し、勞働黨が斷然[illegible]

[illegible]

習を期待すべき理由がある。即ち並にも世界各國の影響を豫想せらるべきであることは、改めて斷わるまでもない。

◇自由黨が如何なる程度まで、その勢力を挽回するかは、固より豫想し難い。然し少くとも自由黨内閣の組織を見るが如き事態がない以上は、同黨の政策と外國關係とを考察するのは、無意義たるを免かれない。

滿蒙鐵道驛傳競爭

雄大そのものなる老爺嶺の風光

變化に富む吉敦沿線の景趣

（第十二信）敦化にて　加藤白班選手

◇吉林は名古屋旅館の廣間にグルリと集まつたのか白軍勝たしたいで一杯の人達ださすがに我班長の昔馴染の地ではある、芝元、增島、西澤、平野、柿本等の諸氏の間に大秘策が作成された。即ち廿四日午前三時特に手配して敦化行列車を出さしめ、廿五日朝迄に歸吉しやうと云ふのだ「手配は上手く行きましたよ」芝元氏の熱心な口吻、サア乾杯だ一同は既に勝利を味はつたつもりでビールの杯を空けた。然し悦びも束の間であつた「豫定の臨時列車に貨物の不足で取消しに決定」グワンと高い所から落されてしまつた

◇やむなく當夜は吉林に一泊廿四日午前七時混合列車で吉敦路の人となる。この線路は鐵路の敷設によつて繁盛を來たしたと云ふのではなく沿道一帶産物の豊富であるために鐵路が二本のばされたものであつて

窓外に展開する景色も吉長鐵路その他とは大いに趣を異にする此線の工事その他は日本人がした事で手拔りのあらう筈がない私の乘つた混合列車には吉林から六道溝に遊山に出かける池中が乘つてゐた、いづれも歯切れの好い日本語で喋言つてゐる。この日本語を聞いてゐる間は、たとへ一人旅でも淋しくはないこの往路のあとを泌々見てゐると自然と闘ふ人間力の如何に大きいかと云ふ事を判然と感得する列車が黑煙を吐いて急阪を攀ぢ或は涯しない平原を無二無三に突走る壯快さは正に開拓者の男々しい姿である。沿道はこの五月に入ると雨降り勝ちで今日も時々バラ／＼と降りかゝる。從つて水田に適した箇所を随所に見る。

◇忽ち老爺嶺の壯大な風景が眼前に展開する。雨を含んだ山容は雄大そのものである。列車は山路を縫うて走る。伐り倒された巨材が生々しく轉がつてゐる。遠く斧の音が響き、近く鵯の鳴き聲を聞く。新緑の色は滴るばかり、宛然大きな油繪である。

◇老爺嶺を發して更に東進す混合列車の悲しさは驛毎に、停車少くも十分はかゝる、もどかしい驛だ。この間に山間の小驛を幾つか通過して蛟河に午後二時到着。この驛は吉林、敦化の中間市場とも云ふべきもので木材、大豆の集散に目まぐるしい所である、日本人は廿名位居る長銃を倒さにかけた警戒の支那兵がウロ／＼してゐる、七つ道具を身につけたこの兵隊さん達は支那鐵道旅行者に餘り好い感じを與へない、私の肩にかけた襷をウサン臭さうにながめてゐる。

◇停車中に小盗兒が逮捕されると云ふ喜劇の一幕があつて發車、附近の奶子山は金山として有名である。もしゴールドラツシュを眞似て金礦探險に行きたい人は鶴嘴一つ持つて行くがよい。この時分から恐ろしい雨だ。沛然と云ふ形容詞があてはまる。霰も交つて硝子戸に當る音が物凄い。かくて車は二道河を過ぎ黄松甸を過ぎ一路敦化に向ふ、この間約二時間と云ふものは大自然の森林を兩側の窓外に見る、亭々として天を摩する樹木は楡、赤松、白楊等。

◇太平嶺を經て漸く敦化に辿りつく、午後七時だ。驛長のサインを貰ひ、滿鐵公所へと二輪車に乘る。泥濘甚しい中を揺られて行く、ガボツと車輪が半分もぬかるみにはまつてしまふ、この泥濘の中でよく馬が死ぬと云ふ。午後八時半やつと滿鐵公所を尋ね出す。行き暮れた旅人が宿屋を探し當てたよろこびである。公所には市村君一人が居つて他は皆出張中で、あつた。同夜西澤旅館主のもてなしで二人は酒を呑んで語り合つた「こんな所に居れば淋しいだらうなんて云はれるが、張切つた氣持で働いてゐるせいか緊張した一日／＼を暮してゐますよ、本社に居る時分から比較すると仕事に張合がありますね……」こんな氣焔を聞いてうれしくなる。

◇廿四日朝六時起床。ゴムの深靴を借用し東西南北門を十字に走つてゐると云はれる市街を見學、ドロ／＼の道に呆れて午前七時五十分の汽車に間に合はすべく驛に向ふ、同車したのが永らく森林の中を驅け廻つてゐると云ふ木材商の淺井氏、大連の帝國館を新しく經營する事に決定した南氏等。

初夏の花白き興安嶺に英雄の壯圖を偲ぶ

支那兵に敬禮されて面喰ふ

（第十二信）滿洲里にて　秋山紅班選手

北滿、内蒙、コロンバイルの地域を横斷せる東支東部線は五百八十哩、其間安達、滿溝の農耕地帶を貫きシベリヤを經て歐露に連る、インターナショナルカーの通路である。沿道一帶は放牧が盛んで牛、馬の姿を見受けぬ處はなかつた程畜産の風が奨勵され昔とは著しい變遷を示してゐる

◇興安嶺以東、チチハル、安達一帶は概して支那人土着民の勢力を窺ふに足るが、札蘭屯から滿洲の國境に近づくに從ひロシヤ式の面影を見る、唯各驛のブヘーは内部の構造は其儘だが、主人の顔が支那人に代り椅子を占めてゐるものはニーヤの軍人でレベルの低下した氣分がする、アノ嚴めしい哥薩克風の軍人は其の片影すら認めることができない。ロシヤ勢力の一掃でブヘーもラフカも寂寥を極め、構内のラフカは殆ど各驛とも閉鎖した儘である、第十五旅の哈滿護路軍が淋しい姿をして驛毎に沿道に堵列し警戒をしてゐるが、氣力のないこと夥しい。

◇どう間違へたのか、時々選手に對して最敬禮をする、………リレーを歡迎した意味ではなからうが、服裝が少しく變つてゐるので上長官と誤信したらしい、この處がニーヤ式である。

◇五月中旬の興安嶺は初夏の光を受けてなだらかな若草が一面に生え伸びて灌木のヤーゴダの白き花がほゝ笑んでゐる、昔に比べては随に平和な氣分が漂つてゐる、十餘分間を要する約二哩ばかりの興安嶺隧道を過ぎると氣候、風土其他の景色が全々一變したやうな感じがする。牧草地帶の哈克驛に牛馬、家畜、皮革の集散地を背後に控へた海拉爾、コロンバイル政廳の所在地で、ゴビ沙漠の北端で沙丘の連なるあたり歐洲を震慴した英雄の面影が偲ばれる。興安嶺札免公司の林區はこの一帶である。

◇海拉爾からアラシヤンに至る自動車道は今も開通してゐるが、コロンバイル獨立運動のあつて以來支那側は極度に神經を尖らし取締嚴重にした風がある。

◇滿洲里に近き札蘭諾爾驛は僅かに數軒の鐵道從業員のドーム露天掘の炭坑附近には掘つ立て小屋がマバラに散在してゐた一寒村であつたが、鐵道沿線に近き興安嶺一帶の濫伐の結果燃料の缺乏を來し遂に滿洲里地方は札蘭諾爾炭の需要を喚起し今では唯一の燃料となつたので採炭のために新驛が設けられ炭坑附近は赤屋根の家屋が増築され非常な發展を示して

◇この地だけは東支西部線で活氣を有するやうに觀られ滿洲里から札蘭諾爾に至る立派な馬車道がつけられてあるにても充分判るであらう、廿一日午後七時半滿洲里に着する今回のコースの最西北端で大連を去る約一千三百哩、三浦ツーリストビユロー主任と志水東方通信員等に迎へられビユローに足を休める。

──滿洲里郊外の寺院──

佛亞銀行支店の許可取消を申請

張氏奉天に訓令を仰ぐ

【哈爾賓發】哈爾賓交渉員蔡運升氏は去る四月末營業を開始した當地佛亞銀行が未だ支那當局の正式許可を受けてゐないのみならず確實な保證をも持つてゐないといふので、今回張行政長官に對し右支店の取消し方を申請したが蔡氏が既に開業式も濟まして目下盛に營業中の該銀行に對し突然斯くの如き態度に出たについては次の如き理由があるのである

即ち今より二年前、當地に佛國商民で組織した東方儲蓄銀公會と稱する一金融機關があつたが該公會は相當の保證があつたにかゝはらず、解散の際は多數預金者に尠からざる損失を與へ、而も佛國領事は支那側からの交渉に對し一切無責任の態度に出で、問題は今もつて未解決のまゝにあるため佛亞銀行も或は又その轍を踏むのではないかと危惧されてゐるのである

しかしこれはたゞ表面だけの理由であつて實際は支那側が前の問題に對し報復手段に出でたものと一般には見られてゐる、しかして張長官はこの問題を外交關係にも影響を與ふる重大事とみなし一應奉天張學良氏の訓令を仰いだ後何分の處置をとることに決した

社會事業協會の具體化に努力す

二十九日開催された社會事業懇談會で申合す

二十九日午後六時半から常盤町市社會館に於て社會研究會主催の下に開催された既報社會事業懇話會は滿鐵社會課より清水德次郎、野村義理、岡田七雄、同夫人の四氏勞働保護會永井軍治、海務協會高橋多作次、慈惠病院木下鈴雄、爲人會池内忠義、基督教青年會中川竹太郎、救世軍婦人ホーム酒井鍋一郎、大慈園新田神量、大連醫院小數賀政市、有倉善次、滿鐵婦人會々長小谷百合子、滿洲託兒所小林太作、市社會館古閑亮、社會研究會山田武吉、菅野一の諸氏出席

晩餐を共にしたる後樓上應接室に於て

一、各種社會事業の連絡統一を圖るに就ての適切有效なる方法
二、共同募金の必要の有無
三、希望事項

等につき主催者山田武吉氏より一一説明し各自意見を交換したが第一の事項に就ては臺灣朝鮮等に完全なる社會事業協會の設置され有るに鑑み關東廳に於ても夙に之が必要を認め居り大連各社會事業團體に於ても是を希望してゐるけれども其の實行に就て經費其他の點に關し尚研究の餘地あり今後協力し之が具體化に向つて努力する事とし第二項目の件は各團體が個別に募金しては嫌ひあり之を共同にして合理的方法を設けて公平に分配する事にせば一層効果的なるべしとの意見もあつたが一方救世軍の如き特種の募金方法を傳統的に實行しつゝあるものもあり又各自從來の縄張りと云つた樣な募金得意先に固執する向もあつて之又俄に實行し難き情あり今後の研究に俟つ事とし更に第三項の希望條項に對し各自隔意なき意見を陳べ十時頃散會した

各商會率先して殖産を奬勵せよ

日本の侵略は東南から、と支那側諸興業を調査

【間島】延吉交渉署に於ては延吉、琿春、和龍、汪淸四縣の内務、外交、教育、財政、實業等に關する諸般の狀況を調査中であり一方延吉縣實業局に於ても管内各地に於ける開鑛、牧畜、森林苗圃、養蠶、養蜂、植樹、農産種子交易所、農事試驗場、栽桑等に關する調査を行つてゐるが右は

日本の侵略目標は東北の土地、鑛山、森林等にして漸次滿洲の東南方面から侵略の歩を進めてゐるに對し之が對抗策として民間の殖産工業を指導奬勵する一方監督商辦の弊を除くには地方商會の率先指導奬勵に俟たねばならぬが夫れには先づ第一に間島地方に力を注がねばならぬとの吉林當局の訓令に基くものであると

ダ汽船會社の借欵提起承認

【ワシントン二十九日發電】當地アメリカ船舶院はダラー汽船會社に對し同社の世界一周船四隻回收の爲め千七百十二萬五千弗借欵提起の件を本日承認した、之よりさきダラー會社副社長スタンレーダラ氏は船舶院委員ブルマー氏を訪ひ優秀快速船六隻建造計畫案を説明し援助を求めた

石友三氏中央服從

【北平三十日發電】漢口に在る何應欽氏より蔣介石氏に對し「馮部下の石友三から二十七日附電報を以て中央に服從して命を乞ふ旨通じ來つた」と報告あつた

金言　静なる喜悦の秘訣は親切なり（西諺）

コドモページ

修學旅行記……大廣場小學校六年生
移りゆく窓外の風景
汽車は靜に奉天に到着

汽車はまた走りだした。色々な畠や山が後へ／＼とどん／＼進んで行く。私たちは朝のよい空氣をすひながら外の景色に見とれた。少しして朝のご飯を食べた。腹がすいてゐるので何時もより多く食べられた。湯崗子も過ぎて鞍山へ着いた。鞍山の製鐵所が見えないので、へんにおもつてゐたら鞍山の驛を過ぎてから見えてきた。みんなは「製鐵所だ製鐵所だ」といつてさわいでゐる。長いえんとつがにゆーとつき出てゐるのも面白かつた。先生が「あそこがようこうろだ」とせつめいして下さつた。谷山君がきて「奉天へいつたら山なんかみえないよ、平野だから」と言つてくれた。しばらくいつて首山のへんにくるとみんなが「橘大隊長の戰死の場所がみえる」といつてさはいでゐるので見ると成るほどはつきり見えてゐた。

そして遼陽では有名な白塔を見た。煙臺も過ぎ、沙河も過ぎて渾河に着いた。早く鐵橋が見たいので、發車するのがまちどほしかつた。少し行くといよ／＼鐵橋を渡つた。斜になつてゐる、鐵の柱が、あらはれてくるのは、氣持が悪かつた。渡つてしまふと、もう一度渡つて見たい氣持がした。

小さい驛をいくつか過ぎて大分行くと奉天の驛が見えだした。みんなが「わい／＼」いひながら荷物を持つて立ち上つた。氣の早いものはもう出口へ行つてまちどうしそうにしてゐた。いよ／＼ステーションに入つて汽車から下りた時は何となくうれしい氣持がした。

娘々祭座談會（下）
【大石橋小學校高等科生】
面白い餘興のいろ／＼

司會者「習慣的にそんな事をするのだらうか。それとも、神に仕へて福を得るといふやうな意味からするのだらうか」
本山「それは判らぬ。半分半分位の意味からぢやないだらうか」
司會者「餘興も随分あるやうだなあ」
一同「生人形、踊り、のぞき、手品、支那芝居、爆竹、高足踊り活動寫眞、それに去年は中日文化協會が花火を上げて居た」
司會者「生人形といふのはどんなになつてゐるのか」
常見「高い處に色々の裝束をした人間が、動かないで立つて居る旅行案内によると、一日に一回卵を食ふ位で何も食べない。時々、水で口を灌ぐ位だとしてある」
本田「男がするんだが、大抵女に作つてゐる」
池田「病人で癒つた人がすると或る支那人が言つて居た」
司會者「何にしても随分つらい仕事だなあ」
池田「つらいには相違ないが、鐵の棒の腕で上の人を支へて居るんだから、想像する程つらくはない」
司會者「日中の活動寫眞は」
常見「日光を屈折させてやつて居るやうだ」
大澤「僕は、入場料を一錢出して見たが、支那式のみだらな寫眞ばかりで見て居られなかつた」
司會者「高足踊りは」
池田「高さ約一メートルの木を穿いて歩く」
大澤「走つたり喧嘩をして見せたりする」
常見「僕が見て居たら、地面にひつくりかへつてから、ヒヨコリと立ち上つた」
司會者「何か、土産を賣つて居るか」
一同「店は随分澤山ある。玩具屋、菓子屋、茶屋、料理屋、氷屋などは勿論、青物屋、農具屋、植木屋など數へ切れない」
司會者「毎年支那人の店ばかりだつたさうだが、去年は、珍らしく日本人の飲食店が出來て居た土産を買ふとするとどんなものか」
一同「玩具の青龍刀、槍、雀取り泥人形、植木など」
司會者「時間も來たからこれで終りませう。何れ二十六日には一緒に參拜して、もつと變つた事でもあれば話合ふ事にしませう」

海の怪物

これは一體何だらう。凧を揚げてゐるのと間違へちやいけない。これは日の光も透さぬ深海の底に泥の中から目玉と口だけ出して小魚を狙つてゐる南海の魚「あかえい」の怪物である。頭の先から尾の先までは二十尺、横幅が十八尺、身體の面積が八疊敷き位もある。何と恐ろしく大きなあかえいではないか。

童謠
メリーゴーラウンド
大廣場小學校四年 原田隆行

あがつたさがつた
もくばのり
ぐるりとまはつて
もくばのり
今日もたのしい
もくばのり
おとゝとのすきな
もくばのり
ぼくも大すき
もくばのり

兒童の作品
昨日の朝
松林小學校五年 加藤修吉

昨日は朝四時目がさめた。とび起きて外を見るともう日光がかゞやいてゐた。僕は表で、しんこきうを二十二回して、家の中にはいつて顔を洗つた。僕の弟の四郎が、今はしかでねてゐるので父母は夜も、ろく／＼ねもしないで弟の看護をしていらつしやる。これを見て僕は親のありがたさをしみ／＼知ることが出來た。父母は僕の弟の健二をはしかでなくしてゐるので、ちよつと四郎が聲を出しても、すぐ何かといつてきいて、おこらせないやうにしていらしやる。僕はこんな事を考へながら、少年倶樂部をよんでゐると、母が「ボーイをよんで、ごはんをたかしなさい」とおつしやつたので、僕はボーイを起していひつけた。

私のすきなつゞりかた
伏見臺小學校尋二 市川ちま子

私はつづりかたが大すきです。いつもつづりかたがあつたらいゝとおもひますがさうはできません。けふはつづりかたがあるから私はけふはうれしいです。がくかうにいつてなんじかんめにつゞりかたがあるかとかんがへてゐましたら四じかんめでした。さんじゆつやよみかたがすんでいよ／＼つゞりかたのじかんになりました。みんな一しやうけんめいでかきました。私はつづりかたがうれしいから、さつそくこのことをかきました。

夕日がしづむ
金州小學校尋三 山本嘉與子

夕日がしづむ夕日がしづむ
あちらのこかげに
夕日がしづむ
西のお空はまあつかだ

夕日がしづむ夕日がしづむ
あちらのこかげに
夕日がしづむ
東のお空は青空だ。

アヒル
大廣場小學校一年 堀英子

アヒルノ ショウカハ
フトイコヱ
イツモ ガア ガア
ウタツテル
オイケデ ナカヨク
ウタツテル
フトイオコヱデ
ウタツテル
モツト イイコヱ
デナイノカ

若草音樂會 ピアノ試演會

播磨町の大連若草音樂會では來る六月二日午後一時より大連ヤマトホテル大廣間に於て第三回ピアノ試演會を開催すると

オコトワリ

キノフノ 大チヤンハ マチガツテ フルイ ヱヲ イレテシマヒマシタカラ 五十四クワイヲ モウ一ド アラタメテ ダスコトニ シマシタ。

懸賞童話入選者

第三回懸賞童話は第一種第二種合せて八十二篇の多數に達しましたが編輯局に於て嚴選の結果左の四篇が入選いたしました。

一種

甲賞『高粱と竹の喧嘩』 開原孫家大街 豊村修
乙賞『遠足の日』 朝日小學校 柄木田照茂

二種

甲賞『カラスウリノタネ』 旅順田家屯 福永剛
乙賞『カウリヤントバゾク』 開原孫家大街 豊村修

佳作

一種――さかな賣と狼(まつを)お誕生日(牧野千世公)雨の降る日の出來事(福永剛)小英雄(伊藤生)雲雀の子(仙波重利)ポーイト妹(あざみいくや)純眞な太郎(山田健二)母島の行方(宇戸亭)中國人の友情(後宮二郎)金の皇(豐村修)次郎とキユーピー(鐵集八郎)手風琴と印度少年(手島宇佐美)一郎さんの手柄(西元詩岡夫)鐵砲打ちの小父さん(山田健二)
二種――メクラムラ(豐村修)タアチヤンノオヨギ(西元詩岡夫)

ニドメノ大チヤンノタンケン（54）
ハルミチ作 ジラウ畫

大チヤンハ シマノムスメタチト チカラヲ アハセテ タフレテヰル マワウヲ フトイキノミキニ ミウゴキノデキナイヤウニ シバツテ シマヒマシタ。

「コウシテオケバ ダイヂヤウブダ サア コレカラ マワウニツレラレテイツタ 四ニンノムスメヲ タスケニ イカウ」ミンナハ ゲンキヨク マワウノ イハヤニ ムカヒマシタ。

ソシテ マワウノ イハヤノナカニ ナガイアヒダ トヂコメラレテヰタ 四ニンノ ムスメタチヲ タスケダシ ミンナハ バンザイヲサケンデ ヒキアゲマシタ。

利益の多い西洋松茸
何處でも作れる

近頃到る處で西洋松茸の栽培に熱狂されてゐる、この西洋松茸は日本松茸以上のもので地質を選ばず庭の隅ビール箱等で頗る簡單に栽培できて然も四季を通じて發生し平均百目一圓廿錢以上で奪ひ合ひの狀態であるから二坪で優に數十圓の收益になる。目下農林省でも盛に奨勵してゐるが東京小石川大塚坂下町一八八東洋農園では特に初めて栽培する人の爲に責任を負ひてこれを會員組織となし優良菌種、半坪分二圓、一坪分三圓五十錢の實費で分讓し採收品は高價に買ひ取り專らその指導に努めてゐる。因に逸早くも着手した現在の多數會員はクリ／＼太つた松茸が引切りなしに發生し五百圓千圓もの大利益を得て思はぬ金儲けに喜んでゐる、志望者は急ぎ同園宛ハガキで菌種幾坪分送れと申込あれ、今回の申込者三百名限り新會員として特に同園に於て實地研究の結果著述した懇切なる圖入「西洋松茸の四季栽培法」四六判百六十頁定價二圓卅錢の指導書を申込の菌種に添へて無代進呈する由。特にこれからは好成績である。東洋農園（振替東京一一七八二番）

大島の御見學を昨日終らせ給ふ
午後五時十五分岡田より御出港 紀州へ向はせらる

【大島三原卅日發電】天皇陛下には三原山御登山を終らせ差木地小學校にて御略裝に御召替の御豫定であつたが、濃霧のため波浮に出でさせ給ふを御中止になり岡田港に御順路を御變更あらせ、湯場に出でさせ、午後二時四十五分須山路を御縱斷あらせて岡田小學校御着の上此處で御軍裝に御召替の事に御豫定を變更あらせた、尚岡田村にて青年團岡約館に御成り暫くて陛下には大島の御見學を終らせ、午後三時二十分岡田港棧橋に玉歩を運ばせられ元村より廻航の御召艦長門の艦載水雷艇に御召の上午後四時五十分御出港の御豫定となつた

【大島岡田卅日發電】天皇陛下には午後五時十五分御召艦長門に召され岡田より御出港紀州に向はせらる

藝術の香りも高い
今夜の「童謠、舞踊大會」
淺野研究所生が更に出演し 大連協和會館にて

眞摯な藝術への[illegible]と舞踊家石井漠氏や詩人の野口雨情氏等の熱心な指導によつて斯界の注目を集めてゐる小倉市に生れた淺野童謠民謠舞踊研究所が今回滿洲見學をかねてこの程來連し去る廿八、九日兩夜滿鐵協和會館に於て公演し

可憐な 少女達の純眞な表現と洗煉された技巧は優れた舞踊照明の效果と相俟つて素晴らしい好評を博し各方面から絶大な賞讃を博し近來稀な純藝術團體として推讃して恥づかしからぬ内容を有してゐるので、本社は更にこの藝術の香り高い一行の童踊を廣く紹介するために一行の豫定を變更し特に今三十一日夜七時半から協和會館に於て大連滿鐵社員倶樂部、大連高等音樂院舞踊科主催滿鐵社會課並に本社後援の下に童謠舞踊大會を開催することになつた、當夜のプログラムは一行の得意のものを以て一新し來會者の

滿足を 期してゐるから必ずや喝采を博することであらう會費は一般大人一圓、小人五十錢、社員及讀者（割引券持參者に限る）は大人七十錢、小人三十錢に優待割引することになつてゐるからこの機會を逸せず成るべく家族連れで來會されたい（寫眞は荒城の月）

盛澤山の餘興や饗應に大滿足
きのふ滿鐵主催の後期入營兵招待會

滿洲守備の重任を帶びて三十日朝大連に上陸した南滿獨立守備隊後期入營兵士招待會は三十日午後五時から滿鐵主催で社員倶樂部大食堂に於て開催、山崎滿鐵文書課長の開會の辭を述べ次で小日山理事の挨拶に對し入營勇士を代表して第三大隊高田二等卒の謝辭あつて主客一同食卓に就き

歡談裡 に會食を終り、協和會館に於ける餘興に移つたが伏見臺公學堂高女生徒の中國語「四季樂」日本語「水無月の歌」の少女合唱、大連高等音樂院舞踊科の特別出演「木の兵隊さん」「滿洲前衞の歌」「相馬街道」「南米の面影」「松のみどり」等新舞踊および滿鐵情報課撮影の活動寫 ある

眞「滿蒙ニユース」二巻の映寫、村岡氏指導の「獨立守備隊の歌」等あつて十分間休憩の後淺野童謠民謠舞踊研究所特別出演の「日本青年團歌」「空は青雲」「足柄山」「出船の港」等可憐なる少女

舞踊に ついで活動寫眞「人間長兵衛」九巻を觀覽に供し最後に君ケ代の齊唱、獨立守備隊萬歳を三唱し、山崎文書課長の閉會の辭に當夜の會を終り充分に歡を盡した勇士一同大滿足の體で關東倉庫へ十時引揚げた

三十日にも平穩無事
華北運動會

【奉天特電三十日發】華北運動會は三十日も引續き行はれたが、恰も五、三十記念日に相當するので支那當局は勿論我が各方面でも若し不穩の事件發生しはせぬかと神經を尖らし、警戒に餘念がなかつたが、何等の事もなく平穩であつた、尤も一部には會場沿道に排日排貨の宣傳ビラを貼附せりなど傳へられたが左樣のこともなく、たゞ競技に就き奉天の同澤女學校と哈爾賓の第一中學の間に一問題發生、紛擾があつたのみである、右は哈爾賓の一中學選手が小學校組の中に交つて優勝したことを同澤女選手が發見し抗議を申込んだが聞き入れぬので、遂に同會の總裁張學銘氏に訴へ出で支那式にワイ／＼と男女學生が騷ぎ立てたので

あらうことを特記する

又も埠頭で大怪我
日本人が過ちて

二十九日には埠頭用度事務所新築工事場で三名の死傷事件を惹起したが、卅日午前十一時半頃又復埠頭廿八番倉庫建築工事場で日本人職人が大怪我をした、請負業伊藤忠次郎氏方雇ひ人佐藤初太郎（五四）は前記時刻廿八番倉庫南側増築工事に從事中、十五尺餘の柱に上り兩側柱上に梁を渡さんとしてあやまつて墜落人事不省に陷つたので大騷ぎとなり山縣通唐澤病院にかつぎ込んだが重態であると、尚右は全くの過失に基くものである

校長官舍電話
廿九日全部開通

大連市內十三小學校長並に四公學堂長官舍の電話は左の通り二十九日全部開通した

伏見臺國本校長二一五二二△南山麓柿野校長二一五二三△朝日櫻井校長二一五一四△嶺前屯櫛原校長二一五一五△日本橋[illegible]井校長二一五一六△常盤外池校長二一五一七△大廣場鈴木校長二一五一八△春日越川校長二一五一九△聖德松原校長二一五二一△早苗軍松校長二一五二二△伏見臺公柳原堂長二一五二三△西崗子公倉島堂長二一五二四△土佐町公板橋堂長二一五二五△沙河口公小澤堂長二一五二六△沙河口公高本校長九七三二△大正湯下校長九七三三

アラビヤ二種族
鬪爭で死者千名

【エルサレム廿九日發電】當地着報に依ると中央アラビア、エルサラーの東南地方に於て二種族間に爭鬪起り約一千名以上戰死したと

大連に於て大會を開催
全日本經濟調査機關聯合會が來月十三日

全日本經濟調査機關聯合會は來月十三日大連に於て聯合大會を開催することに決定した、これは全國の有數なる經濟調査機關を持てる銀行、會社、學校を網羅せる聯合會にしてこの度來連するものは十七團體で、大きなところを拾つて見ると銀行では日本銀行、勸業銀行、住友銀行、會社では帝國生命、大阪商船、山下汽船、學校では橫濱高商、高松高商その他東亞經濟調査局、大阪市役所と云つたものである、この度は東亞經濟調査局が幹事役となつてこれ等各團體代表二十名引具して來連するもので そのプログラムは左の如し

一、六月八、九兩日京城滯在
一、同十二日迄に奉天
一、同十三日は大連に於て聯合會を開催し、十四日は市內見學
一、十五日は旅順見學

罹災民四千名 死傷百二十
燒失家屋八百五十戸
樺太山火事未だ止まず

【豐原三十日發電】惠須取山火事はなほやまず、今迄に燒死死體發見三十名重傷廿八名輕傷七十名を收容した、尚罹災民四千名燒失家屋八百五十戸

【留多加三十日發電】廿九日午後まで留多加管內の燒失家屋百廿五天候良好で尚延燒中である

實業滿倶戰の審判員決定
二日の第一回戰には 撫順の尾崎、岡田、萩原三氏

三十日夕刊紙上社告のごとく本社主催の第十回實業、滿倶模範野球戰は六月二日（第一日曜）午後三時を期し第一回戰を行ふことゝなつたこの大試合を司どるべき審判員は元寶塚協會外野手で常に一番打者として同チーム重鎭だつた尾崎昇三郎、元法政大學外野手投手たりし萩原兼繼、同大學外野手たりし岡田保の三氏に委囑快諾を得た、右三氏とも現撫順チームの正選手で今春來同チームの中軸となつて盛に活躍しつゝあり、好箇の審判員としてファンの滿足を買ふべく右三氏は一日夜大連驛着來連の筈である、また二回戰たる九日（第二日曜）の審判は東京六大學リーグ專屬審判員として最も經驗に富む天知俊一、橫澤三郎（元明大及大每選手）の二氏に決定、兩氏は來る五日神戶出帆のバイカル丸に乘船、八日着連のことゝなつた、第一、二回戰を通じて以上のごとき審判適任者を得たことは主催者はもとより、實滿兩チームの深く欣幸とするところで意義多き實滿模範野球試合に光彩を放つもので

大連映畫界の急・行・展・望（下）
立花高四郎

映畫を鑑賞する場所として、大分騷々しい樣である、從業員乃至は關係者か知らぬが、館の入口あたりで談笑私語して居て、何番席かに納まる順序である氣の細いお客樣はその間を縫つて、何んとか、人見知りをするファンだつたら玄關でカーンと來る。必要程度の人員を配置してお客を流れ込ませる樣にしたらどうであらう、あの調子では折角入りかゝつたお客を押し出す樣な氣がする、何故なら入口が既に滿員であるからである。案內人の服裝に就いても考慮が欲しい、どうも常設的と云ふ感じがせぬ、臨時的興行氣分が多い。館前の飾り附けに於てもさう思はれる、金のかゝらぬ樣に苦心して居るが、大きな立派な建物の多い大連に、映畫館だけが、映畫興行お抑の傳統を忠實に守つて居ると云ふ理由が私には解らぬ、金をかけると立派になるの正反對に、金をかけないでも氣持のよい飾り附が出來るのでないか、現狀維持は贊成出來ない。

×

說明や音樂にどの位用心深くやられて居るか、何處かに音樂と映畫との關係に就いて、餘りに無智である、不用意である、ブラスバンド式であるとか、憤慨して居た人があつたが、これからは一層よくなることゝ思ふ、アメリカ加州のある映畫劇場が發表した、經費內譯を見ると、映畫の賃貸料金と同じ位オーケストラに金をかけて居る、將來の問題として記憶して置いて貰い度い。

×

上映々畫の種類によることで何とも言へないが、說明振りは深切で、映畫にトケ込むだものであるか、急行見物では何も解らないが、何だか左樣な氣がした上海大戲院のはタイトル朗讀、あるシーンでは多少補足してやつて居り、見物は滿足して居た樣であつた。次に各館で貰つたプロを拜見すると、隨分樂々と編輯して居る、あれだけの紙面があるのだから、少し器用なファンに賴むだつて、モツとガッチリとしたものにならう、解說と豫告と廣告とでなく、映畫鑑賞指導記事があつてよい、しかし大々的味噌記事はキッパリと遠慮してやらなければならぬ、味噌の味が知れると、流動するファンを相手に出來ぬ地場のお客樣を大切にしなければならぬ土地柄だけに、信用損失の結果が恐ろしい。

×

大連の映畫界は、當分は決して行詰らぬだけ發展の餘地が現在して居ると私は思ふ、映畫ファン諸君は映畫業者に呼びかけて眼を覺まさして、大改造をさせなければなるまい、知識階級の人々も智慧を貸し出す必要がある、他人行儀で見向ぬのは非人情的である。（ヤマトホテルの一室から、四・五二九・早朝）

鞍山の窃盜
大連で捕はる

大連署司法係は鞍山署の手配により三十日午後一時ごろ店員風の男を引致取調べてゐたが、右は鞍山北三條通り食糧雜貨商林田源一方店員濱平爲行（二七）といひ、去る四月二十三日午後八時ごろ鞍山山手町三十一番地小澤方に侵入し衣類貴金屬類時價二百二十五圓を窃取したのを手始めに、外數軒に忍び入り千三百七十二圓餘の窃盜を働いてゐたことが發覺したものである尚被害品は全部入質して大連に高飛びし、各遊廓に入りびたつて大盡遊びをなし被害額の大半は費ひ果してゐると

英艦水兵脫走

三十日早朝出帆した英國軍艦カンバーランド號乘組海兵ヘンリーオーデー（二九）は出港前にさきだち何れにか脫走を企てたので、艦では取敢ず水上署その他各署に手配して搜査方依賴するところあつた

獨佛語講習會

滿鐵社會課及大連市學務課後援の下に市內伊勢町大連プレスで六月十九日より九月九日まで獨逸語並に佛蘭西語の夏期速成講習會開始の筈で講師は文學士原不知雄、商學士境米市、法學士增澤正樹、同長谷川泰造四氏の外外國人兩三名であると

女が危く溺死

二十九日午後六時ごろ北大山通海岸を市內入船町 物納販業㙒亭新（三四）が通行中、約四間 離れた水中に一名の女が浮きつ沈みつしながら救助を求めてゐるのを發見、附近通行中の人力車夫等と協力救ひあげたが同女は東崗街二番地王氏（二四）と判明、過つて海中に落ちたものであると

淺野童踊大會
讀者優待割引券
この券持參者に限り大人七十錢小人三十錢
後援 滿洲日報社

醫學會の例會

三十一日（金曜）午後三時半より大連醫院で例會開催左の講演ある由

一、諸種吸着劑の赤痢菌毒に及ぼす影響 星 直利
二、實驗的波液の研究（其の二） 山口 樺

合同義太夫會

三十一日午後六時より伊勢町ほてい樓上に於て大連素義會有志發起のもとにこの程大連劇場で開演した大阪女義連と素義會の有志合同で開演すると

蓄音器購買會

米國シカゴ市ハドソンストリートジヤパニースアメリカンカンパニー蓄音器部では今回新に滿洲に出張所を設けたるに就て記念としてビクター及同級品の購買會を始め極めて安價に提供する由、申込所は旅順新市街松村町日米商會蓄音器部及市內監部通春田ホテル販賣部であると

けふのラヂオ

昭和四年五月卅一日（金曜日）

自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース

一、ニユース
二、兒童科學講座（最大なる海の怪物）大連神明高等女學校前田武次郎
三、獨唱 一、南京言葉（野口雨情歌中山晉平曲）二、博多人形（野口雨情歌藤井清水曲）三、椿（永井花水歌中山晉平曲）淺野舞踊團、中間春子、伴奏淺野武雄
四、狂言（入間川）シテ川野吉樹 アト松本謙二郎、コアト土田他吉郎
五、支那劇（奇冤報）遼東倶樂部員
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

本社懸賞當選小說

人生の曲藝 (146)

(禁無斷上演)

瀨野皓太作
淺枝次朗畫

ホテル、オブ、ミラクルス(四)

翌朝、女は至極上機嫌だつた。その締なく肥た身體、それは誰にでも食用豚を思はせる様なその身體を重たげに椅子に投て朝の身づくろひをしてゐたけれど、何となくいそいそとした心もちを隱しては居れなかつた。

塗つたばかりの血の様な口紅に彩られた唇を見せながら、朱文明を振り向きざまに話かけた。

「今日はあなたの情人のお見舞に上るんだもの。ちつとはお化粧も身を入れなくちや……!」

女の唇の中には金歯が光つてゐた。

その金歯に心がかりを感じながら朱は蒼ざめた唇を動かさうともしなかつた。

「昨夜、妾はほんとに厭な事を聞いて了つて……」

女はさう言ひかけると、ふと口を閉ぢて了つた。

「いやな事を?」

朱は女の肩をみつめながら聞き訊した。

「ホールに若僧が一人ゐてね、いやな事を言つてるのを聞いたんだわ。明日は奇麗な女の葬式に行くんだ、とそんな事を言ふじやないの」

「その葬式の女と言ふのは?」

「判つてるじやないの。あのお孃さんの事さ」

——何と言ふ不吉な事を言ふ奴だらう。

が、朱は笑つて了へなかつた事は、その激く様な胸騷ぎを感じてゐたからだつた。

女がやがて支度をすまして、扉に手をかけた時、朱はおつかぶせる様に言ひかけた。

「しくじるんじやないぞ。女が死んでるか、生きてるか、つきとめるんだぞ。若か死にでもしてゐたら、何所に引とられてゐるかも聞いておくんだぞ」

女はだまつたまゝ、うなづいて出て行つて了つた。

早川啓吉が来てゐるのだとすると……

朱は、それからソフハに身を倚りかゝらせて考へ始めた。

早川に女が引きとられでもした日にゃ、何もかもお了ひかも知れない、とさう思ふと、ほんとに歯嚙みをしても追つつかないのだ。

それに、今の女の話を聞けば、百合子が奇禍に會ふと同時に投出した黒い包ものは、早川に拾ひ上られてゐるのだ。が、常々要心深いあの百合子の事だし、ひよつとすれば、昨日はぢかには持つてゐなかつたかも知れないのだ。さうだとすると……

「うむ、さうだとすると、或は例のものは、あの女の部屋に?」

朱は心の中でさう呟くと共に立ち上つた。

ボーイに、いくらかの心づけを摑ませると、彼女の部屋の鍵は直に屆けられた。

ホールには遠い、東向きの小さな部屋。

扉を開けると、そこは緑色の厚いカーテンが、ぴつたりと下されてゐて、その隙もる陽の光の中に何一つとして百合子の持物を發見する事が出來なかつた。

ボーイは後から恐る〲彼に話かけた。

「この部屋のお客様のお荷物は、昨日、早川様と仰言る方が全部お持ちになりましたので……!」

「しまつた」

彼は、も少しの所で大聲に叫ぶ所だつた。

「その早川と言ふ人の家を知らないかね」

彼は勉めて心を落ちつかせ様とした。

「早川さんなら、うちのマネージヤアは極懇意にして居られますから、聞いて見ましたらご存じでございませう」

「聞いておいて呉れないか。俺はこの部屋の女に、是非とも用事があるんだから」

「こゝにおいでのお客様?」

ボーイは氣の毒さうに朱の顏を見上げた。

「梨山さまは、今朝方、亡くなられましたさうで……」

「死んだ?」

朱の顏色は見る〱蒼ざめて行つた。

滿日文藝

滿日俳壇

暮春

○ 哈爾賓 山崎 星蠻
行く春や人出の中の小捕物
行く春や柩二つの葬りごと
春惜む小さき人輪や熊廻し
山の温泉に一日を浸る暮春かな
風の音篁に聞く暮春かな
行く春を移民ばかりの汽車着きぬ

○ 大連 伊東 晃水
行く春や小川の上の虫柱
行く春の柳絮が飛べる街路かな
行く春の道埃して翁草
行く春の金州城に登りけり
並び立つ茅花が土手や春暮るゝ
春行くやほうけしまゝの鬼薊
四阿に人語りつゝ春惜む

○ 撫順 大野 審雨
古句にうめる心粧て暮の春
母の忌もすみて安堵や暮の春
行く春や嫁ぐと辭めしタイピスト
繪を賣つて庵さみしき暮の春
結びかへし髪の形や暮の春

○ [illegible] 天江 雨江
行く春を遠騎り疲れ戻り來し
春惜む人工場に通ひをり
浪間去る遊覽船や春惜む

○ 新民府 石原 冷花
遊女や春の名殘の衣たゝむ
春惜む異人の船の出でにけり
行く春や草に沈みし土の色
行く春の姿うつして鏡かな
黄塵に陽暗き日や暮の春

○ 大連 阿部 天潮
行春の靴の埃を拂ひけり
行春や街樹に吊す小鳥籠
行春やホテルの前の遅櫻

○ 大連 高木 春藍
さや〱と穂麦波うつ暮の春
行く春の瞼重たき偶聲かな

○ 哈爾賓 玉川 靜波
新緑を見下ろす窗の暮春かな

滿日俳壇募集規定 次回課題「短夜」「衣更」二題 ▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十月六日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區[illegible]松町八一島田青峰宛

夕刊
滿洲日報
五月三十日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

閻馮の下野に伴ひ 蔣氏も下野か

思はせ振りな閻馮の電報交換 近く山西に會せん

【北平廿九日發電】衞戍司令部に達した情報に依れば馮玉祥氏は二十七日附閻錫山氏に對し

予の下野宣言既に成り直に國人に告ぐべし、兄と共に外國に遊ぶは予の最も望むところ、但し謠言熾なる時予が山西に兄と會合することは更に疑惑を深くすべし

と打電し來りたるに對し閻錫山氏は二十八日附で

予も亦現位置に永く留まる意志なく兄と共に下野せん、兄は斷然來つて共に胸襟を開け、謠言の如き齒牙にかける要なし

と返電した、閻、馮兩者が斯くの如く下野を唱ふることは結局蔣介石氏の下野を促す結果を來さんと見られてゐる

廣東軍 近く總攻擊

援軍を得て

【廣東二十九日發電】中央からの第二回應援軍楊騰輝第五十七師全部は汽船五隻に分乘し昨夕廣東の下流九龍に到着した、廣東政府の廣西總攻擊策戰は中央より特派されてゐる俞作柏氏を總指揮官として應援軍の第十五師、第五十七師を先鋒として廣東第一師を後詰めとし總攻擊を爲すに決定し昨日來續々兩江に派兵されつゝあり、一方廣西軍は廣東省內に一兵をも殘さず廣西に退却し梧州にて兵の集結に努めつゝあり、更に貴州省の廣西應援軍約三萬が梧州に着いた模樣であるが廣東軍の總攻擊、湖南軍の背面攻擊に依りて全滅を免れぬものと見られてゐる

蔣軍十萬 郾城に集結

【北平三十日發電】蔣介石氏の馮軍討伐は京漢線方面の主力を以てするに決定し何應欽、劉峙、賀國光の率ゆる十萬の蔣軍は郾城に集中されつゝあるが六月三日總攻擊令發布と共に鄭州、洛陽、潼關に向つて總攻擊を開始すべく準備中で何應欽も二十三日中に前線に出馬全軍の指揮に當ると

馮軍と策應し 湖北軍蹶起

【漢口二十九日發電】沙市の上流荊州に於て舊武漢軍第五十五師程汝懷氏の部隊南京軍と衝突し交戰中で第二十一師長劉峙氏は部隊を率ゐる本日上流に溯江した、なほ上流に逃れた湖北軍は舊濂平軍の壓迫を受け各軍とも南京に對し猛烈なる反感を抱き居り馮軍と策應して各地に峰起する形勢醞釀されてゐる

矢野侍從武官來連

侍從武官矢野機歩兵少佐は三十日入港のはるびん丸で來連した、氏は今夜關東倉庫に一泊、三十一日奉天に赴き來月五日頃迄に用件を濟まして歸京の豫定であると、なほ氏の來連は全く前觸れがなかつた爲め、當地陸軍關係者は頗る狼狽してゐた(寫眞は矢野侍從武官)

六月六日に國書捧呈

日、獨、伊の三ケ國から

【南京特電三十日發】國民政府外交部は日本、ドイツ、イタリー三ケ國の國書捧呈式は六月六日行はるゝこととなつた旨廿九日夜發表した

平津の實權 閻氏に

蔣氏奉天側を疑ふ

【奉天特電三十日發】その筋着電によれば南京政府は先般來再三蔣介石主席の名を以て張學良氏宛關內出兵を要求したが、その後奉天側內部の實狀探査の結果疑ひをさし挾むべき筋があるので、平津一帶の軍政及び民政は依然閻錫山氏に與へることゝしたが、奉天側には天津又は北平の市長等の空職を與へるに止むることとなつたと

孫氏の靈に最後の告別

きのふの公祭

【南京二十九日發電】中央黨部に於ける孫文公祭は本日午前七時半より午後六時まで引續き行はれた劈頭胡漢民氏は中央執監委員を代表し蔣介石氏は國民政府職員一同を代表して祭文を朗讀し執監委員國民政府要人等七百名の參列者は靈柩の周圍をめぐつて、靈に最後の告別を行ひ敬意を表した、それより五院、各省、各特別市政府、各方面の公祭行はれた公祭は卅一日午後六時まで續行の豫定である

滿蒙鐵道驛傳競爭踏破行程

凡例　紅班 ――　白班 ――　豫定線 ……

驛傳競爭成績

◇……十九日午前八時十分開始

◇……三十日午前八時十分現在

紅班　踏破鐵道 二二四五・四哩 (實走行程三三六九・八哩)

白班　踏破鐵道 一八一七・六哩 (實走行程二八五一・四哩)

滿蒙鐵道驛傳競爭

既に大半を踏破 最後の秘策を錬る

紅班は今夜西安にて一泊し 白班は哈市泊り

驛傳競爭白班の第三走者神藏選手は目下東支鐵道の東部線を引返し中であつて三十日午後五時半にはハルビン着、同夜一泊し卅一日午前九時馬船口發呼海線を踏破する豫定である、又紅班の第二走者木村選手は廿九日午後四時四十五分朝陽鎭着一泊し卅日午前七時發同八時廿分梅河口着、午後七時四十四分梅河口發西安に赴き同地に一泊を餘儀なくされる豫定である、斯くして兩班のコースは既に半以上を經過し勝敗の歸結が稍見極めついたやうに見受けられるので兩班とも最後の秘策を講じつゝあり或は世人をアット云はせるやうなプランを現出するかも知れない

木村選手 朝陽鎭泊り

【朝陽鎭にて木村紅班選手二十九日發電】眞夜中は森林地帶の寒氣にふるへてねむる能はず、晝は北滿の原野に照りつける赤陽の熱氣と貨車にも似たる動搖に打ちのめされ如何に頑張つても策なしと聞いて些か悲觀したが止むを得ない今夜は朝陽鎭泊りだ、三十日午前七時に出發して西安征服の豫定である

滿洲守備の重任を帶びて

南滿獨立守備隊に入るべく第一、二、八、十四師團管下より選拔された七百四十三名は軍廣輪送指揮官に引率されて昨夕大連入港の海福丸で來連し同夜は船中に一泊三十日午前九時から上陸を開始、二十一番バース前廣場に整列後出迎への滿鐵保々地方部長から歡迎の挨拶をなし、軍隊側より軍廣大尉が謝辭を述べ關東倉庫に入つた、なほ第三大隊は六月一日午後五時半第二、四大隊は同午後十時奧地に向つて出發の筈である(寫眞は二十一番バース前廣場に整列した新守備兵と幹部、右より水野軍醫、渡邊大尉、益田軍醫、軍廣大尉、米澤軍醫、大庭軍醫)

首相と近く會見 床次氏入閣せん

愈よ內務大臣として

◇……けふ湯ケ原から歸京す

【東京特電三十日發】床次氏は湯ケ原から卅日歸京した、仍つて田中首相は近く同氏と會見して入閣を慫慂するであらう、床次氏は自派內部の異論及び政友會の空氣を徐ろに觀望してゐたのであるが例の不戰條約問題も政府との諒解成り近く解決する狀勢であり、又政友會及び新黨ともに氏の入閣を必要とするに傾いてゐるので氏はいよく意を決して入閣を受諾するものと見られてゐる、其の場合は內相の椅子を與へられること既定の事實である

木下長官 午後首相と會見

【東京特電三十日發】田中首相の招電により上京した木下關東長官は卅日午前九時十分東京驛に到着したが午後首相と會見の筈である

英總選擧終る

【倫敦廿九日發電】三十日の總選擧につき全選擧區の約三分の一即ち二百三區の結果が三十日夜中に發表さるべく其の結果は總選擧の大勢を豫示する、併し全體の結果は三十一日午後になるまでは判明せぬ、遠隔地や諸大學區や島嶼等の選擧區からの報告は其の後數日に亘つて情報到着のはずである、現首相ボールドウイン、勞働黨首領マグドナルド、自由黨首領ロイドジョージ、大藏大臣チャーチル前藏相スノーデン氏等も當選か否かは三十一日まで待たねば知ることが出來ぬ

…ク總領事に招喚命令

秘密會議暴露責任者として

【ハルビン特電二十九日發】在奉天ロシア總領事クズツオフ氏は共産黨秘密會議暴露の責任者としてモスクワ政府から招喚命令を受け一兩日中に目下日本の鐵道狀態視察を了つて歸國の途にあるモスクワカザン鐵道長官ジウコフ氏一行と共にモスクワに向ふことゝなつた、又ハルビン總領事メリニコフ氏も事件の顛末報告のためモスクワに赴く筈

滿鐵の「社長」を總裁に改稱

株主總會て決定せん

【東京特電三十日發】滿鐵社長を再び滿鐵總裁と改稱するが至當であるといふ意見は松岡副社長が從來之を主張してゐたが此のほど政府の諒解も得たので來るべき株主總會に之を附議して決定することになつた

大連支部の議案

青年議會に提出

青年聯盟の最高決議機關たる第一回青年議會の開會も餘す處三日となり各支部に於ては何れも議會對策に餘念なく大連支部は役員及議員が協議の結果個人の提案は提出せず左の通り大連支部提案として決議案を提出する方針を定め提案說明演說者並に贊成演說者を決定した

一、聯盟旗制定案(說明者關利軍 贊成演說者久保田廣次)
一、生活改善に關する案(久保田廣次、森田拓志、仙波清)
一、背後地視察並調査に關する案(黒柳一晴、神守源一郎)
一、農業に關する實踐的計畫案(黒柳一晴、小林友作)
一、大連農事會社募集の移民は在滿同胞に優先權附與に關する件(甲斐又雄、仙波清)
一、日華青年和合に關する案(吉廣眞雄、森田拓志、多門登)
一、滿蒙視察者に關する案(關利軍、古廣眞雄)
一、實踐的教育普及案(黒柳一晴、是安正利、仙波清)
一、邦人勞働者滿蒙發展擁護策案(甲斐又雄、仙波清、是安正利)
一、滿蒙事情紹介のため內地に遊說案(高木翔之助、後藤吉之助)

尚六月一、二、三議會開催中の適當なる日を選び各支部より雄辯家を選出し演說大會を催す事とし目下會場交渉中である

原代議士來連

けふ定期船で

政友會代議士原惣兵衛氏は卅日入港のはるびん丸にて來連したが次の如く語る「兄貴の處へ來ただけだ。內閣の改造期は不戰條約案の御批准が六日頃だからその後の事になるだらう、もし床次さんが入閣するとしたら如何だらう、床次さんもジレンマに陷つて苦しんで居るやうだ、宇垣氏の入閣は宇垣氏の現狀よりみてありうべきことでない、兩稅委讓案に關しとかくの評が立てられてゐるがこれは政友會の一枚看板であるから今更捨てるわけにはいかない、來議會では相當紛糾を見るだらう

人事

▲矢野機氏(侍從武官陸軍中佐)三十日入港のはるびん丸にて來連
▲石堂豐太氏(工學博士)同上
▲國司精造氏(豫備陸軍少將)同上
▲峰旗良充氏(吉林滿鐵公所囑託)同上
▲住谷悌氏(參謀本部附一等主計)同上
▲安田喜一郎氏(神戸稅關監察係長)同上
▲山口忠三氏(滿洲商業新報社長)同上歸連
▲平野博三氏(ジヤパン、ツーリスト大連支部長)同上
▲柳田鐵太郎氏(滿鐵社員)同上
▲高野茂義氏(滿鐵劍道範士)同上
▲柴田三藤二氏(小崗子署勤務)東京警官講習所に入所中であつたが同上歸任
▲桐ケ谷洗鱗氏(畫家)木村滿鐵人事課長宅に滯在中の處廿日出帆の松本丸でバリ島へ

大觀小觀

◇馮氏が下野しなかつたら、蔣氏は兵を徐州に出して置いて自らドコかへ逃げだす方針であつたといふ。これだからすべてアテにならぬ。

◇蔣、馮、閻の三氏が仲よく下野する段取りもあるさうだ。さうなると民衆が助かるのだが!。

◇世界の注視を集めて英國の總選擧行はる。一にも二にも眞似したがる日本の政治家にとつては特に重大である。

◇滿鐵「社長」が「總裁」になる山本總裁といふと、政友會總裁のやうでもある。

◇銅像建設、あまり智慧のある考へではない。

◇驛傳競爭の興味方に頂點に到る

天氣豫報

卅一日(晴)南西の風 後曇
日出四時三十分　日沒七時十二分
滿潮前二時五五分　後三時二五分
干潮前九時　後十時三十分

第十回實滿野球模範試合

第一回戰＝六月二日(日曜)午後三時 滿倶球場
審判員 尾崎昇二郎、岡田保、萩原兼顯(元實塚選手)

第二回戰＝六月九日(日曜)午後三時 實業球場
審判員 天知俊一、横澤三郎(元明大選手、東京六大學リーグ專屬審判員)

主催 滿洲日報社

聖上長門に召され けさ大島に御到着

皇禮砲轟くうちに

【横須賀三十日發電】三十日午前七時半御召艦長門より横須賀鎭守府入電によれば、二十九日午後七時八丈島御發航の天皇陛下には長門に召されて今三十日午前六時五十分大島に御到着遊ばされた

嶮岨な道を辿り三原山に御登攀

御興深げに拜し奉る

陛下を迎へる大島は今朝天氣晴朗、磯打つ波の碎くる樣もなごやかである、港から支廳への沿道は心からなる奉迎者に埋められ傳説の島大島元村は榮光に滿ちた、陛下には御召艇にて八時二十分元村港新設棧橋に御上陸海軍大元帥の御軍裝に大勳位略章を御佩用官民多數奉迎裡を玉歩を運ばせられ大島支廳々舍の御粗末な便殿に入御あり、横島支廳長、島野下村醫師等に拜謁仰付けられた後平塚知事より島狀の奏上を聽取され又陳列の博物標本、物產品、小學生等の學藝品等を御覽の上九時二十分御輕裝にソフト帽を召され知事、支廳長の御先導で三原山に向はせられた、椿に蔽はれた嶮岨な道を陛下には御興趣深げに十一時中腹元富士見茶屋跡に着御御小憩、それより御神火茶屋附近を經て零時三十分うちわ山に御着、中村東大部長より火山に關する御説明を御聽取白石附近で御晝餐を召させられ差木地小學校に向はせられた

白玉山納骨祠前で けふ嚴かな弔魂祭

來滿した帝國在鄕軍人會の一行 祭典後戰跡を視察

旅順に一泊した帝國在鄕軍人會弔魂團一行は三十日午前九時から白玉山納骨祠前に於て弔魂祭を執行した、式は特に來旅せる水野大連神社々司の祝詞に始まり團長安藤中將の弔魂詞捧讀に次ぎ關東長官代理藤岡警務局長、二百三高地戰死者遺族代表として中島少將母堂、村岡軍司令官、久保田駐在海軍武官、官廳側代表として神出局長、大塚在鄕分會長、市民代表として永山市長各婦人會代表者等の玉串を捧獻し午前十時半いと莊嚴裡に式を終了した

これより先一行は午前七時半ヤマトホテルを出發し、菅野參謀から旅順攻圍戰の概況講話、久保田金平氏の乃木將軍に關する旅順の戰史説明を受け、祭典執行後更に東鷄冠山戰跡を視察し戰利品陳列館で軍人後援會の招待で晝食して戰利品を參觀し爾靈山戰跡に至り午後三時半から軍司令部將校集會所で滿蒙現狀に就いて講話を聞いた尚久保田老の戰史悲話を聽くため木下長官夫人も白玉山に參拜した【寫眞は祭典】

伏見臺圖書館

風儀よくなる

電氣遊園内にある伏見臺圖書館は以前には附近に社會館、智光院等を控えた關係上是等浮浪失業者の良い閑潰しの場所となり、書籍に惡戯をしたり入館者の所持品を盜みとつたり甚だ面白くない空氣があつたが最近電園が二錢の園料入をとる樣になつてから是等不良の群は全く跡を絶ち目下は殆ど眞面目に勉强する學生連中許りで、日々百名位の入館者あり惡い雰圍氣を除き得た事について圖書館當局者も喜んでゐる

樺太の大火

九百七十戸烏有に歸す

悲慘、死傷者續々出づ

【豐原三十日發電】二十五日發火せる山火事は二十七日午後二時から西海岸惠須取町の人家に延燒し同町阿古椿部落二百二十戸、小糸緒部落二百戸、前中部落百八十戸、樺太工業惠須取工場社宅四百戸中三百七十戸計九百七十戸を燒き燒死々體の發見せるもの十八、重火傷者百名を出した、更に海岸の惠須取本町も危險に瀕したが二十九日朝風向變り漸く危險を脱するに至つた、尚目下兩海岸久春内東海岸敷香町等にも猛烈な山火事發生し消防隊、村民總出動警戒中である、又電線燒失の爲め内地間の通信不能となり復舊工事を取急いでゐる

豐原黑煙に覆はる

【豐原三十日發電】眞岡郡二股、中野にも山火事發生し二十九日に[illegible]は豐眞鐵道も一時中止するに至つた、更に富内郡喜美内にも山火事發生、二十九日には豐原町水源地上流にも發生し豐原は黑煙に覆はれてゐる

旱魃續きて益々延燒

【豐原三十日發電】二十六日朝上敷香に發生した山火事は旱魃續きのため益々延燒し上敷香、駒糸内河の各部落危險となり末原農林部長現狀に急行したが、火の手は目下敷香目拔の大密林地帶に延燒し火煙物凄きばかりに天を覆ひ慘狀を呈してゐる、廿九日には敷香官行事業署の丸太約五萬石燒失した

兒童五十餘名死亡す

惠須取小學全燒

【豐原三十日發電】惠須取第二小學校は猛火に包まれて燒失し生徒四十名は窒息死亡し更に十四名の死體發見された、交通全く杜絶し全市街は阿鼻叫喚の巷と化し港外の船舶は悉く荷役を休んでゐる

後藤伯の銅像 大連に建設

製作を朝倉文夫氏に委囑し 約十萬圓の經費で

故後藤新平伯の滿洲に於ける功蹟を表彰すると共に後世に傳ふべく、山本滿鐵社長、國澤新兵衛氏等主唱の下に大連市内に適當の地域をトして銅像建設の計畫が進捗してゐるが經費は約十萬圓の見込で全部一口一圓以上の寄附による管で、銅像製作は東都の朝倉文夫氏に委囑し來年十月頃迄に竣工せしめる豫定である

御前試合出場の 高野、畑生兩選士歸る

けふ滿洲選拔劍道部員と共に

本月五、六兩日に亘つて行はれた御前試合最後の決勝で惜くも敗れた範士高野茂義、五段畑生武雄の兩氏は内地劍道界の雄鎭視察其の他各方面と善戰好成績を擧げた滿洲選拔劍道部員約廿五名と共に三十日入港のはるびん丸にて歸連した高野範士は

「指定選士として殘された私と、府縣選拔選士として殘された畑生氏が武運つたなかりしはさる事ながら當日の盛大にして崇嚴な光景はたゞありがた涙の外はありません、勝負の模樣は畑生氏に聞いて下さい……」

流石に多くを語らなかつた

奉天の發疹チブス 益々猖獗す

二名死亡して三十二名罹病 防疫官增員を求む

【奉天特電三十日發】既報奉天に於ける發疹チブスは益々猖獗を極め既に死亡者二名、現在罹病者三十二名を出した―頗る惡性で今後更に蔓延の模樣なので滿鐵から中楯博士來奉し小川醫師應援の下に檢診其の他に努め防疫醫師二名防疫官吏十二名を始め地方官吏警察よりは巡警巡捕等總動員の有樣で發生地たる公和欄附近を中心に警戒に狂奔しつゝあるが卅日奉天警察署より關東廳に對し更に防疫官十二名の增員派遣方を要求した

支那人の射殺死體

路上に轉がる

【四平街特電三十日發】廿九日午前四時卅分ごろ四平街西北端の路上に於て一名の支那人の男が拳銃で射殺されてゐるのを通行人が發見大騷ぎとなり四平街署より安武司法主任以下現場に急行、檢視を遂げたが被害者の身許其の他一切不明で或は馬賊の片割れで仲間割れから殺害されたかとの疑ひあり目下嚴探中である

桐ケ谷洗鱗畫伯 美人救助の一幕

身投げの女が線香代を要求 小石柳眉を逆立つ

南洋パリ島へ印度佛蹟視察の途を大連市兒玉町滿鐵人事課長木村通氏方に滯在中であつた日本佛畫界の第一人者たる桐ケ谷洗鱗畫伯が身投美人を救助したといふ話―二十九日午後五時ごろ桐ケ谷畫伯が東拓の加藤、畫家の伊藤順三兩氏に案内されて老虎灘見物に行つたところ、千勝館下海岸で紬飯の上からザンブとばかりに飛込んだ美人があつた、千勝館の座敷からこれを發見した洗鱗畫伯は直に驅けつけ

濡れ鼠

となつた美人を拾上げ、千勝館に連れ歸り着物を替えさせ「身投げをせねばならぬ」理由をやさしく聞いたが、美人はこれに返事もせず泣きながら「マアー一盃」とお酌をして理由を語らなかつた、然し袖に入れて堅く握つてゐた品物が勳章といふことが判り東公園町某軍人を訪ねたが不在だつたため悲觀して死ぬ氣になつたのだと判明、處がこの美人お酌をしてゐる内に親切な畫伯へ線香代十五圓也を頂戴との願ひ、これを傍で聞いてゐた

大檢の

「こいし」柳眉を逆立てゝ乞食奴がと怒鳴り立て座敷もしらけたので美人を抱へ女將に引渡して散會となつたといふ この美人は鞍山青柳抱妓若玉といひ女將が大連へ妓どもを抱へに來た際前記馴染の男に會ふべく一緒に來連この始末を演じたのだと

埋葬の二死體を 途中に置きざり

昨日埠頭で死んだ苦力

二十九日埠頭工事場に於いて作業中不幸椿事のため苦力三名の死傷者を出したが、右のうち李多賢は間も無く死亡したので、即死した孫學增と共に沙河口方面に埋葬すべく昨夜擔ぎ出したが責任者が良い加減に苦力等に任して放つておいた爲め運搬人も何處に持つて行つて良いか迷ひ譚家屯の大連第二中學校運動場先の空地に蓆を被せたまゝ置き棄てあり枕邊に同僚の情の握り飯が二つ三つ供へてあるが、照りつける陽の下に轉がされた屍體には蠅が群がり既に惡臭さへ放つてゐた

『男と別れさせて』 藝妓が涙の願ひ

大連檢察局に宛て

女の一生を打ち込んで惚た男から裏切られ、いまは冷たい無情に泣く一藝妓から「どうか男と別れさせて下さい」と大連檢察局あてに淚の手紙が舞ひ込んだ―女は市内信濃町笹邊席抱藝妓濱次こと吉田義美(二九)で、つたない文字で書き立てられたところによると

濱次は

三年以前から前田幸男といふ男と内緣關係を結び現在信濃町六十一番地で同棲生活をしてゐるが前田は性來の色魔で、濱次の他に情婦山田ヤスといふ藝妓あり、この女故に前田は一昨年誘拐罪で未決に收容された、濱次は裏切り者とは思ひながらも前田の爲めに差入れから、保釋金、辯護料まで一切を支拂ひ前田が無罪になるまで、人知れぬ苦勞で助けたが、其後足掛三年、前田は濱次の仕送りで遊惰な生活を送り、金さへあれば

遊里の

巷に足を入れ、事毎に女に冷く當り散すやうになつた、去る五日の夜も濱次を毆打して顏面その他に負傷を負せたので、女は今度こそ別れやうと人を介して離緣話を前田に持ちかけた處、男は別れるのは嫌だと應ぜず、仕方なく情ない男と同棲してゐるが、老いゆく身の行末を思へば、一日も早く別れたく、お上の手で離緣をさせ男を内地へ歸して下さいといふのである、檢察局では女の身の上に同情し、事件を大連署に廻送し、最善の方法を講じてやるやう命じた

南船北馬

◇…吉林省政府は省内各縣下の商務會長宛に左のごとき訓令を發した

南北統一に伴ふ制度改正と共に吉林全般に散在する我國の雜貨商民が現在着用してゐる舊式の長袖周衣を改正することになつてゐる故に延邊(間島)地方でも六月一日より中山服、又は自國布製靑色の背廣服を着用されたし(間島發)

◇…女共產黨員として有名なズラタリーナ女史は本日當地に於いて胃癌で死去した、女史はジノヴィエフ氏の内緣の妻である(レーニングラード廿九日發)

支那學生 上海で暴行

五卅記念日で熱狂

【上海特電三十日發】今朝九時半頃上海廣東路において支那學生の一團が五月三十日記念日で熱狂し電車乘合バス等に投石し或は通行中の外人に暴行を加へたため一時非常に混亂を示した

きのふ奉天の 華北運動會

(寫眞)上は入場式、下は臨場した會長張學良氏

伜の捜査願ひ

岐阜縣惠那郡坂本村茄子川勝豐は昨年來滿洲に行くと家を出た儘本年四月只大連よりとして一回の音信をした限り何等所在も知らさぬため兩親も心配し伜も歸つて來て吳れねば家も立ち行かぬから何とか探して吳れと當地警察署宛依賴して來た

不許可の仲居 女給が多い

最近、三業組合、逢坂町遊廓及び市中飮食店に於て仲居、女給を雇ひ入れ又は解雇した場合これが手續を怠り、甚だしきは警察の許可不可能と見られる不良な婦女を雇ひ入れて使用してゐるもの多く、先般大連署に於て管内接客業者の健康診斷を行つた時も手續きのない婦女が多數あつたことを發見したので同署保安係では取締上、この際手續き未了のものは速かに警察に屆け出るやう三十日附をもつて各組合に嚴重通達するところがあつた

支那嫖客モヒ自殺

王陽街二三號遊廓に二十九日午後十二時ごろ一嫖客が登樓し連紅(二〇)を敵娼として遊んで居るうち突然苦悶を始めたので直ちに天心病院に擔ぎ込んだが今朝六時三十分絶命した、右は住所不詳韓世興(二五)と言ひ厭世の結果

大連神社月次祭

六月一日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町近江町區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭執行あり、畢りて祓神樂を奉仕す尚當日は一般參拜者の爲早朝より祓神樂を奉仕し神酒御供物の頒與ありと

第六回決算公告

自昭和三年十月一日 至昭和四年三月三十一日

貸借對照表

負債ノ部	
株金	二五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	二二一、七〇〇・〇〇
別途積立金	四〇、〇〇〇・〇〇
退職手當積立金	一〇五、〇〇〇・〇〇
社員貯金	二三三、三七六・九三
社員共濟金	四二、七九四・七九
社員身元保證金	五〇〇、九〇三・六一
保證金	三三、二〇四・四四
未拂金	四九、四二六・四三
假受金	五六、一三三・一四
繰越益金	三六、〇二九・〇一
當期利益金	九〇三、〇九九・〇四
合計	二七、六四二、六六七・六八

資產ノ部	
拂込未濟株金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
與業費	一九、七七六、〇三三・八九
貯藏品	三四六、九七三・三五
別途貯藏品	一二三、一八一・八六
商品	二九、七九八・二九
有價證券	七七、五五五・〇〇
現金	八、九〇四・一四
振替貯金	一、六九一・〇八
銀行預金	一、〇一八、一六八・〇四
爲替勘定	三三、〇〇〇・〇〇
貸金	四一九、〇四九・六三
受取手形	一〇七、〇五九・九九
未收金	七六、九九〇・三三
假拂金	一、二〇六、二二一・八九
合計	二七、六四二、六六七・六八

右之通候也

昭和四年五月

南滿洲電氣株式會社

追テ役員改選ノ結果横田多喜助、高橋仁一、今井榮亘、根橋禎二、富永能雄、中西敏憲、向坊盛一郎、山岡信夫ノ八名ヲ取締役ニ監査役向坊盛一郎辭任後任ニ石石衛門ヲ選任セリ

四女貞子儀豫而入院加療中の處養生不相叶三十日午前一時死去致候間此段御通知に代へ謹告仕候

追而葬儀は來る六月一日午後四時途中行列を廢し若草山東本願寺に於て相營み可申候

昭和四年五月三十日

父 小田道

親戚總代 向井澄造 白川龍一 山下友行

友人總代 小田英學 水野三治 木原柳之助 小井鐵雄 今村實平 河統治

全く驚歎に價する獨逸の製鐵鋼業

徹底したその「産業の合理化」

滿鐵顧問 伍堂卓雄述

六

更に自分の專門たる製鋼業に就いてみると、獨逸は歐洲大戰の結果として、鑛産地區たるロートリンゲン、ザール、ルクセンブルグ、オーバシレシヤ等の主要地を失つた結果、鐵鑛石の八十パーセント、石炭製鋼能力の三十パーセント、石炭生産能力の三十パーセント等を失ひ、殊にこたへたのは鐵鋼の資源を失つたことであり、現状に於ては國內使用鑛石の七十パーセントを輸入に仰がねばならぬと云ふ有樣である。

從つて、戰後の鋼材生産は著しく減じたが、其の後、前に述べた樣な「産業の合理化」その他當業者の努力に依りて、漸次增加を示し、一九二七年の國內鋼材生産量は、一千六百三十萬噸(日本の年産額は二百萬噸)となつたが、これを戰前即ち一九一三年の一千八百九十萬噸に比すればまだ及ばない。

七

然し右製鋼高は前述の各主要鑛産地を含んでゐないので、試みに現在のみに於て、兩者を比較すると、既に三十パーセントの增産を示してゐる。

次に石炭に就いてみるに、一九二七年の採炭量は一億八千七百萬噸(日本の採炭量は年額三千萬噸)で、これを一九一三年の二億八百萬噸に比べると、これまた尚及ばないが、試みに現在の國境地域內のみに就いて比較すると、矢張り十數パーセントの增産と云ふ割合を示してゐる。

更に具體的に採炭能率に就いて見ると、一九一三年の一人一交替時(八時間)の平均採炭量は、九百四十三キロを示してゐたが、一九二七年現在に於ては一千百三十キロ即ち、約三十パーセントの能力增加を來して居る。」

八

次に「産業合理化」の實際的方法は如何と云ふに、先づカルテル組織に就いて云へば、國內に於けるカルテルとしては「獨逸鋼塊組合」と云ふのがある。

同組合は國內の各製鋼業者を糾合したもので、個々の會社の鋼塊生産高を制限して割當て、以て同業者間の無益の競爭を避け、共同の利益を圖ることにしてある。

總括的には、鋼塊組合に依つての生産高の割當てを行ふと共に、更に各種の鋼材組合、即ち(イ)鐵線組合、(ロ)鐵管組合、(ハ)鍛鐵組合、(ニ)レール組合等事業的の組合があつて個々の生産割當共同販賣、價格協定等を行ひ、市場の狀況に應じて善處する仕組となつてゐる。

九

以上は國內カルテルの事であるが、更に國際カルテルとしては一九二六年、國際鋼塊組合と云ふものを組織し、歐洲市場に於ける各種の鋼材相場を安定せしめ、業者の共倒れを防ぐやう努めることになつてゐるが、同組合には獨逸、フランス、白耳義、ルクセンブルグ、ザール、墺太利、匈牙利等より參加し、組合の規約としては一噸の製鋼に就き一弗を醵出し、これを基金として參加組合員の中、若し其の割當生産高を超過したる場合は、一噸につき四弗の罰金を徴收し、其の代りに割當生産高に達せざる場合は、一噸に付き二弗の補償金を與へることになつて居るが、其の過不足は適當の時機に於て清算することにしてあるのである。

國際運輸の定時總會

配當八分の据置

國際運輸會社では二十八日午前十時より同社において第六期定時株主總會を開いたが當期は純益金として金二十五萬二千四百餘圓を計上し前期の純益金二十四萬六千五百圓餘、前年同期の利益二十五萬六千餘圓に比較すれば大差なき成績を示したので株主配當も前期同樣年八分と決定した、當期利益金處分を示せば左の通り(單位圓)

△利益金處分

當期利益金 二五二、四九四
前期繰越金 一一、五三四
合計 二六四、〇二九

右處分

▲積立金一四、〇〇〇▲配當金一三六、〇〇〇(年八分)▲營業權買收金償却二四、〇〇〇▲所有物減價償却四〇、〇〇〇▲社員退職手當基金一五、〇〇〇▲役員賞與金一三、〇〇〇▲後期繰越金二一、〇二九

錢信配當一割

前期より四分減

大連錢鈔信託會社では來る六月四日正式に重役會を開き當期決算の査定を了する筈なるが二十八日夜會合の席上において同社當期の株主配當は前期より四分減の年一割に內定した模樣である

運合成立後の新會社經營

競爭猛烈で經營難か

【京城發】運送合同問題は河合國際支店長の寢食を忘れた奔走で漸く贊成參加者の數を增し合同成立に接近しつゝあるが通運側の策略たる非合同派糾合運動も亦成功しつゝあるため、合同後兩者の營業競爭は頗る深刻猛烈を豫想され此間に處して漁夫の利を占むるものは獨り荷主側で結局兩者共荷主のため自由に操縱される譯であるが非合同派が荷主に好感あるは事實で故に合同派新會社の經營は餘程困難と見られてゐる

威嚇に震えあがる城內の錢鈔業者

何れも殆ど休業、拘引者釋放されず 相場は昨日と大差ない

【奉天特電三十日發】支那官憲の錢鈔業者壓迫の手は依然續けられ昨日拘引されたる義和永の番頭二名は本日に至るも猶釋放されぬ上先年張作霖氏が天合盛の代表者其他を銃殺せる前例により今回も甚だしき投機を行ふものは容赦なく嚴罰に處すべしと威するため城內錢鈔業者は殆ど休業狀態にある一說に依れば官銀號自身が奉天票相場の爲め一千二百萬元と云ふ大穴をあけたので此の始末に及んだとも云はれて居る尚本日の奉天取引所相場は五千三百七十元より五千四百元に引け昨二十九日のと大差なく出來高三百三十八萬一千元である

撫順出炭量

本年度更に增産 約七百七十萬噸を示さん 憂へらるゝ販賣方面

撫順炭の昭和三年度出炭量は七百三十五萬二千二百四十七噸で二年度の六百八十萬噸に比し五十五萬二千二百四十七噸の增産であるが山本滿鐵社長は本年度更に積極方針の下に七百七十萬噸採掘の計畫で當事者も異常なる緊張裡に努力して居るが、一方之が販賣方面は財界の不況、南支方面の排日貨、季候の關係等により最近豫期の成績を擧ぐるに至らず、些か焦り氣味である、即ち四月中の撫順炭輸送量は六十三萬一千噸で前年同期の六十九萬二千噸に比し六萬一千噸の減送である、更に五月は六十四萬二千噸(見込み)で前年同期の六十萬二千噸に比すれば四萬噸の增加であるが六月は更に減少の豫想をされて居る而もこれは前年度繰越貯炭の消化により輸送減を來せるものでなく商賣不振によるもので例へば南關嶺の貯炭場の如きは十萬二千噸の石炭が山積されて居る又旅順、營口、其他沿線寺兒溝、埠頭共に滿腹の狀態を呈して居る又此等の貯炭も漸次增加の一方で目下の處本年度採掘量七百七十萬噸も果して消化し得るや頗る疑問とせ

證券の暴落と金解禁問題

日本經濟聯盟會より政府の方針を質す

【東京三十日發電】日本經濟聯盟會常務理事會は二十九日午後三時より工業俱樂部に開催し會長團琢磨男初め土方日銀總裁、鄕誠之助、宮島清次郎、中島久萬吉男、藤山雷太、井坂孝、藤田謙一、大橋新太郎、磯村豐太郎氏等の財界巨頭出席したが席上岡崎東株理事長より

今日の有價證券の暴落は政府の金解禁方針の曖昧なるに基くものであるから諸氏に於ては安定策につき考慮され度い

と述べ對策を協議した結果金解禁に對する政府の方針を明示せしむるため政府當局と懇談するを適當と認め之に依て實行委員に井上準之助、團琢磨、鄕誠之助の三氏が選定され、三氏は卅日午前十時より官邸に三土藏相を訪問會見した

大連製氷 增資か

大連製氷會社は一般財界不振の折柄にかゝわらず每期年一割六分以上の配當を續け、當地事業會社中稀にみる好成績を示しつゝあるが最近においては青島支店における冷凍卵の外國輸出激增し、同地工場等も增設の已むなきに至る盛況を呈してゐるので、同社は來月末當期決算を終ると共に大株主を招待して青島工場を視察すると共に同地工場擴張のため、現在資本金百五十萬圓(內拂込七十五萬圓)を資本金二百萬圓に增資計畫にあるもの〻如く、右は兒島社長の歸連を俟つて內定する模樣である

經濟眼

數字に現れた滿洲の財界

大連商議書記長 篠崎嘉郎

十、滿鐵運輸成績

滿鐵會社は明治四十年四月野戰鐵道提理部より一切の業務を繼承すると同時に經營上各般の改善及び出貨の獎勵等に鋭意努力し、四十一年五月本線廣軌の

開通 を見るに至り輸送力の激增貨物の迅達等其の能率大に增進し次で四十二年十月運輸規程、運賃其の他全般に亙つて根本的に一大改革を加へ更に安奉線廣軌改築完成後朝鮮鐵道との相互貨車直通聯絡開始其の他鐵道並に汽船等の聯絡開始等より逐次輸送貨物の數量を增加したが、交通の發達普及と共に奧地の開發を促し大豆、高粱其の他農産物の産額が年を逐ふて益々多きを加へ之を原料とする豆油、豆粕を首め各種の製造工業勃興し又撫順炭の産額增加並に木材石材等の産出增加し、一方滿蒙に於ける人口の增加と一般文化の向上に依り自然消費力旺盛となり所謂北上貨物も漸增したこと等は鐵道輸送貨物を增進したる主なる原因である

大正二年以降の貨物取扱數量を一瞥するに同年度に於ける取扱貨物は五百七十八萬噸に過ぎざりしが、財界の殷賑を極めた大正八年度には一千萬噸を突破し其の後財界は不況に陷りたるも取扱貨物は依然として增加の

趨勢 を辿り、昭和元年度には一千六百萬噸に達し之を創業の年なる明治四十年度に於ける取扱貨物百四十萬噸に比すれば十一倍の增加を來したが次いで昭和二年度には一千八百萬噸同三年度には一千九百萬噸を突破せんとする勢を示して居る、即ち戰前たる大正二年度を一〇〇として昭和三年度に於ける貨物の增加割合は三三四である。

鐵道營業收入中客車收入に就て見るに同收入は大正二年度には五百七萬圓にして以後二箇年間は稍減少を示したが五年度以降は逐年增加を示し八、九兩年度は遂に一千四百萬圓を突破した。爾後數年收入減少を見たるも十四年度に至り再び一千四百萬圓に復歸し以來年々增加するのみにて昭和三年度には一千七百六十萬圓となつた。

貨車收入は大正二年度に於て一千六百萬圓なりしが、爾來大正四年及び同十年の兩年度を例外として逐年顯著なる增加を示し昭和三年度に於ては遂に九千七百萬圓に躍進したのである。尤も大正九年度の貨車收入は六千四百萬圓にして八年度に比し一千七百五十萬圓を

急增 したのは前年十一月約三割の運賃引上げを實行したのに因づくのである。次に客車收入、貨車收入、雜收入の合計金額を見るに大正二年度は二千二百萬圓にして以來大正八、十年の兩年度を除いては年と共に增加し昭和三年度には一億二千萬圓に達し大正二年度收入に比すれば、五十三割以上の增進である即ち滿鐵は戰前に比し貨物の增加率三十三割であるけれ共鐵道收入は五十三割の增加となつて居る。

次に營業支出を見るに收入の增加に伴れて著しく膨脹し大正二年度には七百九十萬圓に過ぎざりしが以後年々增加し大正八年には俄然三千萬圓臺に上り其の後も引續き增加の

一路 を辿り昭和三年度には四千四百萬圓に達し之を大正二年度に比すれば五十六割の增加である。

斯く收入增加率は支出增加率に及ばざるも營業收益は大正二年度の益金僅かに一千四百六萬圓なりしも昭和三年度は實に七千四百萬圓に達した。さうして營業收入に對する支出の割合は大正二年度に於て三六%にして以後累年低下し大正五年度の三〇%を最低として再び多少の膨脹を示したが、而かも尚大正十年度以降の最高は昭和元年度の四三に過ぎない。之を帝國々有鐵道の五三乃至五九%同地方鐵道の四八乃至五八%朝鮮鐵道の七七乃至八三%及び同私設鐵道の七三乃至八〇%に比すれば遙かに低位にあることを窺知し得るである。而して滿鐵は昭和三年度に至りて前年の四〇より三七に低下し大正六年以來の記錄を示して居るが、是れ石炭車輛費等の節約で山本社長の經濟化の結果とでも云ふべきか。

黄塵

◇…公債の三十年整理案は三土藏相の私案かと思つたら、何時の間にか現內閣の新看板に塗り代へられてゐる。

◇…若公債の濫發が現內閣の罪惡の一つなら、之はまさに其尻拭だ、がそれも宜からう。

◇…だがまさか財源云々で兩稅委讓と公債整理とを取り替へる氣ではあるまいな。

◇…無名の一市民と云ふ人が新聞記者のような「訪問記」を書いて居る。

◇…寧ろ有名な(?)一黑役の「訪問記」の方が面白い。

◇…シ團を組織して株界の救濟をするよりも、賣方をフン縛つて株券の値上を圖る方が手ッ取り早い。

◇…尤も、ソンな小刀細工で大勢が支へきれないのは、ドチラも同じことだ。

市況

特産 高粱は強調 先高氣構へに

今朝の定期は差したる新材料はないが大豆は依然賣物の出現に軟調を辿り三等大豆は不申豆粕又大豆安に隨伴して軟弱を辿り豆油は添はず焦付高狀を示し高粱は在庫薄の折柄先高を氣構へて強調を辿つた

◇定期前場(銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百三十八車

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三萬九千枚

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 五千三百箱

▲高粱(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十三車

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)	六五二〇	六五一〇
大豆(裸物)出來高	七十車	
三等大豆	(出來不申)	
豆粕	二一八〇	二一八〇
出來高	六千枚	
豆油	一六二五	一六二五
出來高	二百箱	
高粱	三四六〇	三四六〇
出來高	十車	
包米	三八〇〇	三八〇〇
出來高	五車	

雜穀出來値(廿九日) ▲吉豆(鄭家屯)六、九〇▲烏豆(蘇家屯)五、三〇▲小黑豆五、三〇

定期喰合高(廿九日)(前日對比較×印減)

		前日對比較
大豆	二八三一車	四車
高粱	二一三五車	×一九車
豆粕	一四二一千枚	×四千枚
豆油	一八五五百函	一〇百函

錢鈔

前場(強調) 今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十四片八分の五と(同事)先物二十五片八分の五と(十六分の一安)紐育は五十三仙四分の一と(八分の一高)孟買は五十六兩四分の三と(十六分の三高)滙兌は七十兩九二五、大洋は九十九圓七十五錢、日米は四十四弗八分の三と(十六分の一安)米日は四十九弗十六分の七と(八分の一安)英米クロスは八十五仙三十二分の一と(三十二分の一高)米支は五十九弗十六分の一と(十六分の一安)上海標金は三百六十九兩五と寄付き六十九兩二と止めて當市の銀價は強調を呈してゐた

◇定期取引(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高期近 二百三十萬圓

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金 三萬五千圓 銀對洋 一萬六千圓

商品

前場 麻袋(期近安) 産地電四分一、錢八分の一安と小緩みを報じ當市は當限受渡同近と近物には一般氣乘薄の折柄なれば約一錢方の低落を見せたるも先物は全然保合にて賣買双方共に日和見の姿である、引際氣配は現三十八錢七月三十六錢五厘、八月三十五錢五厘、九月三十二錢五厘、先物三十五錢三厘見當であつた

綿糸布(續落) 米棉再び現六七十錢方反騰にて半高を思はせたが大阪三品各限約小一圓安と弱保合を傳へ當市は銀塊銀票共に保合に氣乘らず綿糸五十錢方下押し綿布は弱保合商狀を呈し閑散裡に散會

麥粉(出來不申)

株式 新東慘落に 諸株共軟弱

昨後場に引續き新東は釣瓶落しの慘落を演じてゐるか當市の五品は割合に氣丈さを示し定期は僅かに一二十錢安に打止め直の引際に至り更に新東の引安を傳へて七十錢安と軟化した新豆は四五十錢安鈔も弱含み、氷新のみ特種材料含みの賣物薄に七八十錢高と獨歩高を演じた現物の大新は二圓擱の低落新東一圓安滿鐵二新は八十錢安と軟化した出來高定期一千三百二十枚現物二千五十枚

前場

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
信	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豆	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鈔	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新東	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五品	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商信	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇現物(乙部) 大新 新東 鐘新 滿鐵二新 郊外土地 [illegible]

◇爲替及受渡日歩 [illegible]

後場(保合) [illegible]

株

過般の暴落により救濟團の鳴物を入れて七八圓方の反騰をみた新東は保合旬日を出ずし再び奔落の歩調に轉じ今朝短期は十七圓六十錢の新安値を示した▲大阪も亦五圓六十錢と新値を報じたので五品は比較的聢りながら他株は軟調を辿り殊に引際東京五品短期の一圓九十錢を入れて遂に直キは定期より一圓方の下鞘を叩きて二圓ドタと危く喰ひ止めた▲結局釣瓶落しの內地株界に東京のシ團組織を目論見て買ひ支へた鼻を西筋に浴せられた觀あり五品の如きはお蔭で折角の出面を挫かれた樣だから差して深押しもあるまいから當分は尙五品買の新東賣がいゝかも知れない

豆

曩きに軍資金を必要とする所から手持大豆の賣物が出現するだらうと噂せられてゐるが▲既に馮玉祥下野の報と共にその必要はなくなつたものと推せらるけれど▲昨場以來弗々ゝ賣物の出現をみて漸落歩調を辿つてゐる▲今朝前場を以て期近納會を告げこれがため轉賣買戻しに商內賑ひ二百三十八車の手合を示した▲高粱は在庫薄の折柄山東方面の動亂鎮靜を告ぐると共に先高を氣構へて昨場來強調裡に推移してゐる▲現物大豆は油房二十車、西比利亞、新昌五十車で七十車の手合、永豐年、廣沅泰、寶隆、日清、丁行の賣物が三十車ある▲今日の豆粕生産高は三萬六千枚、操業工場十九軒であつた

銀

海外材料の銀塊は倫敦同事、紐育八分の一高孟買十六分の三高を入れ爲替は日米十六分の一安、米日八分の一安を報じて銀高材料であつたので地場鈔票としては聢りみ商狀を呈してゐるが依然聢り▲上海標金は昨引より稍々小緩四十錢高と強調を呈した▲上海情報に依れば標金志豐永賣りに下押したるも孟買銀塊安と引前大連筋順和買ひに引戾す閑散乍ら聢り目前尙利喰賣りあると思ふも大勢尙標金高見込み二十九日現在物品標金取組二五、七一八本、賣方六〇店、買方三六店と▲最近錢鈔市場では弗々と相場の變動を來してきたので出來高は彈んできた

定期 出來高(三十日) 一、九四〇枚

市場電報(卅日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二十四片八分五
同先物	二十五片八分五
紐育銀塊	五十三仙四分一
孟買銀塊	五六留比四分三
英米爲替	四弗八五仙卅二分一
米日爲替	四十九弗十六分七
米支爲替	五十九弗十六分一

棉花

◎米棉(換算五〇錢安) 現物・七月・十月・十二月・一月 [illegible]

◎印棉 ベンゴール・ウームラ・オーラチ [illegible]

大阪株式・東京株式・大阪期米・東京期米・大阪綿糸・大阪棉花・神戸豆粕・橫濱生糸・印度麻袋 [illegible]

奧地市況(卅日前場)

特産 ▲大豆 ▲高粱 ▲小麥 開原・長春・公主嶺・哈爾賓 六月限・七月限・八月限 [illegible]

錢鈔 奉天(奉票)・開原(奉票)・長春(鈔票)・安東鎭平銀・哈爾賓(大洋) [illegible]

手形交換高(卅日) 現物 二、六二〇枚 合計 四、五六〇枚

上海爲替情報

【上海三十日發電】廣東路における支那學生の暴行で市場人氣惡く左の如く低落を示した

上海標金 寄付 三六九兩四 高値 三六九兩七 安値 三六八兩五 大引 三六九兩一

爲替相場(卅日正午)

◇正金(銀勘定) 日本向參着賣(銀賣)・同十五日買(同)・上海向參着賣(銀買)・倫敦向參着賣(銀賣)・同二ケ月買(同) [illegible]

◇正金(金勘定) 倫敦向電信賣・同二ケ月買・米國向電信賣・同九十日拂買 [illegible]

◇鮮銀(金勘定) 倫敦向電信賣・同二ケ月買・紐育向電信賣・上海向電信賣・日本向電信賣・同十五日買 [illegible]

平安異香（4）

葉多默太郎作　中一彌畫

非常線（四）

「過手ぢやねエかな、おつうちやん」

「まさかお前、はした女と下郎の六さんを捕へるのに長刀捕棒でもないぢやないか。何かこの邊に大捕物があるんだよ」

云つてゐる中に近付いて來たので、彌陀六とおつねが、松の根に轉かつて息を呑んでゐると、松明で闇を破つて御き進んで來るのは人數二三十人、何れも布衣の下に隙し腹當を締めて、膝頭で括つた短袴に脚絆草鞋、腰に野太刀をぶつこんで肩に長刀を擔いだのもあり、手に捕棒を提げたのもゐる……」

それが風のやうにサーと行過ぎたので、おつねと彌陀六が頸を伸ばして、

「すさまじいものだなあ」と見送つてゐる間に、この捕吏の一隊はずん〳〵濱へ下りて行く。

と、行手にボツつり紅い灯だ。雨催ひになつてゐるのか灯が濡れて見える。

「おぬし達はこゝで待つてゐろ」

馬を後に牽かせて、徒歩で一團の先頭に立つてゐたが上司らしいのが初めて口を開いた。胴の入つた張のあるいゝ聲だつた。

「松明を消して了へ。靜かにしてゐるんだぞ。俺の下知があるまでは身動きならぬ。怪しい奴が通つても手出しはならぬ。いゝな」

嚴しく命じておいてスウと闇の中へ呑まれて了つたと見ると、間もなく、砂濱の一本松を大盜にかぶつてチヨコナンと立つてゐる漁師小屋の前に姿を現はした。

灯の漏れてゐる窓の側を避けて來てゐるのか裏手へ廻る。扉は、舟の朽板や何かを手當り次第に拾つて來て打附けたもので中を窺ふには苦勞はいらぬ。隙間から覗くと、一人の男が、煤けた柱に倚つて、つくねんと膝を抱いてゐる。他に誰もゐないらしい。

が、捕吏は大事をとつて聲は掛けず、まづコツ〳〵と扉を叩いた

「誰だ？」と中の男、愕然として鋭く叫んだが、外の人が、默つてもう一度コツ〳〵と扉を叩くと、中の男は戸口の方へ口を突き出して、

「旦那ですかい？」黒住の旦那で

云つてじつと返辭を待つ――。

「さうだ。俺だ。黒住源八郎だ。が、又五郎、首尾は？」と外から忍んだ聲。

又五郎は默つて立上つた。土間の草履をつツかけて、扉を細目に開けると、するりと消るやうに外へ出て、はだかつた襟を短袴の中へ突込みながら、

「いゝ按排でございますよ。てつきり今夜に相違ございません」

「骨折り忝ない。が、お秀は？」

「妹でございますか。あいつは今し方出かけました。やつぱり今日お報せ申した通り、今夜の亥の刻時分に網船がこの沖へ着いて、夢之助は小舟でこの濱へ上る手筈になつてゐるんで――ヘエ、すつかり探つておきました、妹の奴等は松明を用意して行きましたがね、舟に目見當をつけてやるつもりに相違ございませぬ」

「妹の奴等といふと、誰か他に」

「さうだらう。が、何人來てゐるんだ、人數は？」

「夢之助の手下の奴等が、今朝から出迎へに來てやがるんで……」

「大したもんぢやございません、ほんの四五人――だが旦那、高麗の三郎や女面の小太郎なんて粒選りだから、油斷は出來ませんやね」

「爲の知れた野武士だ。安心するがいゝ。俺は黒住源八郎さ――」

「へ、、そりやもう、鬼判官だの、秦の司馬陵だのと云つて、當世の暗黒面に怖氣を慄はせてゐる旦那のことでございますからなあ」

秦の司馬陵は稀代の捕吏だつた。眼にして辣腕古今未曾有と云はれてゐる。どの位偉かつたかといふと――ある夜、ある家で主客相對して快談の時、話が偶々彼のことになつて、主人が司馬陵の名を口にすると、天井に忍んでゐた所謂梁上の君子が、射られた鳥のやうに、ぱつたりと落ちて來た。しかも、それが彼の死後數百年もの後の話である――

支那一流の誇張としても、かなり凄い人間であつたのには間違ひあるまい。

源八郎は、この司馬陵にも匹敵する名捕吏だと、一世にうたはれた人だつた。

黒住源八郎が笑つて往きかけると、

又五郎が、

「おつと旦那、待つて下さい」と呼びとめる。

發聲映畫雜話（五）

矢野クニジ

M「何うしてそんな變手古な電球が要るのかい」

K「そこだよ。音響が物體の振動で發生することは君だつて承知の筈だ、所でお互ひ男性の發する聲は低い所で毎分八十回、テナーなんかゞ出すのが八百回、彼女等のソプラノが一千から一千二百回あまりの振動なんだ。ピアノが二七回から四千何回の振動數を持つてゐる……」

N「解つたよ、――だから其等の振動數に從つて、つまりシンクロナイズして明暗の度を變へてくれる樣な電球が無くてはならないと云ふんだね―」

K「全く其通りだよ」

M「そして其の電球の光りでフヰルムを感光せしめるんだね」

K「左樣。臺詞や樂器等の高低、音色に依つて變化する光りを、スリツトと呼ぶフヰルムの長さの方向に二千分の三吋、巾の方向に三十二分の三吋の小間隙を通過せしめて、フヰルムの片側の音響記錄帶の部分を感光せしめると、強い音聲の部分は光りが強くなるから比較的黒く、弱い部分は弱くなるから薄く、音全然無い部分は透明になることは、君が得意の寫眞の原板と同じさ―」

M「成程ね。それを現像して更に燒付けて、ポジテイブ、フヰルムを得れば、ネガテイブとは正反對な明暗のある縞模樣となつて現はれる譯だね」

K「其の邊は君の方が精しいよ。その橫縞はとりもなほさず音聲の縞だ。そして、マイクロフオンからピツク、アツプせられて擴大せられ、スリツトを通過してフヰルムに感光するまでの時間は勿論瞬間だから、音と寫眞とは完全にシンクロナイズして同一フヰルムに撮ることが出來るんだ」

M「成程うまくやつてるね。巧妙だ」

K「斯くして一ツのシーンのトーキー、ポジテイブ、フヰルムが出來上るのであるが、實際の場合は撮影が終つてから直にポジテイブ、フヰルムを製らないのである。其の前に今撮つた音響効果が滿足であるかを試聽して見る必要がある。

この目的の爲めに前記の縦縞に記錄したものに依つて、蓄音器を聴く場合と同樣にして、今まで撮した音響効果を試聽するのである。二重に記錄して置く必要は是れが爲めである。

この試聽のことをプレイ、バツクと云ふが、このプレイ、バツクが滿足であれば次のシーンに移ると云ふ具合にして全卷を製作するのである。

教育映畫講演

目下來連ヤマトホテル滯在中の映畫評論家立花高四郎氏は昨二十九日自動車で旅順に赴き途中龍王塘水源地を見學して關東廳に和田保安課長を訪ひ次いで工大や風闇に於て豫科生のために「映畫の文化的價値」と題して約一時間に亘る講演をなし戰蹟を見學して夕方歸連し午後七時半より大連滿鐵社員俱樂部第二食堂に於ける本社主催の一般教育關係者のための映畫講演會に臨み「教育映畫に就いて」と題し有益なる講演をなしたが、聽衆は西内一中、石川神明兩校長をはじめ教育家が終始熱心に傾聽し午後十時頃散會した、尚立花氏は本日金州見物に赴いたが明朝沿線に出發の筈である

女義太夫 團司來演 三日から開演

郷土藝術の粹女義太夫豐竹團司、豐澤小住一座は三十日神戸發のうらる丸に乘船六月二日大連着三時より華々敷く歌舞伎座で開演するだけに天狗連の期待は非常なるが、何しろ素晴らしい顔ぶれであるのである、その顔ぶれは竹本君子、竹本君一、竹本住枝、豐竹團子、竹本文奴、豐竹呂玉、豐竹團司、三味線は豐澤助六、豐澤住繁、豐澤小住で何れも斯界に重きをなしてゐるものばかりである、殊に豐竹呂玉は呂昇仕込みの秘藏弟子で本年廿一歳で體重二十三貫と云ふ堂々たるもので語り口は恩師呂昇そのまゝとのことである、兎に角珍しい一座であるから開演の曉は定めし好評を得るであらう、入場料は特等二圓、一等一圓五十錢であるが前賣割引券をせい〴〵利用されたいと

噂

先月から話のあつたカボチヤこと小泉嘉輔一座の實演隊が來演することになつた▲杉村チエ子に吉田豐作の一座はいさゝか雑達らしいとの噂もある▲ヴイクターが六月の新譜で賣り出した野口雨情作の「滿洲前德歌」を櫛木氏が振りつけて村岡樂童氏作曲の「五月祭り」と共に▲情報課でこの間の日曜日に撮影したが、レコードとうまくシンクロナイズされてゐれば面白いものが出來るだらうと期待されてゐる△帝國館は新經營者の開館祝ひに「黄昏の誘惑」を上映するさうだが▲東京淺草の帝國館の開館祝ひのプロを眞似た洒落でもあるまいが偶然といふものゝ惡戯である。

滿洲日報

英國總選擧の結果如何

◇三十日行はれた英國總選擧の結果は如何。この選擧が啻に英國の内治外交上に多大の影響を與ふるのみならず、同時に又、世界各國の外交若しくは國際關係に少からぬ關係を有することは、英國各派政治家の自から認むるところである。かたぐ世界各國民としては、英國民と齊しく選擧の經過を注視した形跡があり、又その結果如何を知ることに熱心して居ること、勿論である。而も英國に在つて等しく影響を受くる内治外交中においても、その對外的の關係を有するものは、軍備縮小問題と關税問題とでなければならぬ。而して更にこれと關連して、直接間接の影響を豫期せらるゝものは、聯合國對ドイツ關係であり從つて又、賠償問題、國際聯盟とに對してそれぐ關係を有することを否まれぬ。

◇軍備縮小、殊に海軍々備を縮小し、或は制限する問題は、實際においては、英米國の海軍均衡問題である。英國および米國の間に、協定の成立を期待することさへ出來れば、世界海軍の縮小問題、延いて國際平和策の重要なる一問題を解決することも亦、必らずしも困難ではない實に英米兩國の關係が、或は良好と爲り、或は不快なる形勢と爲るのは、悉く兩國の海軍問題が、其主要なる動機であり、或は原因であると言つても、恐らく誇張ではない。勢ひ英米以外の各國は、この兩國の海軍々備を中心とする晴雨不定の形勢を傍觀して、その成行きを懸念して居る以外には、進んで軍縮問題を解決するほどの自信がないと言つても、差支へはない。

◇英國の現保守黨内閣が、この間の事情を知悉して居ることは勿論である。然し尚且つ英國政府が英佛協定の計畫を素破ぬかれて、忽ち米國側の感情を害し若しくは植民地の散在を理由として、英米海軍基本の相違を必要とするかの如き口吻を洩し、愈よ益す米國側の不快を增進して居るのに對し、勞働黨が斷然公海の自由を主張して、曾てウイルソン大統領の國際平和策に共鳴する風を示して居ることは米國としては聊か痛し痒しの感を餘儀なくするものとしても、兎も角英米國の海軍問題に向つて、重大なる變化をもたらすものと觀なければならぬ。即ち又國際聯盟その他における軍縮問題の形勢を變革せしむるものと謂ふべきであらう。

◇保守黨の保護貿易策に對して勞働黨と自由黨と、何れも自由貿易策の共同戰線を張つて居ることは、猶ほ前々回の選擧における如くである。勢ひ若し保守黨が選擧の結果、依然第一黨の地位に留まり得るものとすれば、現在の保護政策は更に其適用範圍を擴張して、自動車、絹糸布、時計、活動フイルム、手袋、陶器その他の現行保護政策以外に、種々の製造工業に適用せらるゝことは明かである。同時に勞働黨の内閣出現の場合、これ等の保護政策が全く放棄せられ、殊にロシヤとの經濟關係を復活し、併せて外交關係の復舊を期待すべき理由がある。即ち並にも世界各國の影響を豫想せらるべきであることは、改めて斷わるまでもない。

◇自由黨が如何なる程度まで、その勢力を挽回するかは、固より豫想し難い。然し少くとも自由黨内閣の組織を見るが如き事態がない以上は、同黨の政策と外國關係とを考察するのは、無意義たるを免かれない。

滿蒙鐵道驛傳競爭

雄大そのものなる老爺嶺の風光

變化に富む吉敦沿線の景趣

(第十二信) 敦化にて 加藤白班選手

◇吉林は名古屋旅館の廣間にグルリと集まつたのか白軍勝たしたいで一杯の人達ださすがに我班の昔馴染の地ではある、芝元、島、西澤、平野、柿本等の諸氏の間に大秘策が作成された。即ち廿四日午前三時特に手配して廿五日列車を出さしめ、[illegible]吉しやうと云ふのだ「手[illegible]く行きましたよ」芝元氏の熱心な口吻、サア乾杯だ一同は既に勝利を味はつたつもりでビールの杯を空けた。然し悦びも束の間であつた「豫定の臨時列車に貨物の不足で取消しに決定」グワンと高い所から落されてしまつた

◇やむなく當夜は吉林に一泊廿四日午前七時混合列車で吉敦路の人となる。この線路は鐵路の敷設によつて繁盛を來たしたと云ふのではなく沿道一帶産物の豐富であるために鐵路が二本のばされたものであつて窓外に展開する景色も吉長鐵路その他とは大いに趣を異にする此線の工事その他は日本人がした事で手拔りのあらう筈がない私の乘つた混合列車には吉林から六道溝に遊山に出かける連中が乘つてゐた、いづれも幽切れの好い日本語で喋言つてゐる、この日本語を聞いてゐる間は、たとへ一人旅でも淋しくはないこの往路のあとを泌々見てゐると自然と鬪ふ人間力の如何に大きいかと云ふ事を判然と感得する列車が黑煙を吐いて急阪を攀じを興へない、私の肩にかけた[illegible]をウサン臭さうにながめてゐる。

◇[illegible]を縫うて走る。伐り倒された巨材が生々しく轉がつてゐる。遠く斧の音が響き、近く鶏の鳴き聲を聞く。新綠の色は滴るばかり、宛然大きな油繪である。

◇老爺嶺を發して更に東進す混合列車の悲しさは驛毎に、停ある。もしゴールドラツシユを[illegible]

◇停車中に小盗兒が逮捕されると云ふ喜劇の一幕があつて發車、附近の奶子山は金山として有名であるると云はれる市街を見學つてゐるドロくの道に呆れて午前七時五十分の汽車に間に合はすべく驛に向ふ、同車したのが永らく森林の中を驅け廻つてゐると云ふ木材商の淺井氏、大連の帝國館を新しく經營する事に決定した南氏等。

似て金鑛探檢に行きたい人は鶴嘴一つ持つて行くがよい。この時分から恐ろしい雨だ[illegible]然と云ふ形容詞があてはまる。霰も交つて硝子戸に當る音が物凄い。かくて車は二道河を過ぎ黄松甸を過ぎ一路敦化に向ふ、この間約二時間と云ふものは大自然の森林を兩側の窓外に見る、亭々として天を摩する樹木は楡、赤松、白楊等。

◇太平嶺を經て漸く敦化に辿りつく、午後七時だ。驛長のサインを貰ひ、滿鐵公所へと二輪車に乘る。泥濘甚しい中を揺られて行く、ガボツと車輪が半分もぬかるみにはまつてしまふ、この泥濘の中でよく馬が死ぬと云ふ。午後八時半やつと滿鐵公所を尋ね出す。行き暮れた旅人が宿屋を探し當てたよろこびである。公所には市村君一人が居つて他は皆出張中で、あつた。同夜西岸旅館主のもてなしで二人は酒を呑んで語り合つた「こんな所に居れば淋しいだらうなんて云はれるが、張切つた氣持[illegible]

車少くも十分はかゝる、もどかしい驛だ。この間に山間の小驛を幾つか通過して蛟河に午後二[illegible]

初夏の花白き興安嶺に英雄の壯圖を偲ぶ

支那兵に敬禮されて面喰ふ

(第十二信) 滿洲里にて 秋山紅班選手

◇北滿、内蒙、コロンバイルの地域を横斷せる東支東部線は五百八十哩、其間安達、滿溝の農耕興安嶺の森林滿洲里牙克石間の放牧地帶を貫きシベリヤを經て歐露に連る、インターナショナルカーの通路である。沿道一帶は放牧が盛んで牛、馬の姿を見受けぬ處はなかつた程畜産の風が奨勵され昔とは著しい變遷を示してゐる

◇興安嶺以東、チチハル、安達一帶は概して支那人土着民の勢力を窺ふに足るが、札蘭屯から滿洲の國境に近づくに從ひロシヤ式の面影を見る、唯各驛のブヘーは内部の構造は其儘だが、主人の顏が支那人に代り椅子を占めてゐるものはニーヤの軍人でレベルの低下した氣分がする、アノ嚴めしい哥薩克風の軍人は其の片影すら認めることができない。ロシヤ勢力の一掃でブヘーもラフカも寂寥を極め、構内のラフカは殆ど各驛とも閉鎖した儘である、第十五旅の哈滿護路軍が淋しい姿をして驛毎に沿道に堵列し警戒をしてゐるが、氣力のないこと夥しい。

◇どう間違へたのか、時々選手に對して最敬禮をする、……リレーを歡迎した意味ではなからうが、服裝が少しく變つてゐるので上長官と誤信したらしい、この處がニーヤ式である。

◇五月中旬の興安嶺は初夏の光を受けてなだらかな若草が一面に生え伸びて灌木のヤーゴダの白き花がほゝ笑んでゐる、昔に比べては髄に平和な氣分が漂つてゐる、十餘分間を要する約二哩ばかりの興安嶺隧道を過ぎると氣候、風土其他の景色が全々一變したやうな感じ

◇海拉爾からアラシヤンに至る自動車道は今も開通してゐるが、コロンバイル獨立運動のあつて以來支那側は極度に神經を尖らし取締嚴重にした風がある。

◇[illegible]がする。牧草地帶の哈克驛に牛馬家畜、皮革の集散地を背後に控えた海拉爾、コロンバイル政廳の所在地で、ゴビ沙漠の北端で沙丘の連なるあたり歐洲を震憾した英雄の面影が偲ばれる。興安嶺札兎公司の林區はこの一帶である。

◇滿洲里に近き札蘭諾爾驛は僅かに數軒の鐵道從業員のドーム露天掘の炭坑附近には掘つ立て小屋がマバラに散在してゐた一寒村であつたが、鐵道沿線に近き興安嶺一帶の濫伐の結果燃料の缺乏を來し遂に滿洲里地方は札蘭諾爾炭の需要を喚起し今では唯一の燃料となつたので採炭のために新驛が設けられ炭坑附近は赤屋根の家屋が多數增築され非常な發展を示してゐる

◇この地だけは東支西部線で一番活氣を有するやうに觀られた、滿洲里から札蘭諾爾に至る立派な馬車道がつけられてあるにても充分判るであらう、廿一日午後七時半滿洲里に着する今回のコースの最西北端で大連を去る約一千三百哩、三浦ツーリストビユローキ任と志水東方通信員等に迎へられビユローに足を休める。

佛亞銀行支店の許可取消を申請

張氏奉天に訓令を仰ぐ

【哈爾賓發】哈爾賓交渉員蔡運升氏は去る四月末營業を開始した當地佛亞銀行が未だ支那當局の正式許可を受けてゐないのみならず確實な保證をも持つてゐないといふので、今回張行政長官に對し右支店の取消し方を申請したが蔡氏が既に開業式も濟まして目下盛に營業中の該銀行に對し突然斯くの如き態度に出たについては次の如き理由があるのである

即ち今より二年前、當地に佛國商民で組織した東方儲蓄銀公會と稱する一金融機關があつたが該公會は相當の保證があつたにかゝはらず、解散の際は多數預金者に尠からざる損失を與へ、而も佛國領事は支那側からの交渉に對し一切無責任の態度に出で、問題は今もつて未解決のまゝにあるため佛亞銀行も或は又その轍を踏むのではないかと危惧されてゐるのである

しかしこれはたゞ表面だけの理由であつて實際は支那側が前の問題に對し報復手段に出でたものと一般には見られてゐる、しかして張長官はこの問題を外交關係にも影響を與ふる重大事とみなし一應奉天張學良氏の訓令を仰いだ後何分の處置をとることに決した

社會事業協會の具體化に努力す

二十九日開催された社會事業懇談會で申合す

二十九日午後六時半から常盤町市社會館に於て社會研究會主催の下に開催された既報社會事業懇話會は滿鐵社會課より淸水德次郎、野村義理、岡田七雄、同夫人の四氏勞働保護會永井軍治、海務協會高橋多作次、慈惠病院木下鈴雄、爲人會池内忠義、基督敎靑年會中川竹太郎、救世軍婦人ホーム酒井龜一郎、大慈園新田神量、大連醫院小數賀政市、有倉善次、滿洲婦人會々長小谷百合子、滿洲託兒所小林太作、市社會館古閑亮、社會研究會山田武吉、菅野一の諸氏出席

晩餐を共にしたる後樓上應接室に於て

一、各種社會事業の連絡統一を圖るについての適切有効なる方法

二、共同募金の必要の有無

三、希望事項

等につき主催者山田武吉氏より一應説明し各自意見を交換したが第一の事項に就ては臺灣朝鮮等に完全なる社會事業協會の設置され有るに鑑み關東廳に於ても夙に之が必要を認め居り大連各社會事業團體に於ても是を希望してゐるけれども惟其の實行に就て經費其他の點に關し尚研究の餘地あり今後協力し之が具體化に向つて努力する事とし第二項目の件は各團體が個別に募金しては

自然各方面より煩さがられる嫌ひあり之を共同にして合理的方法を設けて公平に分配する事にせば一層効果的なるべしとの意見もあつたが一方救世軍の如き特種の募金方法を傳統的に實行しつゝあるものもあり又各自從來の繩張りと云つた樣な募金得意先に固執する向もあつて之又俄に實行し難き情あり今後の研究に俟つ事とし更に第三項の希望條項に對し各自隔意なき意見を陳べ十時頃散會した

各商會率先して殖産を奬勵せよ

日本の侵略は東南から、と支那側諸興業を調査

【間島】延吉交渉署に於ては延吉、琿春、和龍、汪淸四縣の内務、外交、敎育、財政、實業等に關する諸般の狀況を調査中であり一方延吉縣實業局に於ても管内各地に於ける開鑛、牧畜、森林苗圃、養蠶養蜂、植樹、農産種子交易所、農事試驗場、栽桑等に關する調査を行つてゐるが右は

日本の侵略目標は東北の土地、鑛山、森林等にして漸次滿洲の東南方面から侵略の歩を進めてゐるに對し之が對抗策として民間の殖産工業を指導奬勵する一方監督商務の弊を除くには地方商會の率先指導奬勵に俟たねばならぬが夫れには先づ第一に間島地方に力を注がねばならぬとの吉林當局の訓令に基くものであると

ダ汽船會社の借欵提起承認

【ワシントン二十九日發電】當地アメリカ船舶院はダラー汽船會社に對し同社の世界一周船四隻回收の爲め千七百十二萬五千弗借欵提起の件を本日承認した、之よりさきダラー會社副社長スタンレーダラ氏は船舶院委員ノルマー氏を訪ひ優秀快速船六隻建造計畫案を説明し援助を求めた

石友三氏中央に服從

【北平三十日發電】漢口に在る何應欽氏より蔣介石氏に對し「漢部下の石友三から二十七日附電報を以て中央に服從して命を乞ふ旨通じ來つた」と報告あつた

◇—滿洲里郊外の寺院

満洲日報 地方版

撫順

大連の實滿戰 素晴しい人氣
撫順の尾崎、岡田、萩原三氏 審判として出連す

本社主催の大連に於ける滿倶、實業（大出）をプレートに送るべく恰も業の第一回戰は六月二日擧行され早慶戰の如き人氣を呼び奉天、撫順、安東邊からまで泊りがけで見るが當日の主審副審として撫順野球部の中堅たる尾崎、岡田、萩原氏が出連する事に決定した因に昨年は實業が滿倶を一氣に屠つたが今年は滿倶が剛腕の名投手濱崎を迎へ新陣容を堅め雪辱の意氣物凄きものあり實業は正投手岩瀬（早大）の列車で出連する事となり、同試合を見るべく一日午前十一時發の前景氣は凄い位である

大に屬目される 撫順炭選炭デー

既報の如く撫順炭礦に於ける選炭デーは滿鐵本社からも多數の係員出張、運輸事務所と各選炭所協力汗だくで大馬力を掛けてゐる現在の選炭機を以てどの程度まで炭質を向上し得るか、各種選炭の限度、選炭作業能率增進等の最後的決定をなすもので撫順炭質の基準が確定されるため各方面では非常に屬目してゐる

輸入組合の祝賀會 六月二日に

撫順輸入組合は昨春設立以來成績頗る良好漸次堅實味を加へつゝあるが六月二日が開業滿一周年に相當するので同日午後三時より實業

虛子氏來撫

俳壇の重鎭高濱虛子氏は二十九日……會館に於て祝賀會を開催すると

後期入營兵の着撫時間變更

撫順守備隊後期入營兵五十名の着撫は六月二日午前十一時の一六三列車に變更された當日は官民多數の出迎へある筈

午前十一時三十分の列車にて來撫直に露天掘その他を視察午後六時より筑紫館に於ける歡迎句會に臨み三十日午前離撫した

營口

弔魂團一行 二十九日來往

在鄕軍人會本部理事藤井好祐大佐の率ゆる弔魂團一行七十三名は二十九日午前八時五十分來着荒川領事其他各方面の出迎へを受け當地在鄕軍人分會員は會旗を樹てゝ出迎へ永尾地方事務所長の挨拶終つて營口神社に參拜忠魂碑前に整列して團參を行ひ直に驛に引返し滿鐵の汽艇にて遼河を視察し同十一時發列車にて旅順に向つた

津田醫院開業

當地滿鐵醫院婦人科に奉職中であつた醫師津田久堅氏は過般同院を辭し元神廟街に醫院を開業し婦人科の外一般患者の治療に從事する筈であるが病室及分娩室の設備も十分に整つて居ると

福康裡讓渡說 邦人より華商に

……農礦廳長劉鳴九氏を督辦となし同公司を監督すると同時に將來保護を充分にすることになつたと

遼陽附屬地の支那遊廓福康裡は最初西村、立井、雲井の三氏が建設し其の後立井氏の個人經營に移り今日に及んだが、今回負債整理の爲め華商富九魚店福盛永等に金一萬七千圓で讓渡することに決定し既に手附金の受渡しがあつたと

修養團婦人講習會 自十五日三日間

滿鐵社會課後援の修養團婦人講習會は六月十五日から十七日迄三日間遼陽社員倶樂部に於て開催の豫定で、講師は修養團理事竹內浦次同團東婦人聯盟上田次郞の兩氏である

保安方練習開始

遼陽保線區事務所では廿七日から六月二十日迄保安方新採用社員十名の練習中であるが修了の上は沿線各保線區に配置すると

遼陽

商民の要望叶ひ 街路樹整理さる
寄生虫と邪魔物除去

遼陽は街路樹の美觀と白塔で有名だがこの街路樹が本通りは楡であるため盛夏寄生蟲が生じ且つ密木に屬するため年數回手入しなければ人道と店舖の邪魔をする事移しい關係上之が整理に付在住者側から屢地方事務所に要望中であつた、事務所でも實地調査の上下枝平均二尺餘を切斷しピラミツト型を小さくすることになり數日前から着手されて居る

弓長嶺鐵礦督辦に張氏就任

遼陽城東の弓長嶺は中日合辦の組織で現在では實際採掘とまで至らないが、同鐵礦の日本側の代表者は野口多內氏で中國側は丁幹元氏であるが今回遼寧省政府から遼陽縣政府主席委員への通達に依れば

開原

守備隊の後期入營兵 六月二日到着

本年度後期入營兵四十七名は來る六月二日午前十一時五十分着列車にて開原驛に到着直に開原守備隊に入營の筈一般市民は多數出迎へられたしと

山木の大賣出

昭和通り山木吳服店では三十日から三日間夏物大賣出しを開始した

交易專務決定 山口氏就任

開原交易信託株式會社專務取締役本田東助氏辭任につき二十八日臨時株主總會を開催選擧の結果山口武太郞氏當選就任した

寄附電話募集

開原郵便局にては六月一日より入……

鐵嶺

馮探を逮捕せよ
ご省政府からの嚴命

近來三省各地に馮玉祥の密偵が潛入し軍機の秘密を探らんと活動中の模樣で省政府は鐵嶺縣政府に對し馮探の警戒を嚴重にし發見次第直に逮捕すべしと嚴命して來たと

日迄本年度寄附電話を募集の筈であるが架設費は昨年同樣百五十圓に加入登記料十五圓合計金百六十五圓であると、昨年は締切後に申込募入外れとなつた向多數あつたから本年度希望者は是非期限內に至急申込まれたいと

機關區へ臨時賞與
全線一の好成績

鐵嶺機關區の安全走行は既報の如く今や百四十萬キロに垂々として居るが尠くも百五十萬キロに達せしむべく區員は大努力を續けてゐるが鐵道事務所では全線に冠たる此の好成績を表彰すると共に全區員の努力を犒ふ爲め二十八日金五百圓を臨時賞與として贈つて來たので機關區では近く共同祝賀會を催ふす筈である

機關士心得試驗合格者

過般執行された滿鐵機關士心得試驗には全線十一ケ所の機關區から多數の受驗者を送つたが、鐵嶺機關區からも八名を選拔し區長以下幹部が熱心に豫備教育を施して受驗せしめたところ、八名のうち七名が合格し全線第三位といふ好成績を示し、區長以下何れも努力の酬ひられた事を喜んでゐる尙合格者左記七名は二十七日附を以て機關士心得を命ぜられた

澤田境、平賀作平、宮久保眞澄、西澤光輝、村上又七郞、宗村清次、藤田與里

高濱虛子氏來鐵

俳界の巨人高濱虛子氏は明一日午後一時二十六分着列車にて來鐵一泊、二日朝八時四十分着列車にて北行の由であるが當地滯在中の動靜は未定である

今日の案內（卅一日）

●高野山特別講演　眞言宗本山財務課長草繋宣全師は今卅一日來鐵午後七時半より鐵嶺布教所にて特別講演を爲す

●輸入組合電話開通　鐵嶺輸入組合では二十八日から專用電話を架

佐竹議長歸開

地方委員聯合會特別委員として同會の決議に基き奉天に於て黑田次官を訪ひ旅大方面に各要路者を訪問出張中の佐竹地方委員議長は二十八日要務を終へて歸開した

設した番號は元證券信託の電話二八八番である

橫越氏嚴父訃　松島町橫越時計店主嚴父嘉左衛門氏は久しく病氣療養中の處二十九日午前九時半長逝した享年八十一、葬儀は三十日西本願寺で執行

鐵嶺漫筆

二十四日の晚のこと人通りの無いを幸ひ醉狂に乘じて松島町の商店町を片つ端から看板を外したり自轉車臺を拋り出したり生木を折つて入口に立てるなど程度を超えた惡戲をした者がある▲正氣の沙汰とは思へず酒の勢ひとは言へ許し難い惡戲だが調査の結果滿鐵の獨身社員（特に名を秘す）と判つた▲高い月給を貰ひ茶屋酒に親み始末だ親が聞いたら泣くだらう▲高い月給と言へば新設された滿鐵家庭副業研究所の先生▲今までは月給でなかつたから敎へ方も頗る親切であつたが今度月給になつたら急に態度が變り溫か味が失せ肝心の點などを濟つて敎へて異れぬさうだ▲此處を敎へたら私のお株を奪はれると云ふやうな狹い量見の結果として折角知つてゐる事なら澤山の人に敎へて知識を擴めさせるといふのが副業研究所の趣旨であつた筈だ▲氣に食はぬと怒つて敎へずに外出する事もあるといふが以ての外である▲敎師はモツト親切であつて欲しいといふのが御婦人方の希望である▲一寸お取次まで

滿洲肥料雜觀
（一）鐵井農場にて　澤田生

歷史風俗習慣言語及思想等を異にする廣大なる滿洲の地に於て林業農業畜產水產等此等各種產業を保持發展し以て滿洲產業の中心となし同時に各種工業を革正し更に大工業發展の新時代を作り母國經濟に貢獻するを最大使命なりと信ず然るに各種產業就中農業方面を顧みるに未だ基礎甚だ不安定にして當局奈邊に其產業政策の重心を置くや甚だ

デリケートの問題にして吾人今之が是非の批判を試み樣とする者ではない滿洲の地たるや母國と其土壤氣候等甚だしく相違し經營の容易でない事は敢て想像に難くない尙秋收穫後春期迄農閑に對する工業原料品生產の見るべきもの無く其他因つて不振をなすべき點多々あるも就中農業經濟上其最大收量に影響を及ぼす肥料について其根本要素を

熟知せず學術や經驗を重せず化學の應用を見逃し以て肥料に多額の費用を投じながら收益意の如くならず遂には經營困難におちいる等は見逃す事の出來ない原因の主なるものではなからうが況んや近時新肥料の出現著しく農家經濟に一大エポツクを劃し從つて其の施用の迷路に立つ者多々有るを知る依て今肥料に就いて其の一般を述べ以て其の歸趨に迷ふ一指針ともならば幸甚の次第である

土壤の基礎的研究
土性に關する基本的研究として

近時土性調査をなすものあるは甚だ喜ぶべき現象にして之が研究には地質學鑛物學に對する知識を要するを以て今極めて概括的に土壤成生並に之が作物との良否に就て述べやう

地質の分類を始原代原生代古生代中生代近世代とし更に之を數紀に分つも今農作上特に關係ある二三につき述べん花崗岩（粒狀構造）片狀（岩片岩）等は原生代及古世代の噴出岩にして俗に御影石（雲母長石石英）と稱せられ此れより構成されたる土壤は理學的組成より一般に良質の米を產し後者は正長石斜長石石英雲母の集合よりなり蜜柑類に適す近世代即方三紀層は今から一萬五百年乃至二萬一千年前と稱せられ人類の起りも此時代頃と云はれてゐる洪積層沖積層あり前者はノアの大洪の時代の地層にして堅く礫か多く農作物には好適ではない後者は幾千年來の水若くば風等の作用に依り母岩の崩掘して遂に本層をなせしものにして農耕地の大部分は此の層を以て構成され農耕に最適の沃地として各地に散在してゐる

新義州の競馬大會
卅日から開く

新義州の競馬大會、年毎に隆盛に赴き昨秋掉尾の大會の如きは大番狂はせも數回ありて愈人氣を呶り春季大會發表以來多數競馬ファンから熱狂的期待を以て迎へられて居るがいよ〳〵來る三十日を初日に六月四日迄六日間新義州驛前大廣場に於て擧行することになつたので愛馬黨は夜の目も寢ずに其日の來るを待ち佗びて居る、興味の中心となつて居る馬券投票は從來一人一競馬三枚以內の制限であつたのが今回は五枚迄は差支へない事となつたので唯さへ人氣を沸騰させて居る馬券黨の熱狂振りは一段とすさまじい事であらう

安東

十餘萬圓を投じ滿鐵醫院を增築
患者著しく增加したので 約五十病室を增加

梅田現院長を迎へて以來の安東滿鐵醫院は新義州方面よりの外來、入院患者激增し且つ各科醫長に對する一般の好評も之に伴ひ支那人患者も近來著しく增加したので現在の病室にては狹隘を告げ往々患者の希望を容ることが出來ないのを遺憾とされて居たがいよ〳〵明五年度より增改築が實現さるゝ機運に到達せる模樣である、今其設計內容を聞くに同病院現在のベツト總數は百六十個であるが增改築數は傳染病に於て三十五個、一二病棟の一二等室に於て十四個合計四十九個を增し總計二百九個となり其他婦人科分娩室、皮膚科待合室、乾燥室等を加へ總工費約十三萬圓を要するとし完成の曉は昨年の本館增改築と相俟つて國境に其覇をほこるに足る完備せる病院となるで

安東領事 宇佐美氏任命

岡田安東領事は總領事として山東方面に榮轉したが其後任として亞細亞局事務官正六位宇佐美珍彥氏が領事として廿八日付をもつて安東在勤を命ぜられた

福岡師範見學團一行

福岡師範五年生滿鮮視察見學團一行七十二名は早崎教諭に引率され六月三日來安し安義兩地を視察見學の上十時に大津守備隊長の案內を

青年議會出席

第一回滿洲青年議會に出席すべき安東青年聯盟支部では過般開催せし總會にて中村議長に一任し詮衡中であつたが竹本精一、杉山宗作大倉繁雄の三氏が出席する事となつた

人事

▲鈴木三郞助氏（味の素本舖東信電氣株式會社社長）一行三名廿八日午後四時五龍背着一泊し二十九日午前九時四十五分の列車にて來安

▲森瓦斯支店長　旅大方面に出張中の處二十七日夜歸安

▲富永是保氏　二十七日本溪湖へ

▲廣田憲兵分隊長　廿八日連山關へ向け出張同夜歸安

▲大津守備隊長　同上

鞍山

二支那少女 金錢を盜む

鞍山小學校訓導梶川氏の妻女が二十九日零時十五分頃鞍山滿鐵醫院齒科に於て齒牙治療中オペラバツクより金一圓五十錢を盜まれたので直に事務室に屆出でたが事務當局は時を移さず鞍山署に移牒したので署では松尾刑事を派し取調べた處怪しき支那人少女二名が身分不相應の金使ひをなす事を聞知し二少女を本署に連行取調べた處原籍海城縣大石橋現住所八卦溝玉福祥長女玉箏子（一三）と云ひ目下北三條町奧山藤五郞の妻女某が滿鐵醫院に入院中のボーイ及附添として在院中のもの一名は原籍住所同じの孫萬尹長女孫牛子（一四）と云ひ前記梶川氏の隙を窺ひ金一圓五十錢をぬき取つた事を自白したが現金

廣島縣人家族會

鞍山廣島縣人會では六月二日赤城町演藝館に於て午前十時より家族會を開催すると、餘興として活動寫眞新派血の舟、時代劇京屋の娘其他福引及び有志の隱し藝多數ありと

瓦房店

五湖嘴に軍用無電
支那の施設

最近支那側では復縣五湖嘴に無線電信を設置したが、檢分して來た人の談に依れば軍用に使用するものであると

支那芝居で賑ふ

瓦房店機關區支那人側家族慰問の爲め新市街廣場に二十六日より支那芝居を興行したが遠近各地より集り來る者無慮數千人に達し附近一帶頗る殷賑を極めた

犯人二人護送

原籍山口縣吉敷郡山口町字上宇野令現住所鞍山北三條町中山洋行使用人熊丸一輔（二〇）及山口縣大島郡屋代村字西屋代現住所鞍山北三條町一丁目村田源一使用人濱中數行（二〇）の兩名は廿五日頃受持巡查が戶口調查の際廿二日午後一時頃大連より徒步で來鞍したと答へたので不審を抱き大連署に通報した處取押へ方依賴の電報が來たので高附野田の兩巡查が廿八日逮捕し大連に電報したので廿九日大連署より岩田刑事が來鞍し午後三時三分鞍急行で兩名を連行した、聞く處に依れば熊丸一輔は詐欺濱中數行は竊盜の犯人らしいと

六圓五十錢を所持して居たので目下嚴重取調べ中である

映畫『金剛呪門』沿線各地で巡映
本社の讀者映畫會

本紙連載中の山中峯太郞氏作「金剛呪門」は讀者の興味の中心となり好評を博しつゝあるが、これを元東亞の幹部武井龍三が獨立した最初の作品として映畫化し前後篇十六卷に製作し旅大に於て本社主催の下に公開し大喝采を博した引續き沿線各地に於て巡映すべく計畫中であつたが、愈大體左の如き日程により北滿より漸次南下して讀者の期待裡に公開することになつた、讀者に限り各地ともに優待割引することになつてゐる、

地名	日程
范家屯	五月卅一日
哈爾賓	六月一、二日
吉林	六月四日
公主嶺	六月五日
四平街	六月六、七日

安奉線八景 ―本溪湖の太子河―

秘密文書の押收が支那側の眞の目的
勞農總領事館手入事件

【哈爾賓】今回支那官憲の勞農總領事館手入れはその後判明したところによると全く計畫的のもので當時既に南京政府の意圖によつて萬福麟、呂榮寰等北滿の巨頭連が奉天會議に列席した領事館を初めその他勞農各機關の地下室で開かれた當地共產黨員の秘密集會が支那側に探知された結果で同會には前奉天勞農總領事クヅネツオフ氏も參加し第三インターナショナルとして急變しつゝある支那現下の政狀に乘じ援助方針の積極化並に目下支那側か高壓態度に出て居る東支問題に關する最後的對策につき協議を行ふ筈であつたといはれてゐるが、支那側では右會議は寧ろ手入れの口實にした

驅逐策が決せられてゐる

たもので張作相氏の如きは奉天より歸任の際當地に立ち寄り近く機會を見て奉農領事館に向つて近く手入れを決行すると言明した程であると傳へられてゐる、しかして今回支那側が手入れを決行したの直接の原因となつたものは既報の如く二十七日正午から總領事館內における勞農側の秘密政策を探り出さんとしたものである、然るに領事館では手入れの始まると同時に重要書類の燒却にかゝつたが尙多數の文書を押收され目下張國忱氏の監督のもとに極力調查中であるが右文書中には本國政府並に滿洲各地領事館との往復文書は素より馮系支那側との通信文も含まれてゐる模樣でこれが調查の結果については一般から異常な興味と注意が拂はれてゐる

密文書の押收にあつたもので支那側はこれによつて莘夢式に滿洲に

勞農側では結局泣寢入りか
事によつたら逆捻ぢ

【哈爾賓】滿洲における勞農領事館は奉露協定によつて奉天政府が承認したもので支那の政府が現在南京政府に統一されてゐる今日その勢力の

有無

に關しては尙多少の疑問を存するところであるが兎も角事實において從來默認されてゐた不可侵の國家的機關を蹂躙された露國側が今後果して如何なる態度に出るかは頗る興味ある問題として重大視されてゐる、しかし一般の見るところでは領事館內において共產黨の會合を開いたことにつき多大な疑惑の眼をもつて見

逸早く

は支那側に絶好の口實を與へたもでられない以上は結局例によつて泣き寢入りの外なく寧ろ押收された文書の內容如何によつては却つて更に逆ねぢを持ち込まれる結果を來す恐れがあるといはれてゐる

到底

又露國の現狀が强硬的對抗手段に出

支那側の處置は張國忱氏の進言
大使館手入れの張本人

【哈爾賓】勞農總領事館手入れに中心人物として策動したのは例の北滿におけるムツソリニーなる綽稱を奉られてゐる教育廳長張國忱氏で奉天當局をして斯く斷然たる處置に出づべく

決意

させたのも同氏の進言に基くことが多いといはれてゐる、今回の手入れに際しても同氏は折りから館內にあつた前奉天總領事であり且つ豫てからその行動に疑問を抱かれてゐたクヅネツオフ氏を眞先に拉致し米春麟警察管理處長私邸に監禁目下嚴重な取調べを行ひつゝある、元來張國忱氏は先年北平の勞農大使館手入れのときにも屢々參畫した經驗がある關係で勞農各機關の連絡及び秘密政策につい

回收

ては可成り精通して居り當地へ來任して以來自己管掌の教育權の回收は勿論東支鐵道その他各縣の對露問題に關し正面から頗る强硬な態度に出で露國側から

支那側から逆捻ぢ

けむたがられてゐたもので あるが今回の手入れが同氏の潛行的政策によつて決行されたことが解つたゝめ同氏に對する勞農側の怨嗟は更に激烈を加へ身邊が危險であるとさへ傳へられてゐる

張景惠行政長官は今回の事件に關するチリキン東支副理事長からの抗議に對し領事館を共產黨の宣傳機關に使用することは地方の治安を害し奉露協定及び國際公法に牴觸する違反行爲であつて今回の手入れも全くこれに原因したもので あるから以後は注意されたいと逆捻を喰した

各地領事館 頗る緊張

當地勞農總領事館の手入れで滿洲里、海拉爾及び齊々哈爾など東支沿線各地の領事館並にその他商業部出張は鐵道倶樂部等の勞農機關にも引つゞいて手入れが行はれるものと一時は噂されてゐたがたゞボクラの領事館が同じ二十七日同地支那官憲から捜查されたと傳へられてゐるのみでその他の各地には何等異狀がない模樣である、しかし各地とも今回の事件により露支兩者間に非常なる緊張した空氣が生じてゐるといはれてゐる

館員釋放さる

【哈爾賓】今回の事件でメリニコフ總領事以外の勞農總領事館員は一旦警察に檢擧されたが同日の共產黨會議に列席した確證があがらないため即夜放免されたので目下拘禁中のものは館員外の共產黨員三十九名である、尙今回支那側は書類及び右共產黨員の拘引のみにとゞめ館そのものゝ閉鎖を行はなかつたので同領事館は平常の通り事務をとつてゐる

大連將棋聯盟特選 滿日五人拔戰
（福村君三回勝四回目）

（四ノ三）香角交角落番
▲二段 福村義一
△初段格 玉名勝夫

（盤面以下の手順）

▲五八飛△四二玉▲七七桂△七三桂▲一六歩△三二玉▲二六歩△三一角▲一五歩△二二玉▲三五歩△同歩▲同銀△三二金▲二五歩△三四歩

對局者の實感
（玉名君曰く）

四二玉の處で四五歩と突きだし一指したかつたが何分居玉の戰は危險な氣がしたから玉を安全地に移した。

（福村君曰く）

七七桂と跳ねた意味は自陣の整備でもあつたが敵若し捨て置かば五五歩、同歩、同飛、五四歩八五飛と强く交換の含みに指さうと思つて譜の通り指しました

觀戰雜記 三段 宮本金三

各々の實力が現はれる中盤戰に棋面は動いて參りました福村君が五八飛の時玉名君が玉の安全を計つて四二玉と越した手段も惡くないが矢張り第二局で述べました通り四五歩と突き出すのが本筋でせう。福村君の七七桂手筋です玉名君が完全に矢倉構へに玉を締めた時福村君の三五歩は少し無理でした敵が幸に同歩と應じて異れたからよかつたが反對に四五歩と突かれると歩損は免れない局面にもなるし敵玉頭が堅實な者になりますから こうした駒落に限らず、手損は總て平手駒落には最大の注意を拂ひたいと思ひます。駒組の原則として相手方の駒を掴かせず自己の駒は手順に動かせて行つて結局一二手の先手後手を爭ふと云ふ氣持で指したいものです、今日の玉名君が三五同歩の如きは敵に糧を與へる樣な手段で惡いと思ひます再三再四四五歩突きを逸したのは好漢玉名君の爲に惜みます。

金言　靜なる喜悦の秘訣は親切なり（西諺）

コドモページ

修學旅行記　移りゆく窓外の風景
汽車は靜に奉天に到着

大廣場小學校六年生

汽車はまた走りだした。色々な畠や山が後へ〱とどん〱進んで行く。私たちは朝のよい空氣をすひながら外の景色に見とれた。少しして朝のご飯を食べた。腹がすいてゐるので何時もより多く食べられた。湯崗子も過ぎて鞍山へ着いた。鞍山の製鐵所が見えないので、へんにおもつてゐたら鞍山の驛を過ぎてから見えてきた。みんなは「製鐵所だ製鐵所だ」といつてさわいでゐる。長いえんとつがにゆーとつき出てゐるのも面白かつた。先生が「あそこがようこうろだ」とせつめいして下さつた。谷山君がきて「奉天へいつたら山なんかみえないよ、平野だから」と言つてくれた。しばらくいつて首山のへんにくるとみんなが「橘大隊長の戰死の場所がみえる」といつてさはいでゐるので見ると成るほどはつきり見えてゐた。

そして遼陽では有名な白塔を見た。煙臺も過ぎ、沙河も過ぎて渾河に着いた。早く鐵橋が見たいので、發車するのがまちどほしかつた。少し行くといよ〱鐵橋を渡つた。斜になつてゐる、鐵の柱が、あらはれてくるのは、氣持が惡かつた。渡つてしまふと、もう一度渡つて見たい氣持がした。小さい驛をいくつか過ぎて大分行くと奉天の驛が見えだした。みんなが「わい〱」いひながら荷物を持つて立ち上つた。氣の早いものはもう出口へ行つてまちどうしそうにしてゐた。いよ〱ステーションに入つて汽車から下りた時は何となくうれしい氣持がした。

娘々祭座談會(下)
【大石橋小學校高等科生】
面白い餘興のいろ〱

司會者「習慣的にそんな事をするのだらうか。それとも、神に仕へて福を得るといふやうな意味からするのだらうか」

本田「それは判らぬ。半分半分位の意味からぢやないだらうか」

司會者「餘興も隨分あるやうだなあ」

一同「生人形、踊り、のぞき、手品、支那芝居、爆竹、高足踊り活動寫眞、それに去年は中日文化協會が花火を上げて居た」

司會者「生人形といふのはどんなになつてゐるのか」

常見「高い處に色々の裝束をした人間が、動かないで立つて居る旅行案内によると、一日に一回卵を食ふ位で何も食べない。時々、水で口を濯ぐ位だとしてある」

本田「男がするんだが、大抵女に作つてゐる」

池田「病人で癒つた人がすると或る支那人が言つて居た」

司會者「何にしても隨分つらい仕事だなあ」

池田「つらいには相違ないが、鐵の捧の腕で上の人を支へて居るんだから、想像する程つらくはない」

司會者「日中の活動寫眞は」

常見「日光を屈折させてやつて居るやうだ」

大澤「僕は、入場料を一錢出して見たが、支那式のみだらな寫眞ばかりで見て居られなかつた」

司會者「高足踊りは」

池田「高さ約一メートルの木を穿いて歩く」

大澤「走つたり喧嘩をして見せたりする」

常見「僕が見て居たら、地面にひつくりかへつてから、ヒヨコリと立ち上つた」

司會者「何か、土產を賣つて居るか」

一同「店は隨分澤山ある。玩具屋菓子屋、茶屋、料理屋、氷屋などは勿論、靑物屋、農具屋、植木屋など數へ切れない」

司會者「毎年支那人の店ばかりだつたさうだが、去年は、珍らしく日本人の飲食店が出來て居たか」

司會者「土產を買ふとするとどんなものか」

一同「玩具の靑龍刀、槍、雀取り泥人形、植木など」

司會者「時間も來たからこれで終りませう。何れ二十六日には一緒に參拜して、もつと變つた事でもあれば話合ふ事にしませう」

海の怪物

これは一體何だらう。凧を揚げてゐるのと間違へちやいけない。これは日の光も透さぬ深海の底に泥の中から目玉と口だけ出して小魚を狙つてゐる南海の魚「あかえひ」の怪物である。頭の先から尾の先までは二十尺、横幅が十八尺、身體の面積が八疊敷き位もある。何と恐ろしく大きなあかえいではないか。

童謠
メリーゴーラウンド

大廣場小學校四年　原田　隆行

あがつたさがつた
もくばのり
ぐるりとまはつて
もくばのり
今日もたのしい
もくばのり
おとうとのすきな
もくばのり
ぼくも大すき
もくばのり

ニドメノ大チャンノタンケン (54)

ハルミチ作　ジラウ畫

大チャンハ シマノムスメタチト チカラヲ アハセテ タフレテヰル マワウヲ フトイ キノミキニ ミウゴキノデキナイヤウニ シバツテ シマヒマシタ。

「コウシテオケバ ダイヂヤウブダ サア コレカラ マワウニツレラレテイツタ 四ニンノムスメヲ タスケニ イカウ」ミンナハ ゲンキヨク マワウノ イハヤニ ムカヒマシタ。

ソシテ マワウノ イヘヤノナカニ ナガイアヒダ トヂコメラレテヰタ 四ニンノ ムスメタチヲ タスケダシ ミンナハ バンザイヲサケンデ ヒキアゲマシタ。

兒童の作品
昨日の朝

松林小學校五年　加藤　修吉

昨日は朝四時目がさめた。とび起きて外を見るともう日光がかゞやいてゐた。僕は表で、しんこきうを二十一二回して、家の中にはいつて顏を洗つた。僕の弟の四郎が、今はしかでねてゐるので父母は夜も、ろく〱ねもしないで弟の看護をしていらつしやる。これを見て僕は親のありがたさをしみ〲知ることが出來た。父母は僕の弟の健二をはしかでなくしてゐるので、ちよつと四郎が聲を出しても、すぐ何かといつてきいて、おこらせないやうにしていらしやる。僕はこんな事を考へながら、少年倶樂部をよんでゐると、母が「ボーイをよんで、ごはんをたかしなさい」とおつしやつたので、僕はボーイを起していひつけた。

私のすきなつゞりかた

伏見臺小學校尋二　市川ちま子

私はつゞりかたが大すきです。いつもつゞりかたがあつたらいゝとおもひますがさうはできません。けふはつゞりかたがあるから私はけふはうれしいです。がくかうにいつてなんじかんめにつゞりかたがあるかとかんがへてゐましたら四じかんめでした。さんじゆつやよみかたがすんでいよ〱つゞりかたのじかんになりました。みんな一しやうけんめいでかきました。私はつゞりかたがうれしいから、さつそくこのことをかきました。

夕日がしづむ

金州小學校尋三　山本嘉與子

夕日がしづむ夕日がしづむ
あちらのこかげに
夕日がしづむ
西のお空はまあつかだ

夕日がしづむ夕日がしづむ
あちらのこかげに
夕日がしづむ
東のお空は靑空だ。

アヒル

大廣場小學校一年　堀　英子

アヒルノ　ショウカハ
フトイコヱ
イツモ　ガア　ガア
ウタツテル
オイケデ　ナカヨク
ウタツテル
フトイオコヱデ
ウタツテル
モツト　イイコヱ
デナイノカ

懸賞童話入選者

第三回懸賞童話は第一種第二種合せて八十二篇の多數に達しましたが編輯局に於て嚴選の結果左の四篇が入選いたしました。

一種

甲賞『高粱と竹の喧嘩』　開原孫家大街　豐村　修

乙賞『遠足の日』　朝日小學校　柄木田　照茂

二種

甲賞『カラスウリノタネ』　旅順田家屯　福永　剛

乙賞『カウリヤントバゾク』　開原孫家大街　豐村　修

佳作

一種――さかな賣と狼(まつを)お誕生日(牧野千世公)雨の降る日の出來事(福永剛)小英雄(伊藤生)雲雀の子(仙波軍利)ボーイト妹(あざみいくや)純眞な太郎(山田健二)母島の行方(宇戸亭)中國人の友情(後宮二郎)金の鳥(豐村修)次郎とキューピー(鐵巣八郎)手風琴と印度少年(手島宇佐美)一郎さんの手柄(西元詩國夫)鐵砲打ちの小父さん(山田健二)

二種――メクラムラ(豐村修)タアチャンノオヨ[illegible](西元詩國夫)

若草音樂會ピアノ試演會

播磨町の大連若草音樂會では來る六月二日午後一時より大連ヤマトホテル大廣間に於て第三回ピアノ試演會を開催すると

オコトワリ

キノフノ　大チャンハ　マチガツテ　フルイ　ヱヲ　イレテシマヒマシタカラ　五十四クワイヲ　モウ一ド　アラタメテ　ダスコトニ　シマシタ。